

# 新農業振興地域整備計画策定に関する 意識調査

～将来を展望した個性と魅力ある農業の確立を目指して～

平成 30 年 12 月  
いわき市

## 目次

I アンケート調査（意識調査）概要	1
II 調査結果	2
1 はじめに	2
問1 あなたの年齢を選んでください。	2
問2 あなたの性別を選んでください。	2
問3 あなたのお住まいの地区を選んでください。	3
問4 あなたの同居している家族は、あなたご自身を含めて何人ですか。	3
2 農業経営の状況	4
問5 あなたの農業経営状況について、を選んでください。	4
問6 あなたの経営耕地面積はいくらですか。（借入地も含めてください。）	4
問7 あなたの家の収入について、最も多いものを選んでください。	5
問8 あなたの所有する農地で耕作放棄地はありますか。	5
問9 耕作放棄地について今後の意向を選んでください。	6
3 農業後継者について	7
問10 あなたの家では、後継者についてどのような状況にありますか。	7
問11 あなたの家では、後継者について将来どのように望んでいますか。	8
4 農業経営の今後の方向	8
問12 あなたの家では、農業経営をこれからどのようにしていきたいと考えていますか。	8
問13 どのようにして経営規模の拡大をしたいと考えていますか。	9
問14 どのようにして経営規模の縮小をしたいと考えていますか。	9
問15 水稻以外で重点に行おうとする作物を選んでください。	10
問16 あなたの関心が高いものは何ですか。（複数回答可）	11
5 土地基盤整備事業について	12
問17 ほ場整備事業を実施する場合、事業に参加しますか。	12
問18 土地基盤整備事業について何を希望しますか。（複数回答可）	13
6 農業近代化施設について	14
問19 今後必要と思う共同の農業用施設は何ですか。（複数回答可）	14
7 農村生活環境について	15
問20 あなたの住んでいる地域は、住みやすいですか。	15
問21 どんな点が整備、改善されれば住みやすくなると思いますか。	15
8 就業機会の確保について	16
問22 農業以外の働く場所ができたときには、あなたはどうしますか。	16

9 林業の経営について	17
問 23 あなたの家では、山林をどのくらいもっていますか。	17
問 24 あなたの山林経営は、これからどのように進めていきますか。	17
問 25 将来、山林の整備や活用について、何が必要だと思いますか。	18
10 農業振興地域について	19
問 26 あなたは農業振興地域制度について知っていますか。	19
問 27 あなたの農地が「農用地区域」に入っているかどうか知っていますか。	19
問 28 農用地区域内農地をどのように保全すべきだと思いますか。	20
問 29 あなたの住んでいる地域は 10 年前と比べ、どのように変わりましたか。	21
問 30 ここ 5 年以内に田、畑を転用したい意向はありますか。	22
11 震災（放射性物質汚染）以降の農畜産物への風評について	23
問 31 今現在、風評の影響がどの程度あると感じていますか。	23
問 32 農畜産物の風評対策として何が必要だと思いますか。	23
地区別集計結果	24
地区別アンケート調査（意識調査）概要	25
問 1 あなたの年齢を選んでください。	26
問 2 あなたの性別を選んでください。	27
問 3 あなたのお住まいの地区を選んでください。	28
問 4 あなたの同居している家族は、あなたご自身を含めて何人ですか。	29
問 5 あなたの農業経営状況について、を選んでください。	30
問 6 あなたの経営耕地面積はいくらですか。（借入地も含めてください。）	31
問 7 あなたの家の収入について、最も多いものを選んでください。	32
問 8 あなたの所有する農地で耕作放棄地はありますか。	33
問 9 耕作放棄地について今後の意向を選んでください。	34
問 10 あなたの家では、後継者についてどのような状況にありますか。	35
問 11 あなたの家では、後継者について将来どのように望んでいますか。	36
問 12 あなたの家では、農業経営をこれからどのようにしていきたいと考えていますか。	37
問 13 どのようにして経営規模の拡大をしたいと考えていますか。	38
問 14 どのようにして経営規模の縮小をしたいと考えていますか。	40
問 15 水稻以外で重点に行おうとする作物を選んでください。	42
問 16 あなたの関心が高いものは何ですか。（複数回答可）	43
問 17 ほ場整備事業を実施する場合、事業に参加しますか。	45
問 18 土地基盤整備事業について何を希望しますか。（複数回答可）	47
問 19 今後必要と思う共同の農業用施設は何ですか。（複数回答可）	49

問 20	あなたの住んでいる地域は、住みやすいですか。 .....	51
問 21	どんな点が整備、改善されれば住みやすくなると思いますか。 .....	52
問 22	農業以外の働く場所ができたときには、あなたはどうしますか。 .....	53
問 23	あなたの家では、山林をどのくらいもっていますか。 .....	54
問 24	あなたの山林経営は、これからどのように進めていきますか。 .....	55
問 25	将来、山林の整備や活用について、何が必要だと思いますか。(複数回答可) ..	56
問 26	あなたは農業振興地域制度について知っていますか。 .....	58
問 27	あなたの農地が「農用地区域」に入っているかどうか知っていますか。 .....	59
問 28	農用地区域内農地をどのように保全すべきだと思いますか。 .....	60
問 29	あなたの住んでいる地域は 10 年前と比べ、どのように変わりましたか。 .....	62
問 30	ここ 5 年以内に田、畑を転用したい意向はありますか。 .....	64
問 31	今現在、風評の影響がどの程度あると感じていますか。 .....	66
12	その他(自由意見等) .....	67

## I アンケート調査（意識調査）概要

### 1 調査の目的

いわき市では、急速に進む社会情勢の変動に対応するため、農業振興地域整備計画（農振計画）の見直しを進めており、今後おおむね10年後を見通した新たな農振計画を策定するにあたって、いわき市の農業に対して広く意見を伺い参考とするため、アンケート調査（意識調査）を実施した。

### 2 アンケート調査（意識調査）概要

調査場所	いわき市全域
対象	農業者 8,949 人
調査方法	農事組合を經由し配布・回収
調査期間	平成 30 年 9 月 1 日から 11 月 30 日
有効回答数	1,864
有効回答率	20.8%

### 3 集計上の留意点

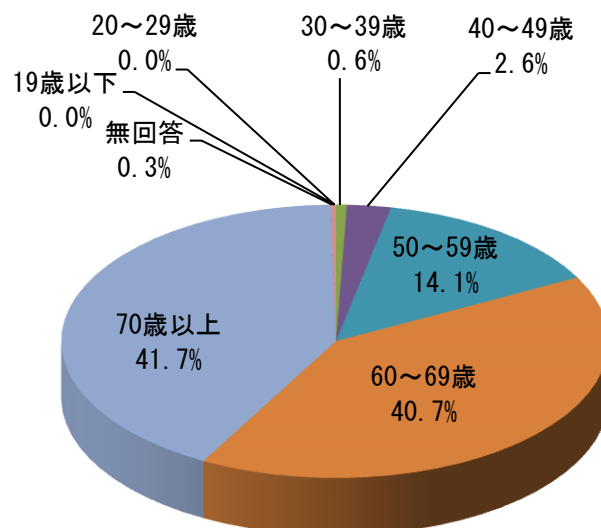
- (1) 調査結果の比率は小数第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合や加減の結果が一致しない場合がある。
- (2) 設問中、指定された選択数を超えて回答しているものについては、「無効」として処理し、集計にあたっては「無回答」に組み込んだ。

## Ⅱ 調査結果

### 1 はじめに

問1 あなたの年齢を選んでください。

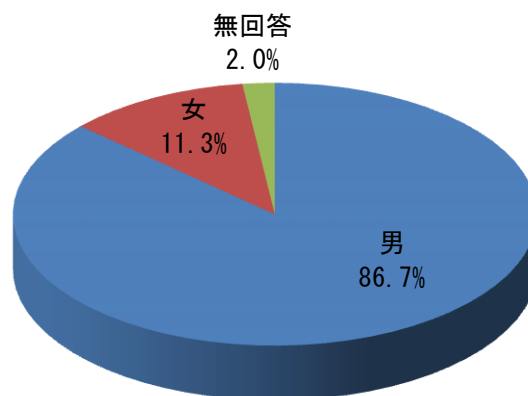
年齢	件数	割合 (%)
19歳以下	0	0.0%
20～29歳	0	0.0%
30～39歳	12	0.6%
40～49歳	48	2.6%
50～59歳	262	14.1%
60～69歳	759	40.7%
70歳以上	777	41.7%
無回答	6	0.3%
全体	1,864	100.0%



「70歳以上」が41.7%と最も多く、次いで「60～69歳」が40.7%、「50～59歳」が14.1%、「40～49歳」が2.6%となっている。

問2 あなたの性別を選んでください。

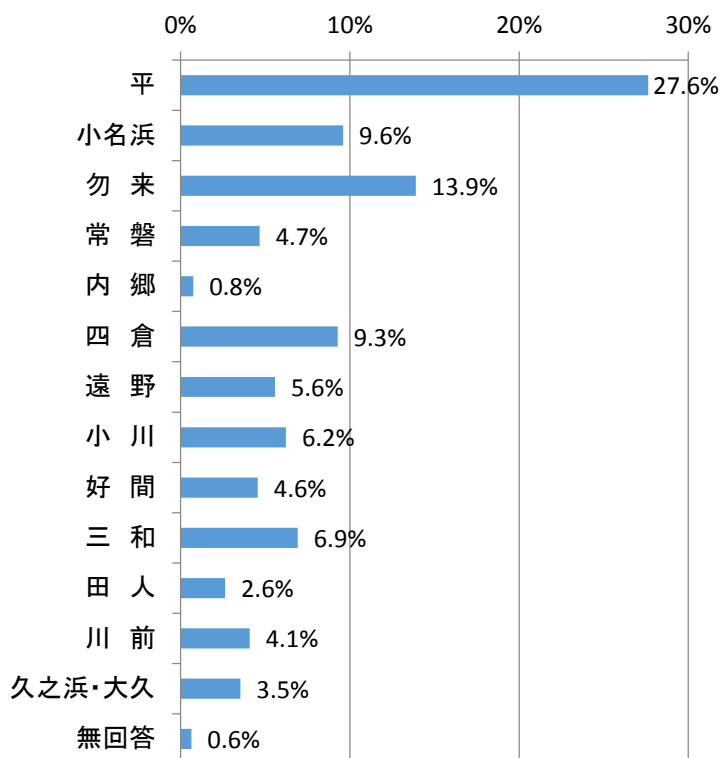
性別	件数	割合 (%)
男	1,616	86.7%
女	211	11.3%
無回答	37	2.0%
全体	1,864	100.0%



「男」が86.7%と最も多く、次いで「女」が11.3%となっている。

問3 あなたのお住まいの地区を選んでください。

地区	件数	割合 (%)
平	515	27.6%
小名浜	179	9.6%
勿来	259	13.9%
常磐	87	4.7%
内郷	14	0.8%
四倉	173	9.3%
遠野	104	5.6%
小川	116	6.2%
好間	85	4.6%
三和	129	6.9%
田人	49	2.6%
川前	76	4.1%
久之浜・大久	66	3.5%
無回答	12	0.6%
全体	1,864	100.0%

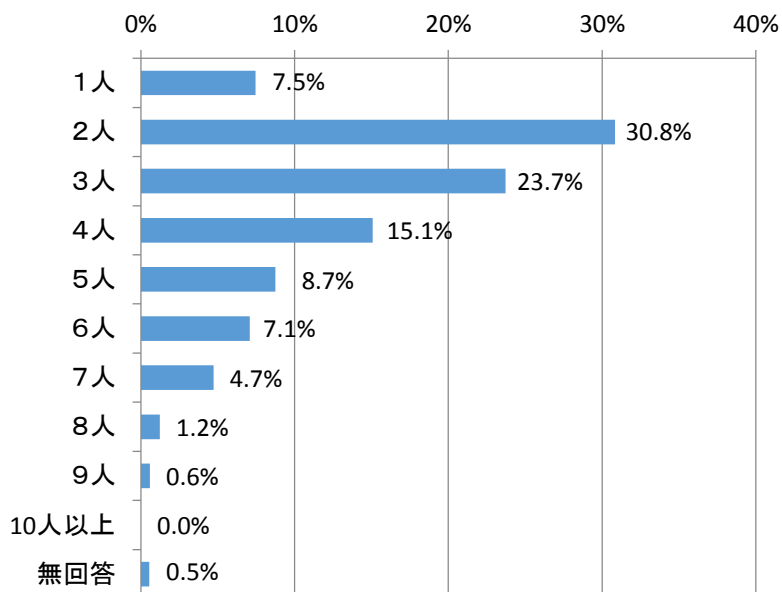


「平」が515件で27.6%と最も多く、「勿来」259件で13.9%、

「小名浜」179件で9.6%、「四倉」173件で9.3%の順となっている。

問4 あなたの同居している家族は、あなたご自身を含めて何人ですか。

人数	件数	割合 (%)
1人	139	7.5%
2人	575	30.8%
3人	442	23.7%
4人	281	15.1%
5人	163	8.7%
6人	132	7.1%
7人	88	4.7%
8人	23	1.2%
9人	11	0.6%
10人以上	0	0.0%
無回答	10	0.5%
全体	1,864	100.0%

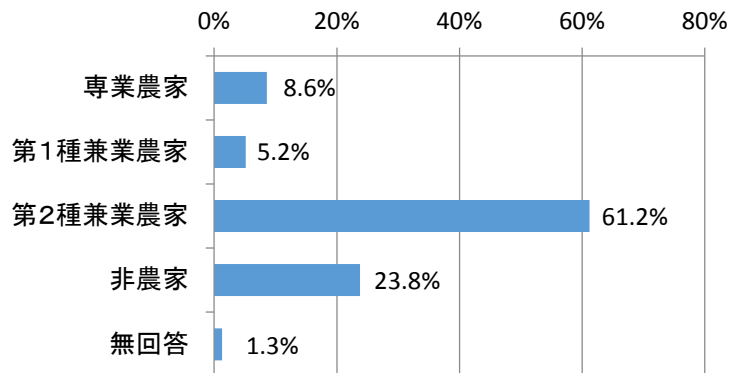


「2人」が30.8%と最も多く、次いで「3人」が23.7%、「4人」が15.1%となっている。

## 2 農業経営の状況

問5 あなたの農業経営状況について、選んでください。

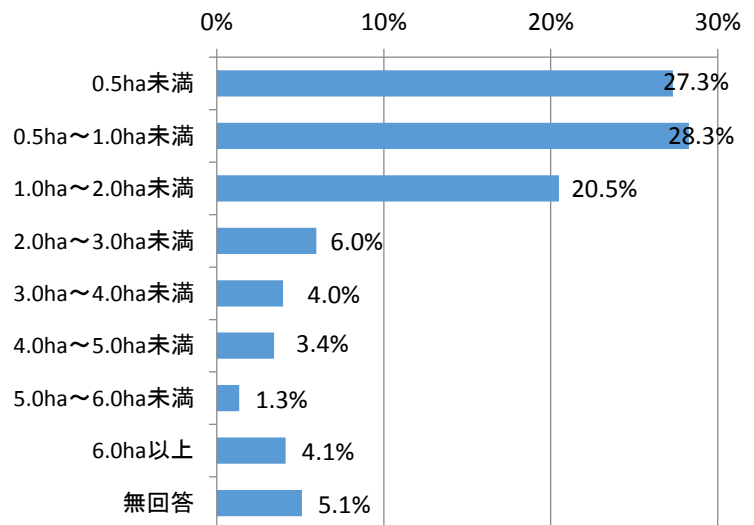
経営状況	件数	割合 (%)
専業農家	160	8.6%
第1種兼業農家	96	5.2%
第2種兼業農家	1,141	61.2%
非農家	443	23.8%
無回答	24	1.3%
全体	1,864	100.0%



「第2種兼業農家」が61.2%と最も多く、次いで「非農家」が23.8%、「専業農家」が8.6%となっている。

問6 あなたの経営耕地面積はいくらですか。(借入地も含めてください。)

面積	件数	割合 (%)
0.5ha未満	509	27.3%
0.5ha～1.0ha未満	527	28.3%
1.0ha～2.0ha未満	382	20.5%
2.0ha～3.0ha未満	111	6.0%
3.0ha～4.0ha未満	74	4.0%
4.0ha～5.0ha未満	64	3.4%
5.0ha～6.0ha未満	25	1.3%
6.0ha以上	77	4.1%
無回答	95	5.1%
全体	1,864	100.0%

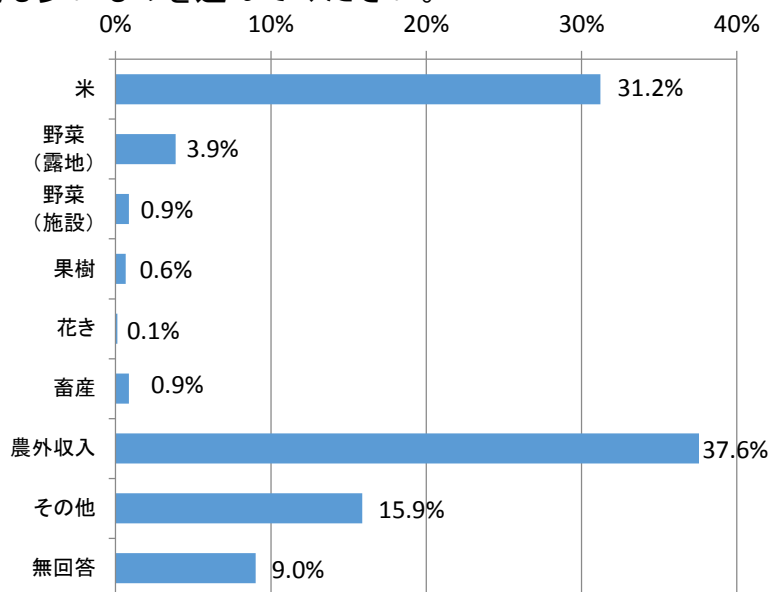


「0.5ha～1.0ha未満」が28.3%と最も多く、次いで「0.5ha未満」が27.3%、「1.0ha～2.0ha未満」が20.5%となっている。



問7 あなたの家の収入について、最も多いものを選んでください。

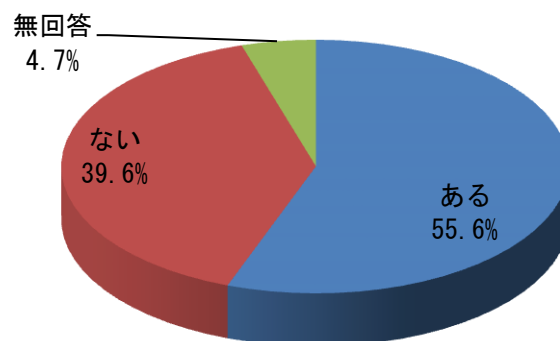
収入	回答数	割合 (%)
米	582	31.2%
野菜 (露地)	72	3.9%
野菜 (施設)	16	0.9%
果樹	12	0.6%
花き	2	0.1%
畜産	16	0.9%
農外収入	700	37.6%
その他	296	15.9%
無回答	168	9.0%
全体	1,864	100.0%



「農外収入」が37.6%と最も多く、次いで「米」が31.2%、「その他」が15.9%となっている。

問8 あなたの所有する農地で耕作放棄地はありますか。

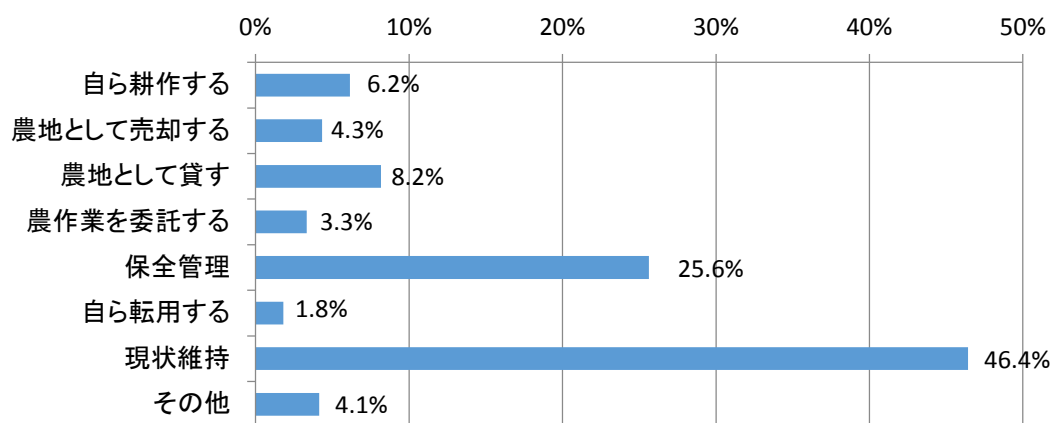
耕作放棄地	件数	割合 (%)
ある	1,037	55.6%
ない	739	39.6%
無回答	88	4.7%
全体	1,864	100.0%



「ある」が55.6%と最も多く、次いで「ない」が39.6%となっている。

問9 耕作放棄地について今後の意向を選んでください。

今後の意向	件数	割合 (%)
自ら耕作する	61	6.2%
農地として売却する	43	4.3%
農地として貸す	81	8.2%
農作業を委託する	33	3.3%
保全管理	254	25.6%
自ら転用する	18	1.8%
現状維持	460	46.4%
その他	41	4.1%
全体	991	100.0%

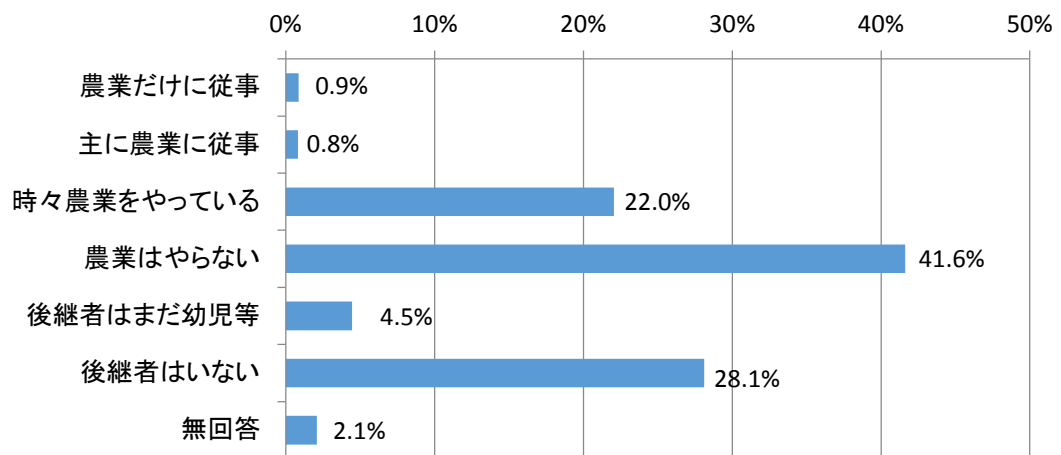


「現状維持」が46.4%と最も多く、次いで「保全管理」が25.6%、「農地として貸す」が8.2%となっている。

### 3 農業後継者について

問10 あなたの家では、後継者についてどのような状況にありますか。

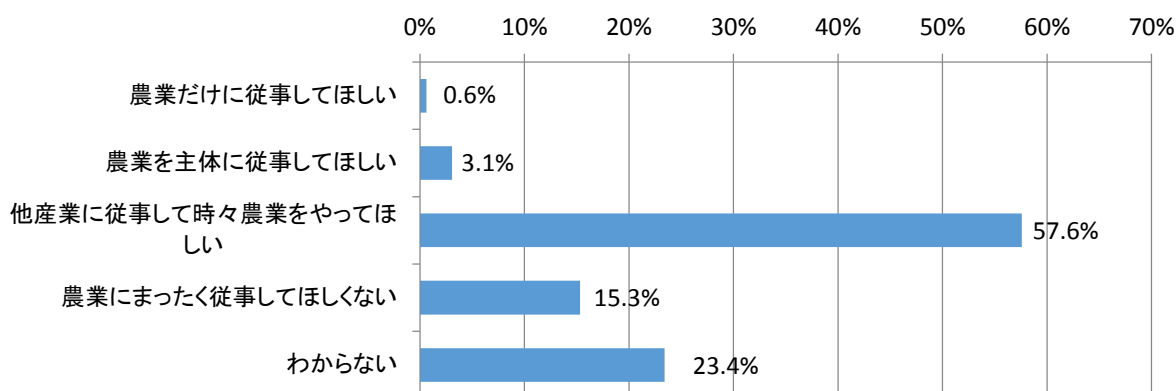
後継者	件数	割合 (%)
現在農業だけに従事している後継者がいる	16	0.9%
主に農業に従事している後継者がいる	15	0.8%
他産業に従事しながら時々農業をやっている	411	22.0%
他産業に従事している後継者はいるが、農業はまったくやらない	776	41.6%
後継者はまだ幼児・生徒又は学生のいずれかである	83	4.5%
後継者はまったくいない	524	28.1%
無回答	39	2.1%
全体	1,864	100.0%



「他産業に従事している後継者はいるが、農業はまったくやらない」が41.6%と最も多く、次いで「後継者はまったくいない」が28.1%、「他産業に従事しながら時々農業をやっている」が22.0%となっている。

問 11 あなたの家では、後継者について将来どのように望んでいますか。

将来	件数	割合 (%)
農業だけに従事してほしい	8	0.6%
農業を主体に従事してほしい	40	3.1%
他産業に従事して時々農業をやしてほしい	748	57.6%
農業にまったく従事してほしくない	199	15.3%
わからない	304	23.4%
全体	1,299	100.0%

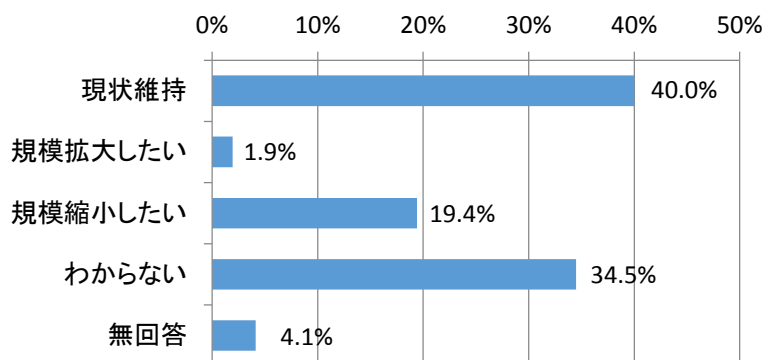


「他産業に従事して時々農業をやしてほしい」が57.6%と最も多く、次いで「わからない」が23.4%、「農業にまったく従事してほしくない」が15.3%となっている。

#### 4 農業経営の今後の方向

問 12 あなたの家では、農業経営をこれからどのようにしていきたいと考えていますか。

今後の方向	件数	割合 (%)
現状維持	746	40.0%
規模拡大したい	36	1.9%
規模縮小したい	362	19.4%
わからない	643	34.5%
無回答	77	4.1%
全体	1,864	100.0%



「現状維持」が40.0%と最も多く、次いで「わからない」が34.5%、「規模縮小したい」が19.4%となっている。

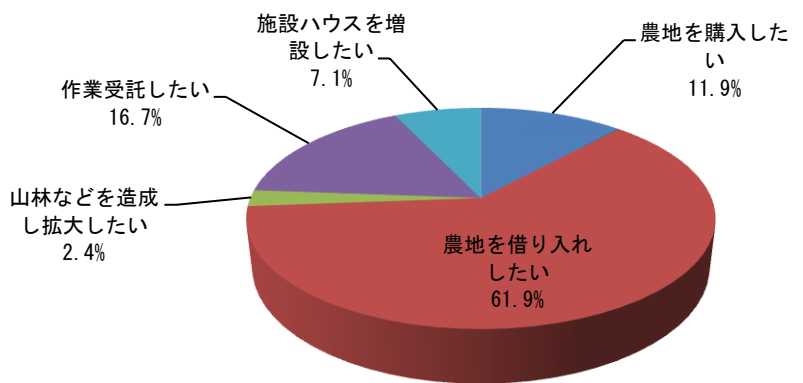
～経営規模を拡大したいと答えた人のみ回答～

問 13 どのようにして経営規模の拡大をしたいと考えていますか。

項目	農地購入	農地借入	山林造成	作業受託	ハウス増設	計
件数	5	26	1	7	3	42
割合 (%)	11.9%	61.9%	2.4%	16.7%	7.1%	100.0%
田	600 a	2,695 a		1,360 a		4,655 a
畑	0 a	280 a	100 a	0 a	1,100 m <sup>2</sup>	1,480 a
樹園地	0 a	0 a	0 a	0 a		0 a

※ 面積はアンケート個票をすべて合計したもの。(小数点以下四捨五入)

経営規模の拡大の意向については、「農地を借入したい」が61.9%と最も多く、次いで「作業受託したい」が16.7%の順となっている。



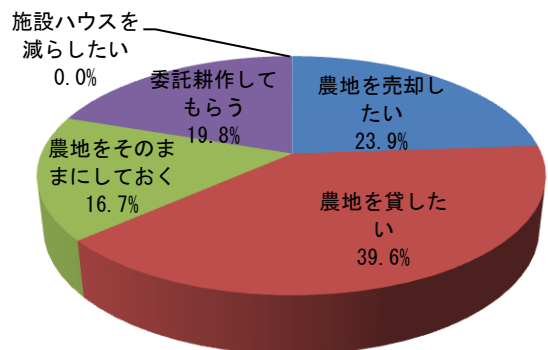
～経営規模を縮小したいと答えた人のみ回答～

問 14 どのようにして経営規模の縮小をしたいと考えていますか。

項目	農地売却	農地を貸す	農地休耕	委託耕作	ハウス減	計
件数	110	182	77	91	0	460
割合 (%)	23.9%	39.6%	16.7%	19.8%	0.0%	100.0%
田	17,950 a	47,739 a	11,557 a	30,982 a		108,228 a
畑	5,212 a	2,877 a	476 a	392 a	0 a	8,957 a
樹園地	1 a	60 a	22 a	0 a		83 a

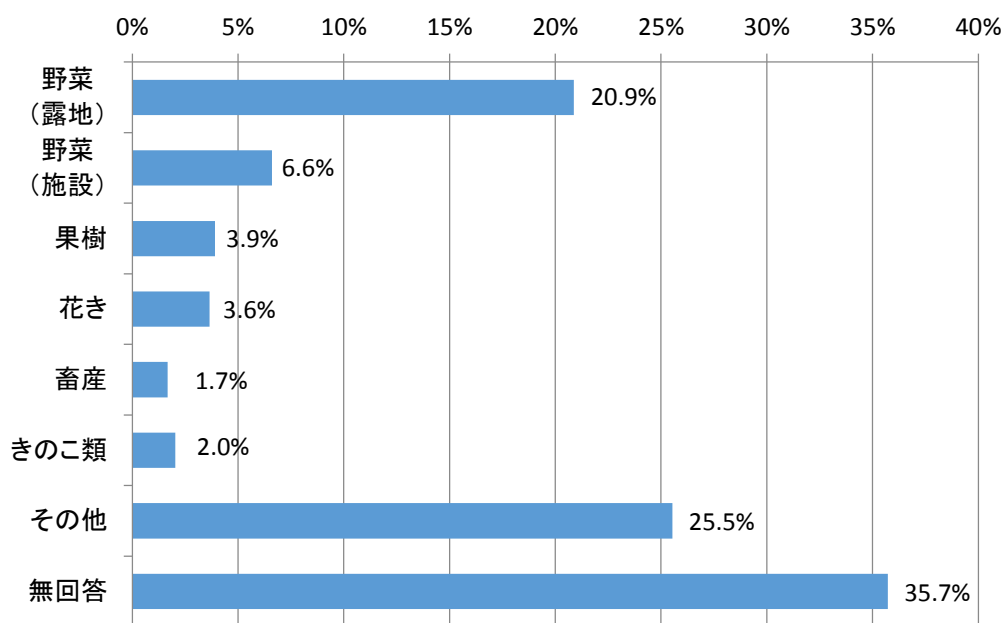
※ 面積はアンケート個票をすべて合計したもの。(小数点以下四捨五入)

経営規模の縮小の意向については、「農地を貸したい」が39.6%と最も多く、次いで「農地を売却したい」が23.9%の順となっている。



問 15 水稲以外で重点に行おうとする作物を選んでください。

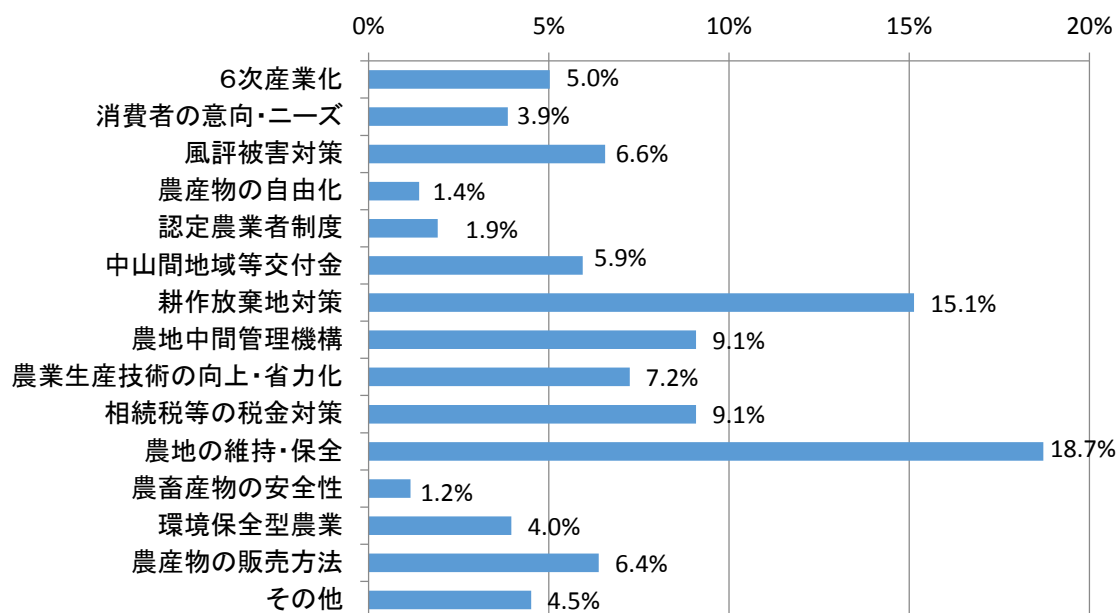
作目	件数	割合 (%)
野菜 (露地)	389	20.9%
野菜 (施設)	123	6.6%
果樹	73	3.9%
花き	68	3.6%
畜産	31	1.7%
きのこ類	38	2.0%
その他	476	25.5%
無回答	666	35.7%
全体	1,864	100.0%



「無回答」が35.7%と最も多く、次いで「その他」が25.5%、「野菜 (露地)」が20.9%となっている。

問 16 あなたの関心が高いものは何ですか。(複数回答可)

関心	件数	割合 (%)
6次産業化	147	5.0%
消費者の意向・ニーズ	113	3.9%
風評被害対策	192	6.6%
農産物の自由化	41	1.4%
認定農業者制度	56	1.9%
中山間地域等交付金	174	5.9%
耕作放棄地対策	443	15.1%
農地中間管理機構	266	9.1%
農業生産技術の向上・省力化	212	7.2%
相続税等の税金対策	266	9.1%
農地の維持・保全	548	18.7%
農畜産物の安全性	34	1.2%
環境保全型農業	116	4.0%
農産物の販売方法	187	6.4%
その他	132	4.5%
全体	2,927	100.0%

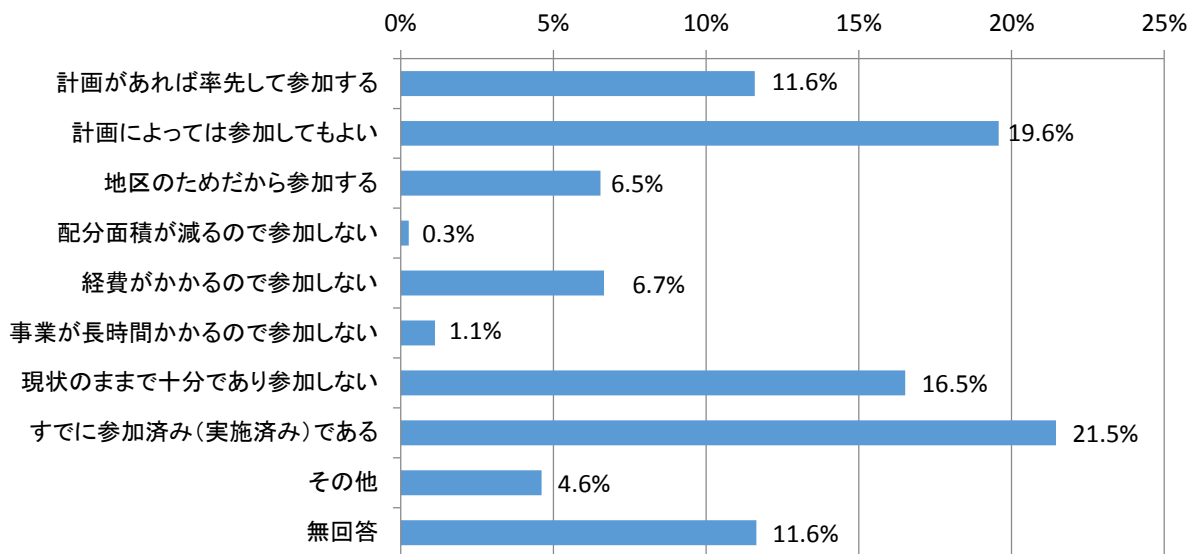


「農地の維持・保全」が 18.7%と最も多く、次いで「耕作放棄地対策」が 15.1%、「農地中間管理機構」、「相続税等の税金対策」が 9.1%となっている。

## 5 土地基盤整備事業について

問 17 ほ場整備事業を実施する場合、事業に参加しますか。

参加意向	件数	割合
計画があれば率先して参加する	216	11.6%
計画によっては参加してもよい	365	19.6%
地区のためだから参加する	122	6.5%
配分面積が減るので参加しない	5	0.3%
経費がかかるので参加しない	124	6.7%
事業が長時間かかるので参加しない	21	1.1%
現状のままで十分であり参加しない	308	16.5%
すでに参加済み（実施済み）である	400	21.5%
その他	86	4.6%
無回答	217	11.6%
全体	1,864	100.0%

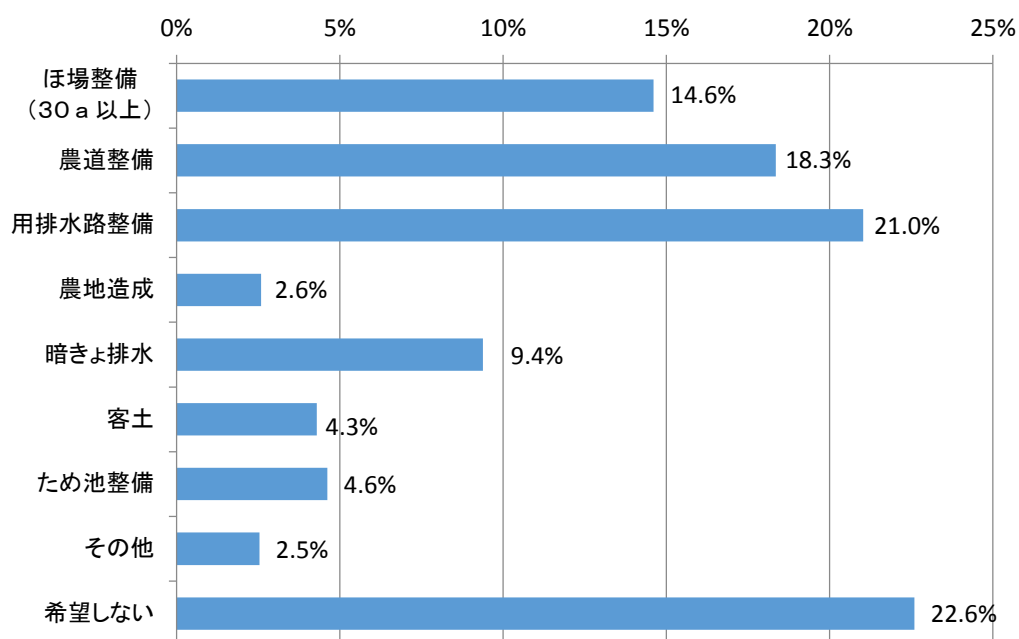


「すでに参加済み（実施済み）である」が21.5%と最も多く、次いで「計画によっては参加してもよい」が19.6%、「現状のままで十分であり参加しない」が16.5%となっている。



問 18 土地基盤整備事業について何を希望しますか。(複数回答可)

希望	件数	割合 (%)
ほ場整備 (30 a 以上)	316	14.6%
農道整備	397	18.3%
用排水路整備	455	21.0%
農地造成	56	2.6%
暗きょ排水	203	9.4%
客土	93	4.3%
ため池整備	100	4.6%
その他	55	2.5%
希望しない	489	22.6%
全体	2,164	100.0%

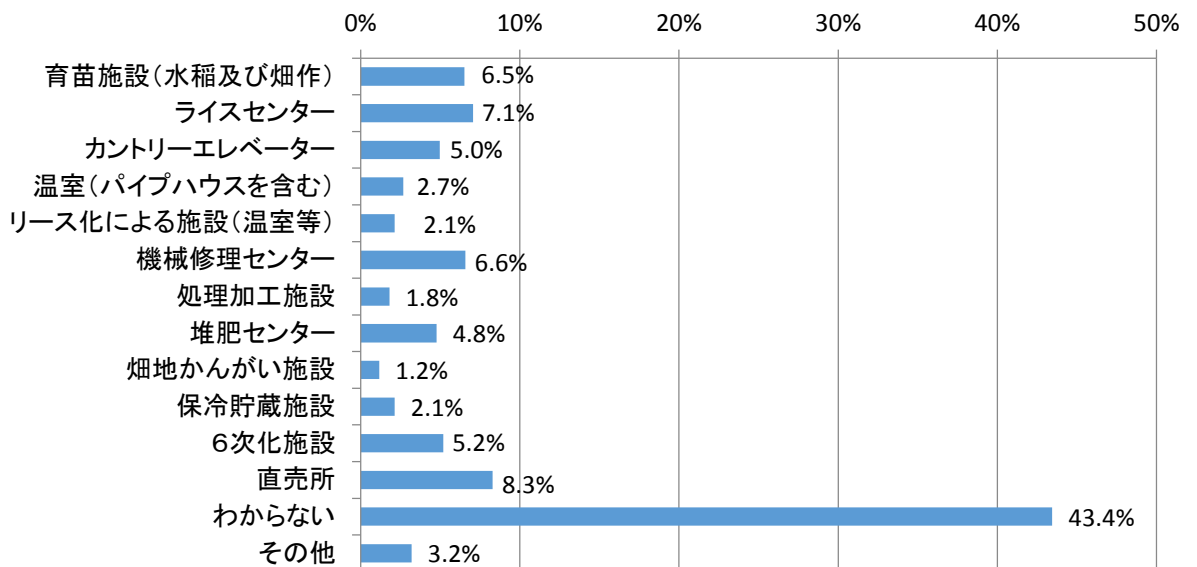


「希望しない」が22.6%と最も多く、次いで「用排水路整備」が21.0%、「農道整備」が18.3%となっている。

## 6 農業近代化施設について

問 19 今後必要と思う共同の農業用施設は何ですか。(複数回答可)

農業用施設	件数	割合 (%)
育苗施設 (水稲及び畑作)	122	6.5%
ライスセンター	132	7.1%
カントリーエレベーター	93	5.0%
温室 (パイプハウスを含む)	50	2.7%
リース化による施設 (温室等)	40	2.1%
機械修理センター	123	6.6%
処理加工施設	34	1.8%
堆肥センター	89	4.8%
畑地かんがい施設	22	1.2%
保冷貯蔵施設	40	2.1%
6次化施設	97	5.2%
直売所	155	8.3%
わからない	812	43.4%
その他	60	3.2%
全体	1,869	100.0%

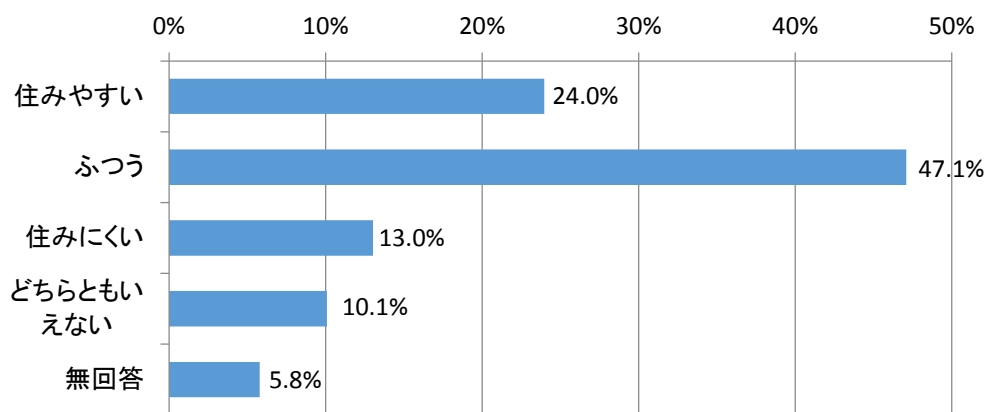


「わからない」が43.4%と最も多く、次いで「直売所」が8.3%、「ライスセンター」が7.1%となっている。

## 7 農村生活環境について

問20 あなたの住んでいる地域は、住みやすいですか。

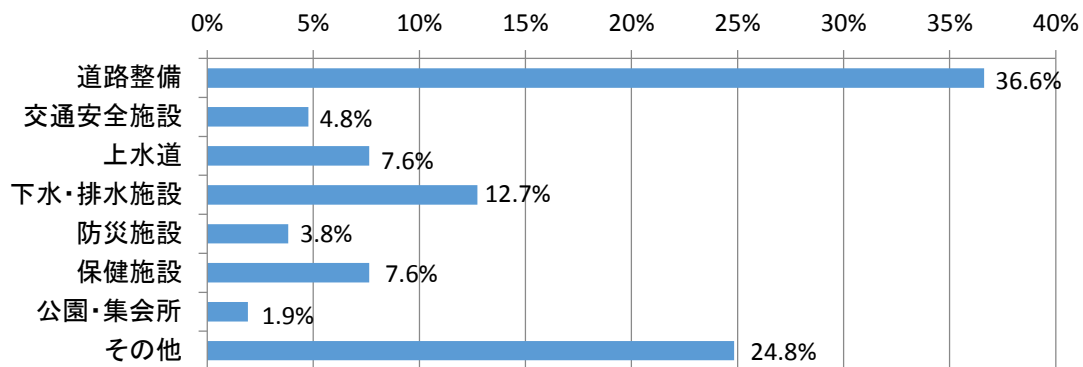
住んでいる地域	件数	割合 (%)
住みやすい	447	24.0%
ふつう	878	47.1%
住みにくい	243	13.0%
どちらともいえない	188	10.1%
無回答	108	5.8%
全体	1,864	100.0%



「ふつう」が47.1%と最も多く、次いで「住みやすい」が24.0%、「住みにくい」が13.0%となっている。

問21 どんな点が整備、改善されれば住みやすくなると思いますか。

整備、改善	件数	割合 (%)
道路整備	115	36.6%
交通安全施設	15	4.8%
上水道	24	7.6%
下水・排水施設	40	12.7%
防災施設	12	3.8%
保健施設	24	7.6%
公園・集会所	6	1.9%
その他	78	24.8%
全体	314	100.0%

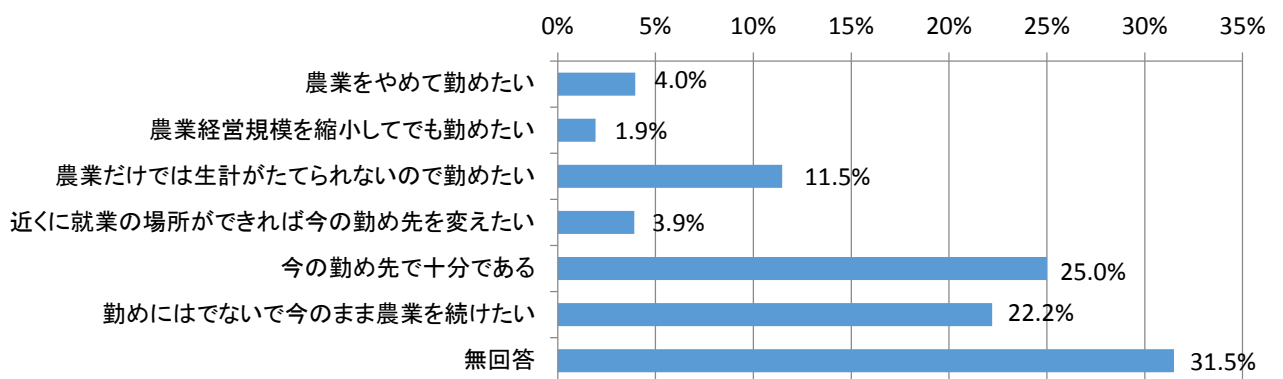


「道路整備」が36.6%と最も多く、次いで「その他」が24.8%、「下水・排水施設」が12.7%となっている。

## 8 就業機会の確保について

問22 農業以外の働く場所ができたときには、あなたはどうしますか。

農業以外の働く場所ができたとき	件数	割合 (%)
農業をやめて勤めたい	74	4.0%
農業経営規模を縮小してでも勤めたい	36	1.9%
農業だけでは生計がたてられないので勤めたい	214	11.5%
近くに就業の場所ができれば今の勤め先を変えたい	73	3.9%
今の勤め先で十分である	466	25.0%
勤めにはでないで今のまま農業を続けたい	414	22.2%
無回答	587	31.5%
全体	1,864	100.0%



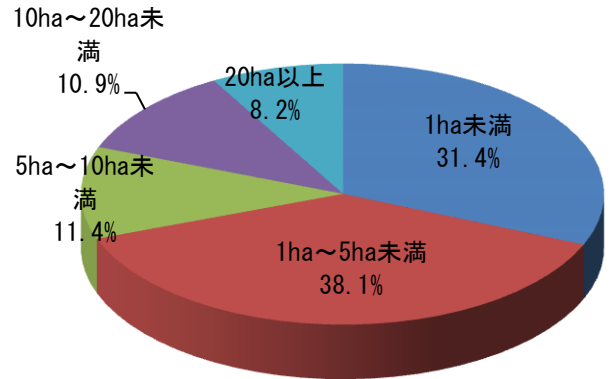
「無回答」が31.5%で最も多く、次いで「今の勤め先で十分である」が25.0%、「勤めにはでないで今のまま農業を続けたい」が22.2%となっている。

## 9 林業の経営について

(※山林を所有している人のみ記入してください。)

問 23 あなたの家では、山林をどのくらいもっていますか。

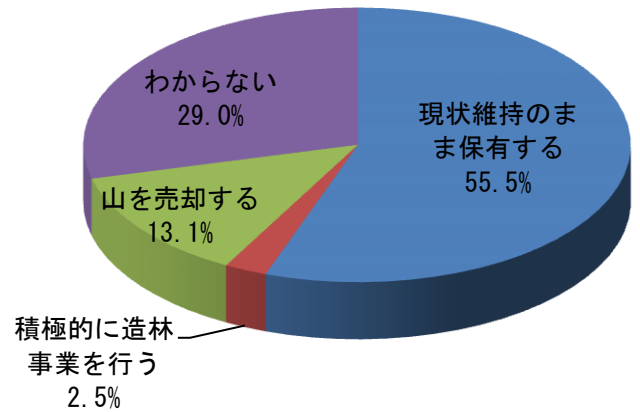
面積	件数	割合 (%)
1ha 未満	370	31.4%
1ha～5ha 未満	449	38.1%
5ha～10ha 未満	135	11.4%
10ha～20ha 未満	129	10.9%
20ha 以上	97	8.2%
全体	1,180	100.0%



「1ha～5ha 未満」が 38.1%と最も多く、次いで「1ha 未満」が 31.4%、「5ha～10ha 未満」が 11.4%となっている。

問 24 あなたの山林経営は、これからどのように進めていきますか。

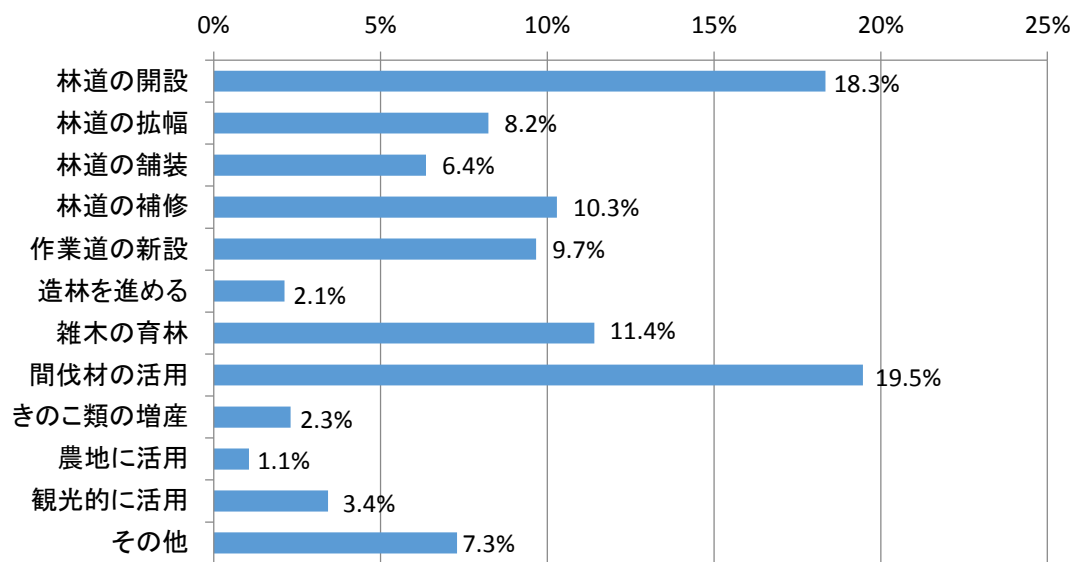
山林経営	件数	割合 (%)
現状維持のまま保有する	666	55.5%
積極的に造林事業を行う	30	2.5%
山を売却する	157	13.1%
わからない	348	29.0%
全体	1,201	100.0%



「現状維持のまま保有する」が 55.5%と最も多く、次いで「わからない」が 29.0%、「山を売却する」が 13.1%となっている。

問 25 将来、山林の整備や活用について、何が必要だと思いますか。  
 (複数回答可)

山林の整備や活用	件数	割合 (%)
林道の開設	294	18.3%
林道の拡幅	132	8.2%
林道の舗装	102	6.4%
林道の補修	165	10.3%
作業道の新設	155	9.7%
造林を進める	34	2.1%
雑木の育林	183	11.4%
間伐材の活用	312	19.5%
きのこ類の増産	37	2.3%
農地に活用	17	1.1%
観光的に活用	55	3.4%
その他	117	7.3%
全体	1,603	100.0%



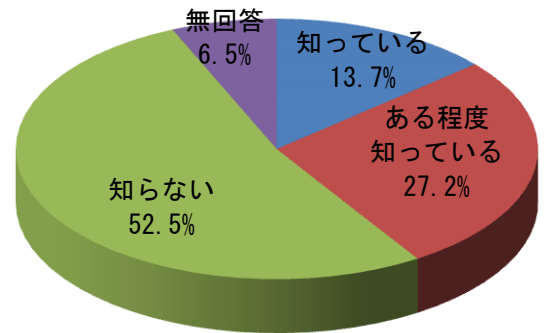
「間伐材の活用」が19.5%と最も多く、次いで「林道の開設」が18.3%、「雑木の育林」が11.4%となっている。

## 10 農業振興地域について

問 26 あなたは農業振興地域制度について知っていますか。

※ 農業振興地域制度とは、農業振興を図ることが必要な地域について、必要な施策を計画的に推進し農業の健全な発展を図る。

農業振興地域制度	件数	割合 (%)
知っている	256	13.7%
ある程度知っている	507	27.2%
知らない	979	52.5%
無回答	122	6.5%
全体	1,864	100.0%

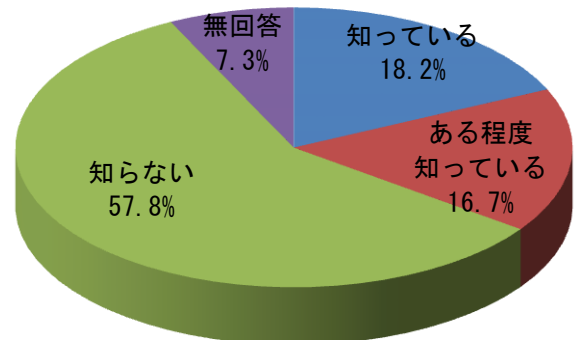


「知らない」が52.5%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が27.2%、「知っている」が13.7%となっている。

問 27 あなたの農地が「農用区域」に入っているかどうか知っていますか。

※ 農用区域とは、生産性の高い農地等の理由から、農業上の利用に制限されている農地

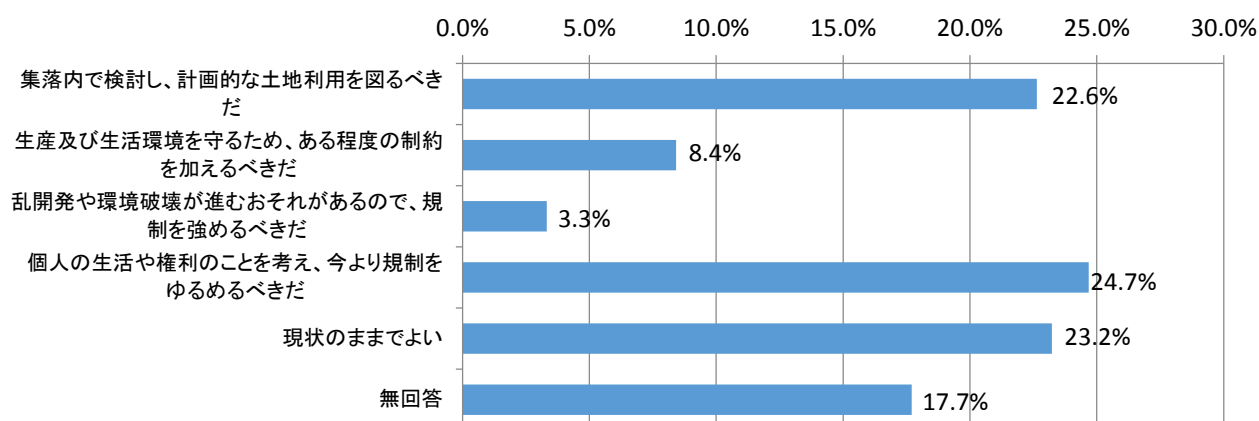
農用区域かどうか	件数	割合 (%)
知っている	339	18.2%
ある程度知っている	311	16.7%
知らない	1,078	57.8%
無回答	136	7.3%
全体	1,864	100.0%



「知らない」が57.8%と最も多く、次いで「知っている」が18.2%、「ある程度知っている」が16.7%となっている。

問 28 農用地区域内農地をどのように保全すべきだと思いますか。

どのように保全確保	件数	割合 (%)
集落内で検討し、計画的な土地利用を図るべきだ	422	22.6%
生産及び生活環境を守るため、ある程度の制約を加えるべきだ	157	8.4%
乱開発や環境破壊が進むおそれがあるので、規制を強めるべきだ	62	3.3%
個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだ	460	24.7%
現状のままでよい	433	23.2%
無回答	330	17.7%
全体	1,864	100.0%

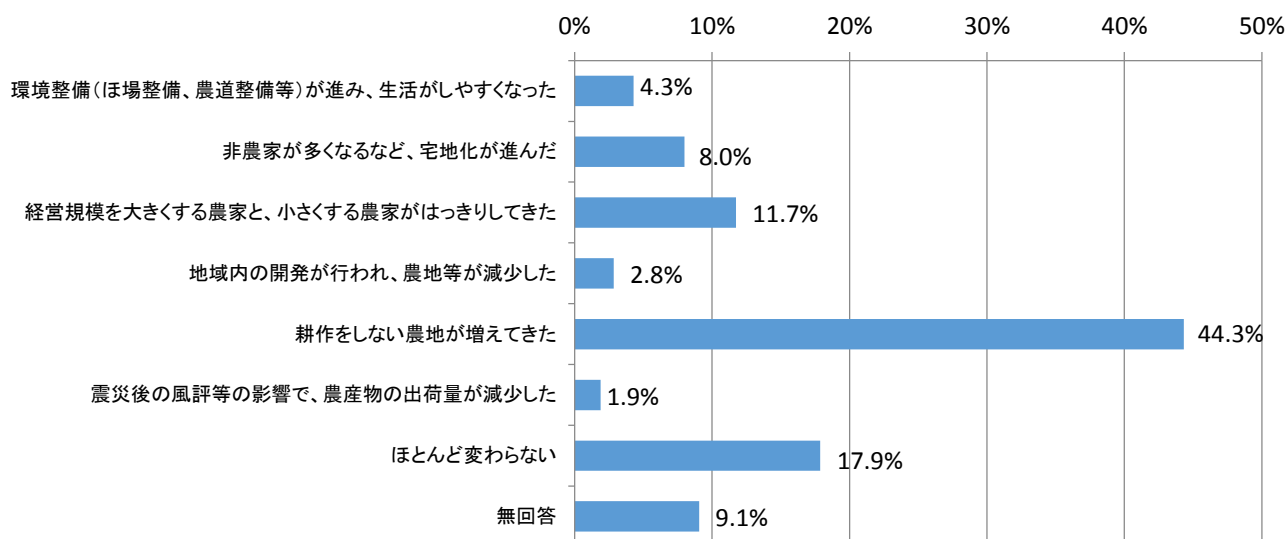


「個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだ」が24.7%と最も多く、次いで「現状のままでよい」が23.2%、「集落内で検討し、計画的な土地利用を図るべきだ」が22.6%となっている。



問 29 あなたの住んでいる地域は 10 年前と比べ、どのように変わりましたか。

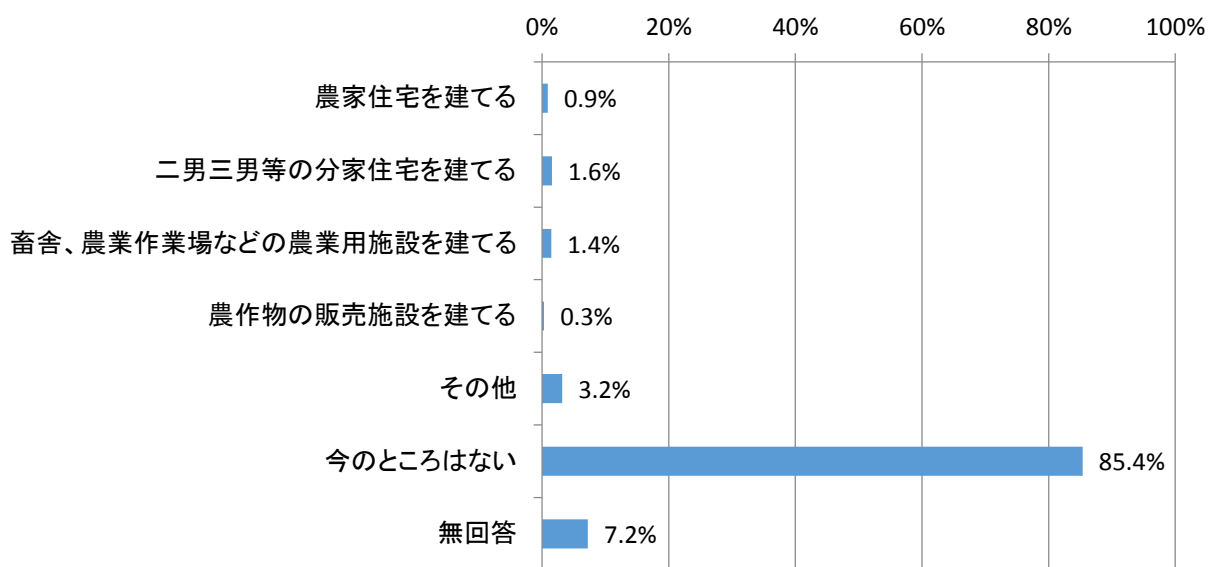
どのように変わった	件数	割合 (%)
環境整備（ほ場整備、農道整備等）が進み、生活がしやすくなった	80	4.3%
非農家が多くなるなど、宅地化が進んだ	149	8.0%
経営規模を大きくする農家と、小さくする農家のはっきりしてきた	219	11.7%
地域内の開発が行われ、農地等が減少した	53	2.8%
耕作をしない農地が増えてきた	826	44.3%
震災後の風評等の影響で、農産物の出荷量が減少した	35	1.9%
ほとんど変わらない	333	17.9%
無回答	169	9.1%
全体	1,864	100.0%



「耕作をしない農地が増えてきた」が 44.3%と最も多く、次いで「ほとんど変わらない」が 17.9%、「経営規模を大きくする農家と、小さくする農家のはっきりしてきた」が 11.7%となっている。

問 30 ここ5年以内に田、畑を転用したい意向はありますか。

転用意向	件数	割合 (%)
農家住宅を建てる	17	0.9%
二男三男等の分家住宅を建てる	29	1.6%
畜舎、農業作業場などの農業用施設を建てる	27	1.4%
農作物の販売施設を建てる	6	0.3%
その他	59	3.2%
今のところはない	1,591	85.4%
無回答	135	7.2%
全体	1,864	100.0%

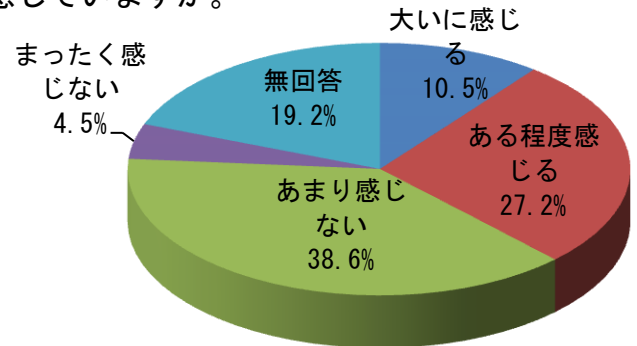


「今のところはない」が85.4%と最も多く、次いで「無回答」が7.2%となっている。

11 震災（放射性物質汚染）以降の農畜産物への風評について

問 31 今現在、風評の影響がどの程度あると感じていますか。

風評の影響	件数	割合 (%)
大いに感じる	196	10.5%
ある程度感じる	507	27.2%
あまり感じない	719	38.6%
まったく感じない	84	4.5%
無回答	358	19.2%
全体	1,864	100.0%



「あまり感じない」が38.6%と最も多く、次いで「ある程度感じる」が27.2%、「無回答」が19.2%、「大いに感じる」が10.5%、「まったく感じない」が4.5%となっている。

問 32 農畜産物の風評対策として何が必要だと思えますか。

意見等	件数	割合 (%)
・安全安心PR	162	35.4%
・継続的な検査の実施	46	10.1%
・各種データの開示	40	8.8%
・廃炉、除染等の放射能対策	31	6.8%
・時間	23	5.0%
・国、事業者等からの保障、復興支援	19	4.2%
・説明	15	3.3%
・消費者の意識改革	8	1.8%
・行政政策	8	1.8%
・検査の中止	7	1.5%
・地産地消	5	1.1%
・農作物の販売強化	4	0.9%
・風評に関する報道の自粛	3	0.7%
・鳥獣対策	3	0.7%
・ない、わからない	26	5.7%
・その他	57	12.5%
全体	457	100.0%

※問 32 は地区別集計無し

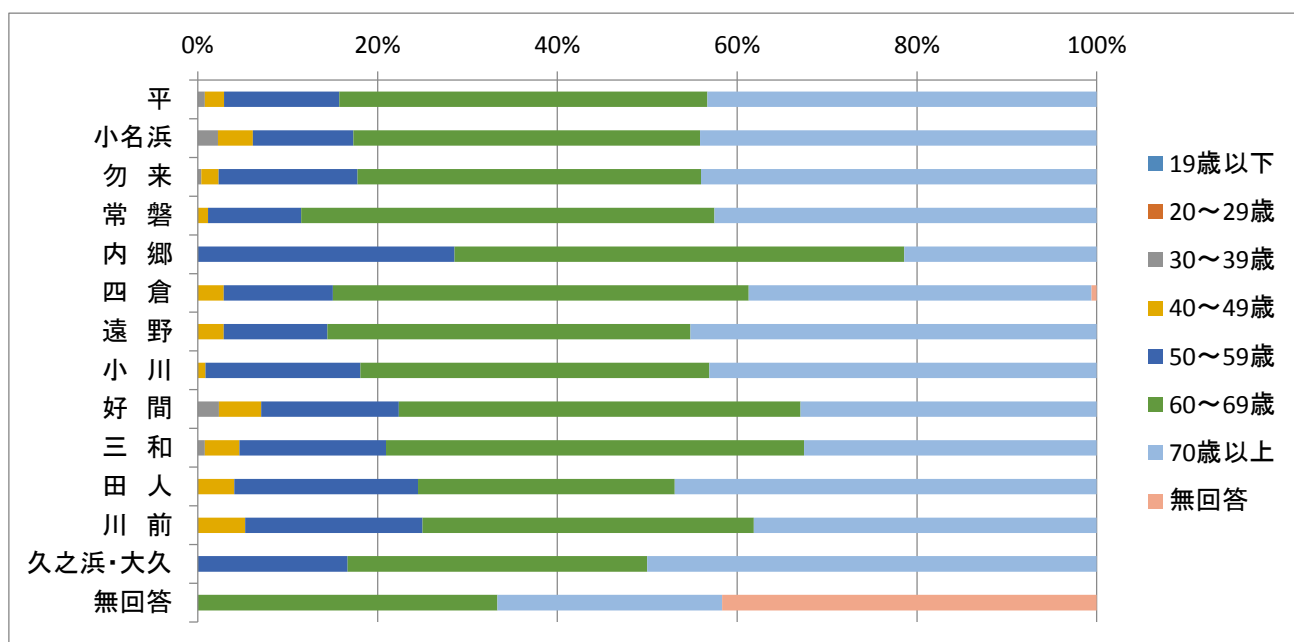
## 地区別集計結果

地区別アンケート調査（意識調査）概要

項目 地区	調査件数 (件)	回収件数 (件)	回収率 (%)	回 答 者			
				男	女	空白	計
平	2,218	515	23.2	449 人	60 人	6 人	515 人
				87.2 %	11.7 %	1.2 %	100.0 %
小名浜	918	179	19.5	155 人	23 人	1 人	179 人
				86.6 %	12.8 %	0.6 %	100.0 %
勿来	1,143	259	22.7	241 人	17 人	1 人	259 人
				93.1 %	6.6 %	0.4 %	100.0 %
常磐	361	87	24.1	81 人	4 人	2 人	87 人
				93.1 %	4.6 %	2.3 %	100.0 %
内郷	115	14	12.2	10 人	2 人	2 人	14 人
				71.4 %	14.3 %	14.3 %	100.0 %
四倉	934	173	18.5	149 人	21 人	3 人	173 人
				86.1 %	12.1 %	1.7 %	100.0 %
遠野	665	104	15.6	88 人	14 人	2 人	104 人
				84.6 %	13.5 %	1.9 %	100.0 %
小川	536	116	21.6	100 人	13 人	3 人	116 人
				86.2 %	11.2 %	2.6 %	100.0 %
好間	338	85	25.1	76 人	7 人	2 人	85 人
				89.4 %	8.2 %	2.4 %	100.0 %
三和	675	129	19.1	107 人	20 人	2 人	129 人
				82.9 %	15.5 %	1.6 %	100.0 %
田人	318	49	15.4	42 人	5 人	2 人	49 人
				85.7 %	10.2 %	4.1 %	100.0 %
川前	325	76	23.4	60 人	14 人	2 人	76 人
				78.9 %	18.4 %	2.6 %	100.0 %
久之浜 大久	403	66	16.4	54 人	10 人	2 人	66 人
				81.8 %	15.2 %	3.0 %	100.0 %
その他	0	12	0	4 人	1 人	7 人	12 人
				33.3 %	8.3 %	58.3 %	100.0 %
全 体	8,949	1,864	20.8	1,616 人	211 人	37 人	1,864 人
				86.7 %	11.3 %	2.0 %	100.0 %

問1 あなたの年齢を選んでください。

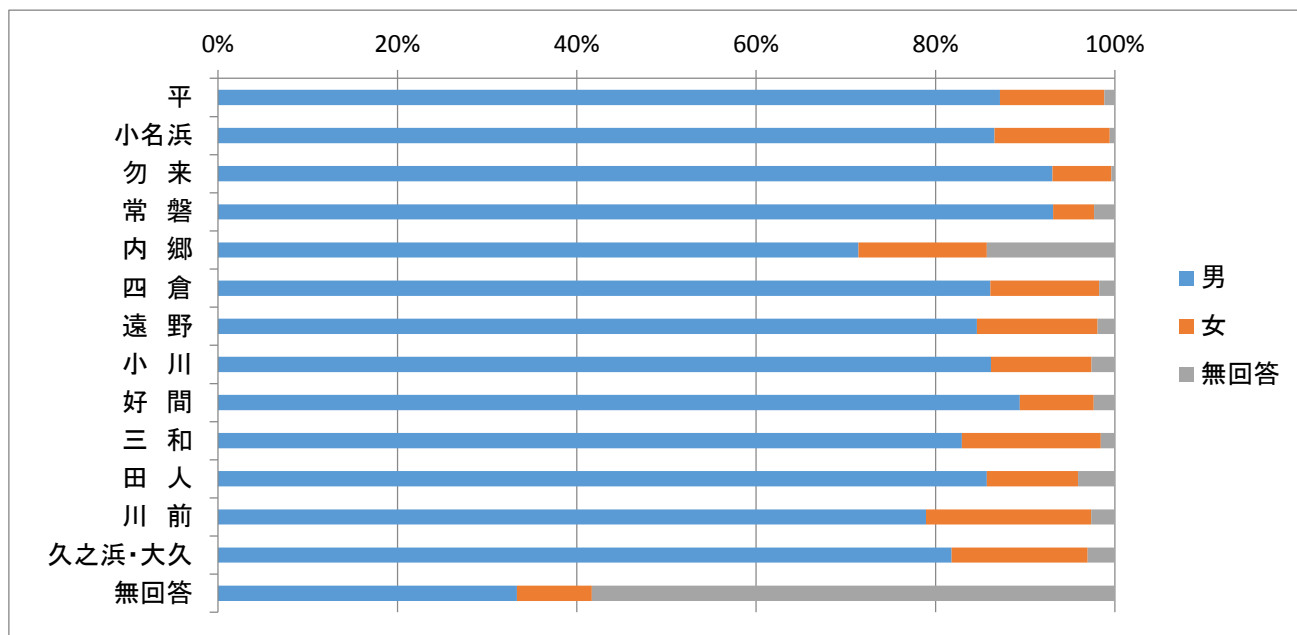
項目 地区	19歳 以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上	無回答	計
平	0	0	4	11	66	211	223	0	515
小名浜	0	0	4	7	20	69	79	0	179
勿来	0	0	1	5	40	99	114	0	259
常磐	0	0	0	1	9	40	37	0	87
内郷	0	0	0	0	4	7	3	0	14
四倉	0	0	0	5	21	80	66	1	173
遠野	0	0	0	3	12	42	47	0	104
小川	0	0	0	1	20	45	50	0	116
好間	0	0	2	4	13	38	28	0	85
三和	0	0	1	5	21	60	42	0	129
田人	0	0	0	2	10	14	23	0	49
川前	0	0	0	4	15	28	29	0	76
久之浜・大久	0	0	0	0	11	22	33	0	66
無回答	0	0	0	0	0	4	3	5	12
全体	0	0	12	48	262	759	777	6	1,864
割合	0.0%	0.0%	0.6%	2.6%	14.1%	40.7%	41.7%	0.3%	100.0%



回答者の年齢は、全体で29歳以下は0人、「30～39歳」が0.6%、「40～49歳」が2.6%であり、いずれの地区も50歳以上がほとんどを占めている。

問2 あなたの性別を選んでください。

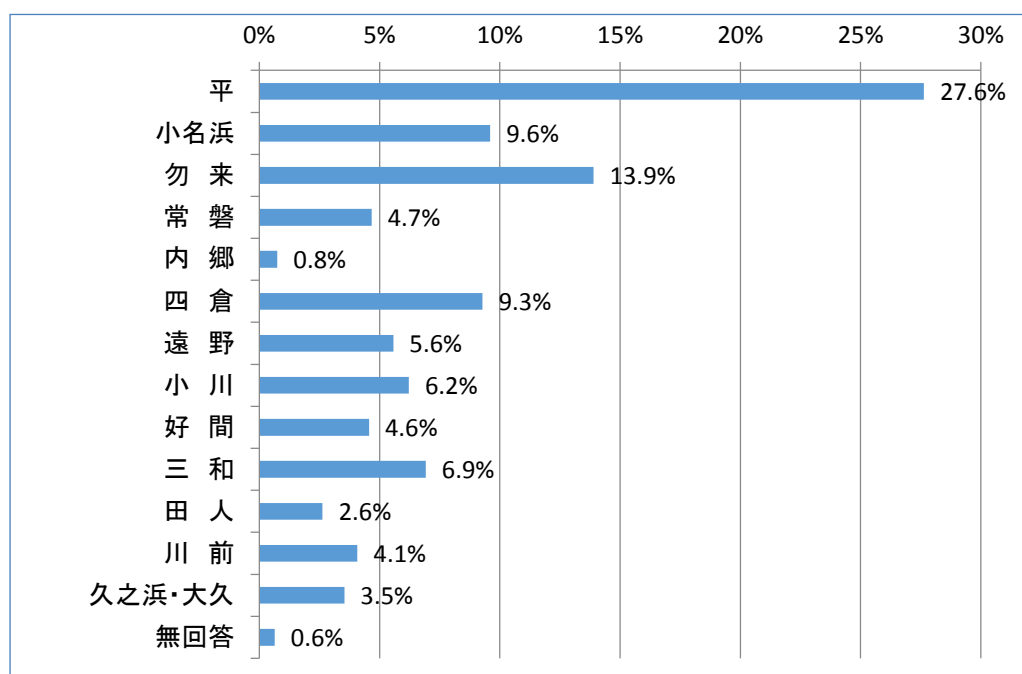
項目 地区	男	女	無回答	計
平	449	60	6	515
小名浜	155	23	1	179
勿来	241	17	1	259
常磐	81	4	2	87
内郷	10	2	2	14
四倉	149	21	3	173
遠野	88	14	2	104
小川	100	13	3	116
好間	76	7	2	85
三和	107	20	2	129
田人	42	5	2	49
川前	60	14	2	76
久之浜・大久	54	10	2	66
無回答	4	1	7	12
全体	1,616	211	37	1,864
割合	86.7%	11.3%	2.0%	100.0%



回答者の86.7%が男性であり、勿来、常磐地区では男性が90%を超えている。

問3 あなたのお住まいの地区を選んでください。

地区	件数	割合 (%)
平	515	27.6%
小名浜	179	9.6%
勿来	259	13.9%
常磐	87	4.7%
内郷	14	0.8%
四倉	173	9.3%
遠野	104	5.6%
小川	116	6.2%
好間	85	4.6%
三和	129	6.9%
田人	49	2.6%
川前	76	4.1%
久之浜・大久	66	3.5%
無回答	12	0.6%
全体	1,864	100.0%

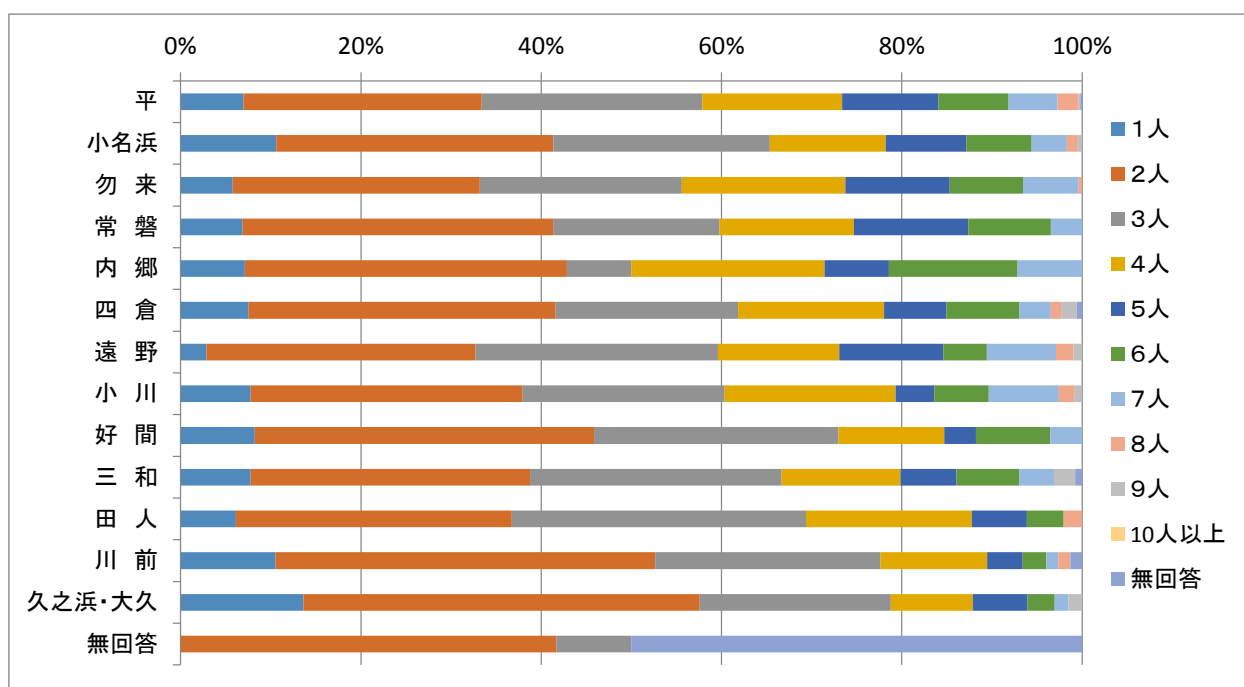


回答数は「平」が515件で27.6%と最も多く、「勿来」259件で13.9%、「小名浜」179件で9.6%、「四倉」173件で9.3%の順となっている。



問4 あなたの同居している家族は、あなたご自身を含めて何人ですか。

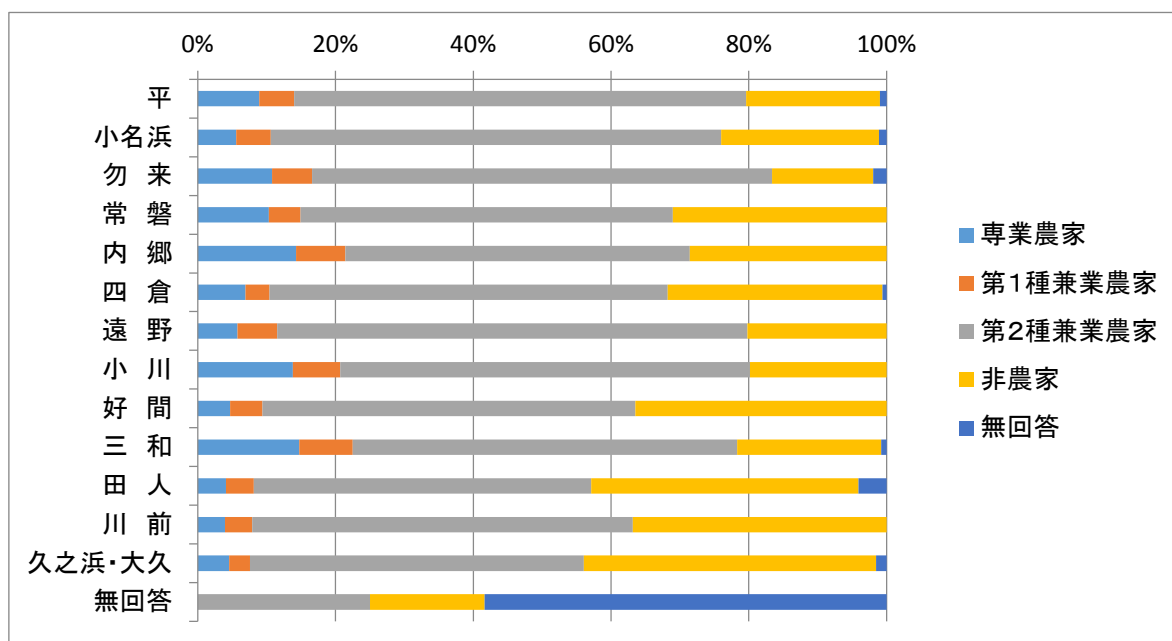
地区	項目	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	計
平		36	136	126	80	55	40	28	12	1	0	1	515
小名浜		19	55	43	23	16	13	7	2	1	0	0	179
勿来		15	71	58	47	30	21	16	1	0	0	0	259
常磐		6	30	16	13	11	8	3	0	0	0	0	87
内郷		1	5	1	3	1	2	1	0	0	0	0	14
四倉		13	59	35	28	12	14	6	2	3	0	1	173
遠野		3	31	28	14	12	5	8	2	1	0	0	104
小川		9	35	26	22	5	7	9	2	1	0	0	116
好間		7	32	23	10	3	7	3	0	0	0	0	85
三和		10	40	36	17	8	9	5	0	3	0	1	129
田人		3	15	16	9	3	2	0	1	0	0	0	49
川前		8	32	19	9	3	2	1	1	0	0	1	76
久之浜・大久		9	29	14	6	4	2	1	0	1	0	0	66
無回答		0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	12
全体		139	575	442	281	163	132	88	23	11	0	10	1,864
割合		7.5%	30.8%	23.7%	15.1%	8.7%	7.1%	4.7%	1.2%	0.6%	0.0%	0.5%	100.0%



田人地区では3人世帯、その他の地区では2人世帯が最も多くなっている。

問5 あなたの農業経営状況について、選んでください。

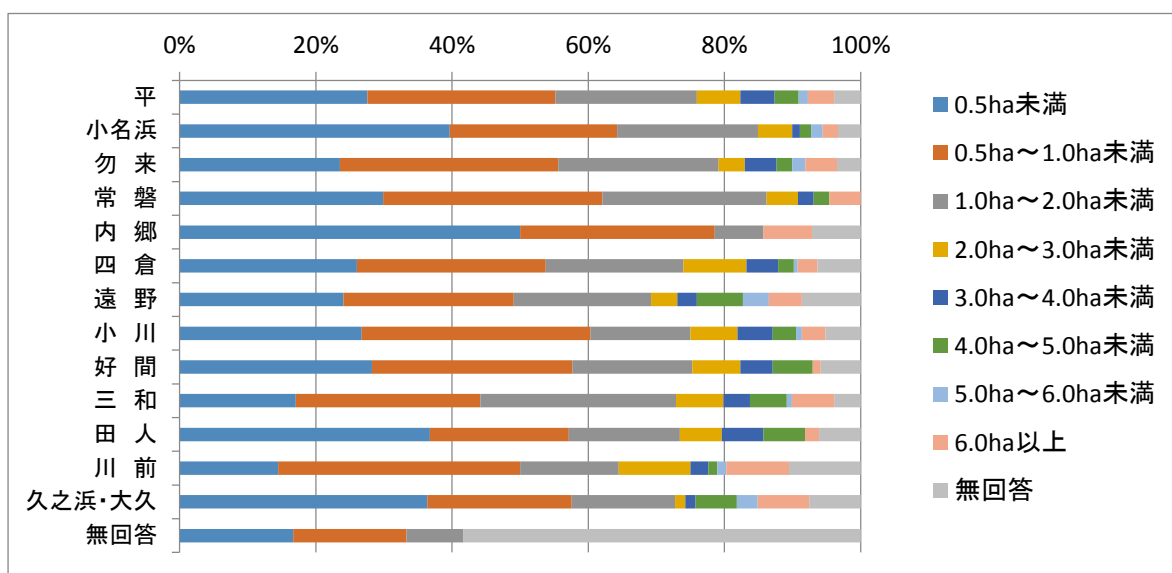
項目 地区	専業農家	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家	非農家	無回答	計
平	46	26	338	100	5	515
小名浜	10	9	117	41	2	179
勿来	28	15	173	38	5	259
常磐	9	4	47	27	0	87
内郷	2	1	7	4	0	14
四倉	12	6	100	54	1	173
遠野	6	6	71	21	0	104
小川	16	8	69	23	0	116
好間	4	4	46	31	0	85
三和	19	10	72	27	1	129
田人	2	2	24	19	2	49
川前	3	3	42	28	0	76
久之浜・大久	3	2	32	28	1	66
無回答	0	0	3	2	7	12
全体	160	96	1,141	443	24	1,864
割合	8.6%	5.2%	61.2%	23.8%	1.3%	100.0%



いずれの地区も第2種兼業農家が最も多くなっている。

問6 あなたの経営耕地面積はいくらですか。(借入地も含めてください。)

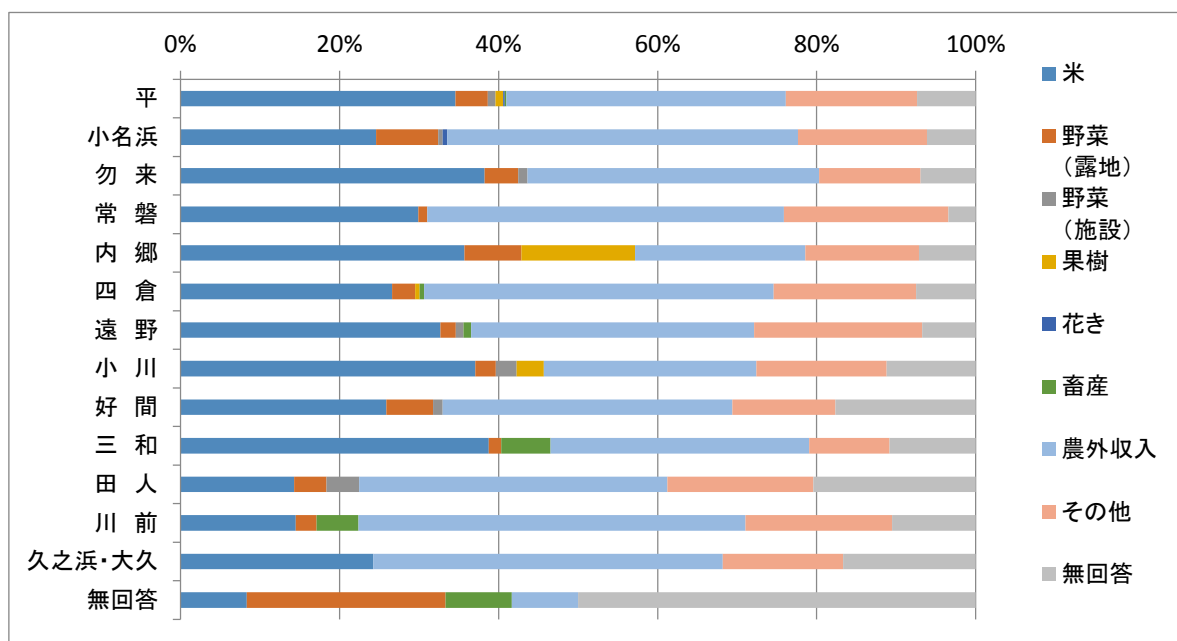
項目 地区	0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 4.0ha	4.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 6.0ha	6.0ha 以上	無回答	計
平	142	142	107	33	26	18	7	20	20	515
小名浜	71	44	37	9	2	3	3	4	6	179
勿来	61	83	61	10	12	6	5	12	9	259
常磐	26	28	21	4	2	2	0	4	0	87
内郷	7	4	1	0	0	0	0	1	1	14
四倉	45	48	35	16	8	4	1	5	11	173
遠野	25	26	21	4	3	7	4	5	9	104
小川	31	39	17	8	6	4	1	4	6	116
好間	24	25	15	6	4	5	0	1	5	85
三和	22	35	37	9	5	7	1	8	5	129
田人	18	10	8	3	3	3	0	1	3	49
川前	11	27	11	8	2	1	1	7	8	76
久之浜・大久	24	14	10	1	1	4	2	5	5	66
無回答	2	2	1	0	0	0	0	0	7	12
全体	509	527	382	111	74	64	25	77	95	1,864
割合	27.3%	28.3%	20.5%	6.0%	4.0%	3.4%	1.3%	4.1%	5.1%	100.0%



経営耕地面積が1ha未満の占める割合が、三和地区44%、遠野地区49%、その他の地区は50%以上となっている。

問7 あなたの家の収入について、最も多いものを選んでください。

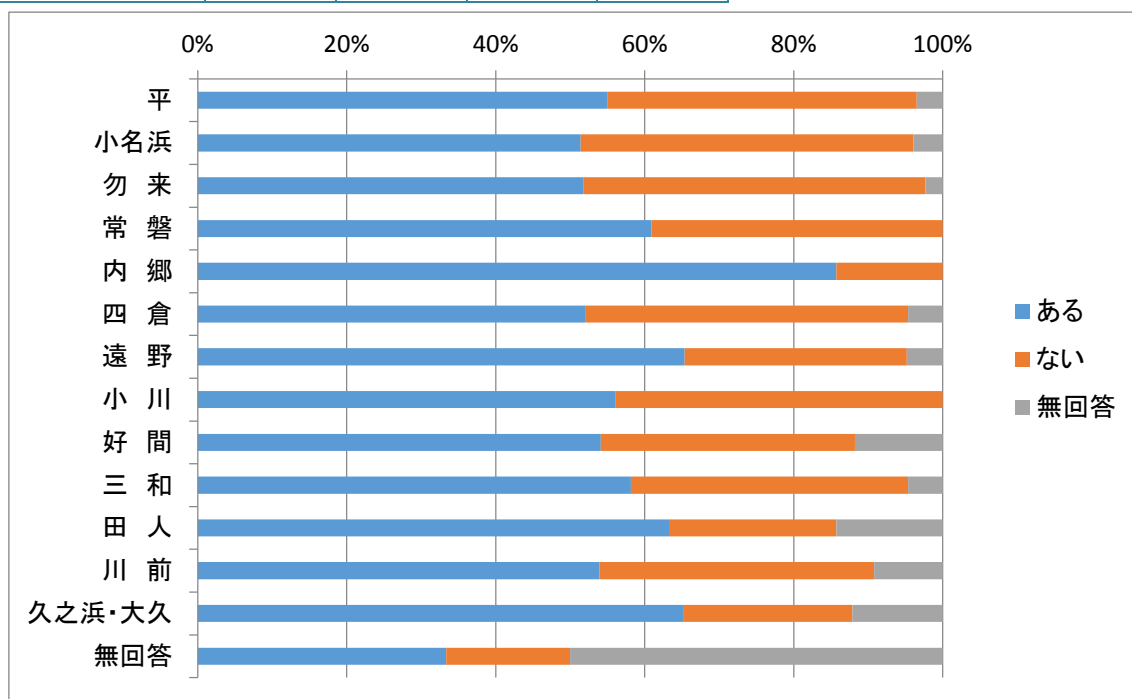
項目 地区	米	野菜 (露地)	野菜 (施設)	果樹	花き	畜産	農外 収入	その他	無回答	計
平	178	21	5	5	1	1	181	85	38	515
小名浜	44	14	1	0	1	0	79	29	11	179
勿来	99	11	3	0	0	0	95	33	18	259
常磐	26	1	0	0	0	0	39	18	3	87
内郷	5	1	0	2	0	0	3	2	1	14
四倉	46	5	0	1	0	1	76	31	13	173
遠野	34	2	1	0	0	1	37	22	7	104
小川	43	3	3	4	0	0	31	19	13	116
好間	22	5	1	0	0	0	31	11	15	85
三和	50	2	0	0	0	8	42	13	14	129
田人	7	2	2	0	0	0	19	9	10	49
川前	11	2	0	0	0	4	37	14	8	76
久之浜・大久	16	0	0	0	0	0	29	10	11	66
無回答	1	3	0	0	0	1	1	0	6	12
全体	582	72	16	12	2	16	700	296	168	1,864
割合	31.2%	3.9%	0.9%	0.6%	0.1%	0.9%	37.6%	15.9%	9.0%	100.0%



勿来、内郷、小川、三和地区は「米」、その他の地区では「農外収入」が最も多くなっている。

問8 あなたの所有する農地で耕作放棄地はありますか。

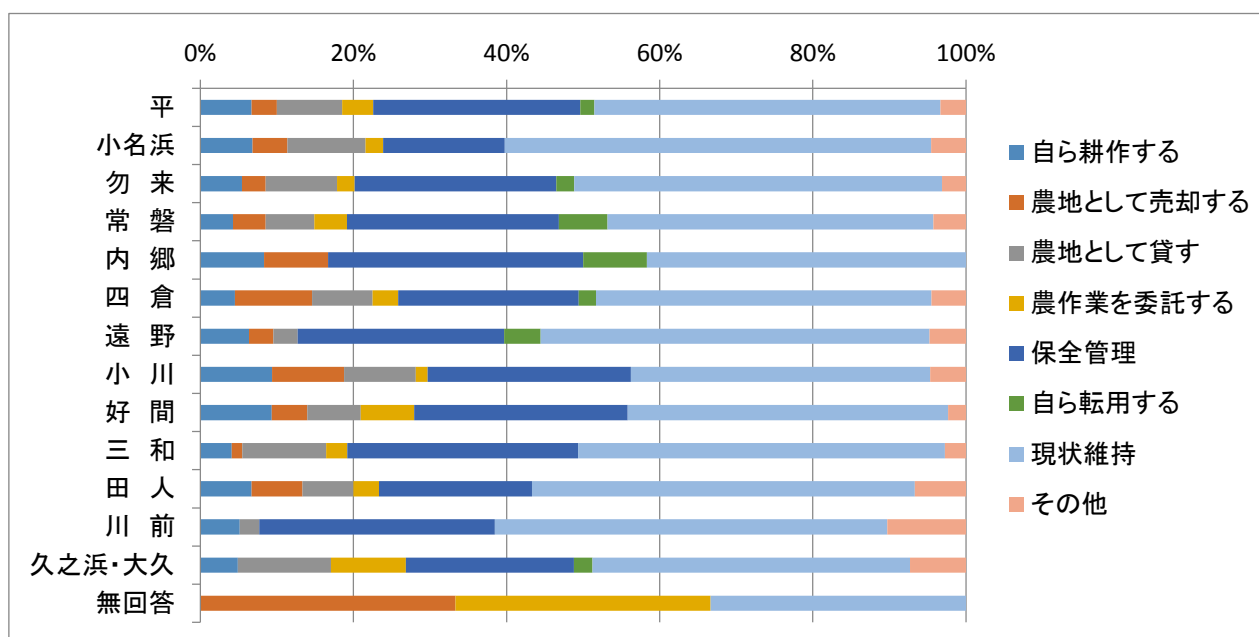
項目 地区	ある	ない	無回答	計
平	283	214	18	515
小名浜	92	80	7	179
勿来	134	119	6	259
常磐	53	34	0	87
内郷	12	2	0	14
四倉	90	75	8	173
遠野	68	31	5	104
小川	65	51	0	116
好間	46	29	10	85
三和	75	48	6	129
田人	31	11	7	49
川前	41	28	7	76
久之浜・大久	43	15	8	66
無回答	4	2	6	12
全体	1,037	739	88	1,864
割合	55.6%	39.6%	4.7%	100.0%



耕作放棄地について「ある」の回答の割合がすべての地区で 50%以上となっている。

問9 耕作放棄地について今後の意向を選んでください。

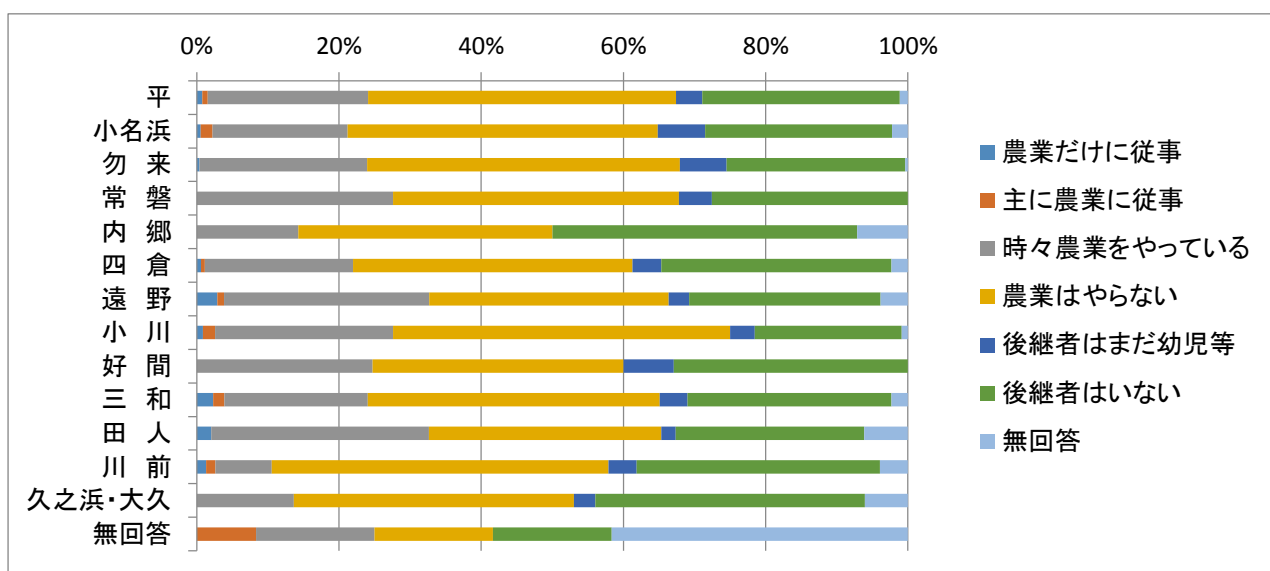
項目 地区	自ら耕作する	農地として売却する	農地として貸す	農作業を委託する	保全管理	自ら転用する	現状維持	その他	計
平	18	9	23	11	73	5	122	9	270
小名浜	6	4	9	2	14	0	49	4	88
勿来	7	4	12	3	34	3	62	4	129
常磐	2	2	3	2	13	3	20	2	47
内郷	1	1	0	0	4	1	5	0	12
四倉	4	9	7	3	21	2	39	4	89
遠野	4	2	2	0	17	3	32	3	63
小川	6	6	6	1	17	0	25	3	64
好間	4	2	3	3	12	0	18	1	43
三和	3	1	8	2	22	0	35	2	73
田人	2	2	2	1	6	0	15	2	30
川前	2	0	1	0	12	0	20	4	39
久之浜・大久	2	0	5	4	9	1	17	3	41
無回答	0	1	0	1	0	0	1	0	3
全体	61	43	81	33	254	18	460	41	991
割合	6.2%	4.3%	8.2%	3.3%	25.6%	1.8%	46.4%	4.1%	100.0%



すべての地区で「現状維持」が最も多く、次いで「保全管理」となっている。

問 10 あなたの家では、後継者についてどのような状況にありますか。

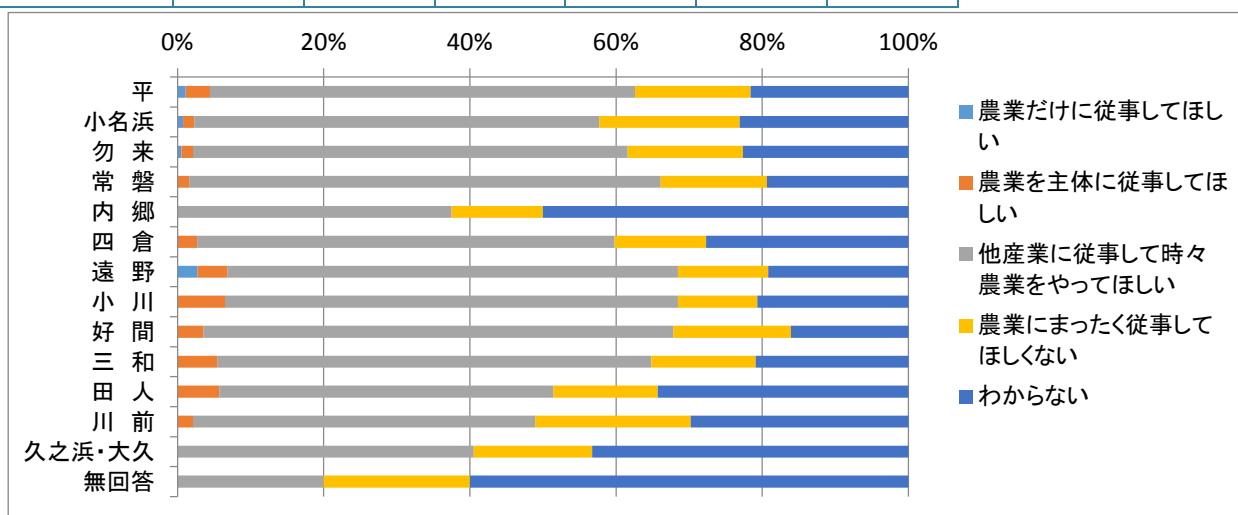
地区	項目	現在農業だけに従事	主に農業に従事	他産業に従事しながら時々	農業はやらない	後継者はまだ幼児等	後継者はいない	無回答	計
平		4	4	116	223	19	143	6	515
小名浜		1	3	34	78	12	47	4	179
勿来		1	0	61	114	17	65	1	259
常磐		0	0	24	35	4	24	0	87
内郷		0	0	2	5	0	6	1	14
四倉		1	1	36	68	7	56	4	173
遠野		3	1	30	35	3	28	4	104
小川		1	2	29	55	4	24	1	116
好間		0	0	21	30	6	28	0	85
三和		3	2	26	53	5	37	3	129
田人		1	0	15	16	1	13	3	49
川前		1	1	6	36	3	26	3	76
久之浜・大久		0	0	9	26	2	25	4	66
無回答		0	1	2	2	0	2	5	12
全体		16	15	411	776	83	524	39	1,864
割合		0.9%	0.8%	22.0%	41.6%	4.5%	28.1%	2.1%	100.0%



「他産業に従事している後継者はあるが、農業はまったくやらない」「後継者はまだ幼児・生徒又は学生のいずれかである」「後継者はまったくいない」の合計が遠野、田人地区で60%以上、その他の地区で70%以上となっている。

問11 あなたの家では、後継者について将来どのように望んでいますか。

項目 地区	農業だけに 従事して ほしい	農業を主 体に従事 してほし い	他産業に 従事して 時々農業 をやっ てほしい	農業にま ったく従 事してほ しくない	わから ない	計
平	4	12	210	57	78	361
小名浜	1	2	72	25	30	130
勿来	1	3	113	30	43	190
常磐	0	1	40	9	12	62
内郷	0	0	3	1	4	8
四倉	0	3	64	14	31	112
遠野	2	3	45	9	14	73
小川	0	6	57	10	19	92
好間	0	2	36	9	9	56
三和	0	5	54	13	19	91
田人	0	2	16	5	12	35
川前	0	1	22	10	14	47
久之浜・大久	0	0	15	6	16	37
無回答	0	0	1	1	3	5
全体	8	40	748	199	304	1,299
割合	0.6%	3.1%	57.6%	15.3%	23.4%	100.0%

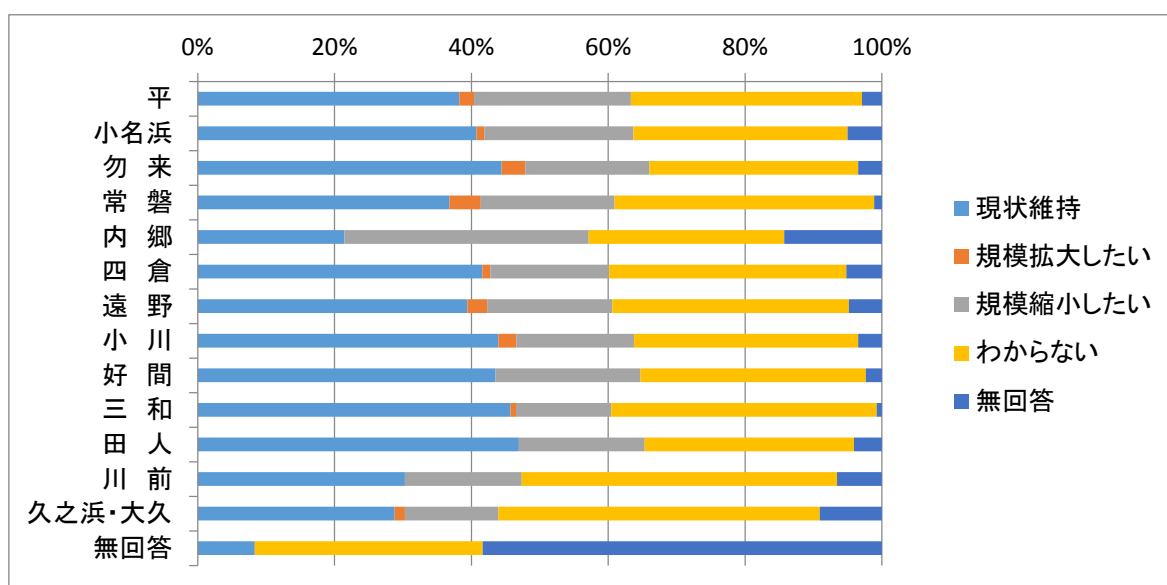


内郷、川前、久之浜・大久地区は「農業だけに従事してほしい」「農業を主体に従事してほしい」「他産業に従事して時々農業をやってほしい」合わせて50%を下回っている。



問 12 あなたの家では、農業経営をこれからどのようにしていきたいと考えていますか。

項目 地区	現状維持	規模拡大 したい	規模縮小 したい	わから ない	無回答	計
平	197	11	118	174	15	515
小名浜	73	2	39	56	9	179
勿来	115	9	47	79	9	259
常磐	32	4	17	33	1	87
内郷	3	0	5	4	2	14
四倉	72	2	30	60	9	173
遠野	41	3	19	36	5	104
小川	51	3	20	38	4	116
好間	37	0	18	28	2	85
三和	59	1	18	50	1	129
田人	23	0	9	15	2	49
川前	23	0	13	35	5	76
久之浜・大久	19	1	9	31	6	66
無回答	1	0	0	4	7	12
全体	746	36	362	643	77	1,864
割合	40.0%	1.9%	19.4%	34.5%	4.1%	100.0%



常磐、川前、久之浜・大久地区では「わからない」、内郷地区では「規模縮小したい」が最も多く、その他の地区では「現状維持」が最も多くなっている。

問 13 どのようにして経営規模の拡大をしたいと考えていますか。

項目 地区	農地を購 入したい	農地を借り 入れしたい	山林などを 造成し拡大 したい	作業受託し たい	施設ハウス を増設した い	計
	田	田	田	田	田	田
	畑	畑	畑	畑	畑	畑
	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地
平	250	540		600		1,390 a
	0	200	0	0	1,000	1,200 a
	0	0	0	0		0 a
小名浜	50	110		60		220 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
勿来	0	1,085		200		1,285 a
	0	30	100	0	20	150 a
	0	0	0	0		0 a
常磐	0	600		100		700 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
内郷	0	0		0		0 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
四倉	0	0		200		200 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
遠野	0	250		200		450 a
	0	50	0	0	0	50 a
	0	0	0	0		0 a
小川	0	110		0		110 a
	0	0	0	0	80	80 a
	0	0	0	0		0 a
好間	0	0		0		0 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a

三 和	0	0		0		0 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
田 人	0	0		0		0 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
川 前	0	0		0		0 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
久之浜・大久	300	0		0		300 a
	0	0	0	0	0	0 a
	0	0	0	0		0 a
合 計	600 a	2,695 a		1,360 a		4,655 a
	0 a	280 a	100 a	0 a	1,100 a	1,480 a
	0 a	0 a	0 a	0 a		0 a

※ 面積はアンケート個票をすべて合計したもの。(小数点以下四捨五入)

どのようにして経営規模を拡大したいのかについては、「農地を借入したい」で「田」が 2,695a で最も多く、次いで「作業受託したい」で「田」が 1,360a となっている。

地区別では、平地区で「田」を拡大する面積が 1,390a、「畑」を拡大する面積が 1,200a と最も多く、樹園地を拡大する面積はいずれの地区も 0 となっている。

問 14 どのようにして経営規模の縮小をしたいと考えていますか。

項目 地区	農地を売却 したい	農地を貸し たい	農地をその ままにして おく	委託耕作し てもらう	施設ハウス を減らした い	計
	田	田	田	田	田	田
	畑	畑	畑	畑	畑	畑
	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地	樹園地
平	10,801	32,603	100	12,265		55,769 a
	411	475	55	307	0	1,248 a
	0	50	0	0		50 a
小名浜	316	378	43	2,541		3,278 a
	69	74	26	61	0	230 a
	1	0	0	0		1 a
勿来	298	2,194	132	5,320		7,944 a
	76	1,709	35	10	0	1,830 a
	0	0	0	0		0 a
常磐	165	10,473	72	50		10,760 a
	60	22	66	0	0	148 a
	0	0	0	0		0 a
内郷	3	0	90	3		96 a
	0	0	6	2	0	8 a
	0	0	0	0		0 a
四倉	160	1,071	60	243		1,534 a
	20	281	20	0	0	321 a
	0	10	0	0		10 a
遠野	120	183	160	10,081		10,544 a
	1	13	91	0	0	105 a
	0	0	0	0		0 a
小川	195	70	353	6		624 a
	54	64	95	0	0	213 a
	0	0	2	0		2 a
好間	830	90	326	33		1,279 a
	520	40	2	2	0	564 a
	0	0	0	0		0 a

三 和	80	350	180	240		850 a
	30	65	20	0	0	115 a
	0	0	0	0		0 a
田 人	4,780	82	0	80		4,942 a
	3,910	80	0	10	0	4,000 a
	0	0	0	0		0 a
川 前	200	170	10,020	60		10,450 a
	60	40	50	0	0	150 a
	0	0	20	0		20 a
久之浜・大久	2	75	21	60		158 a
	1	14	10	0	0	25 a
	0	0	0	0		0 a
合 計	17,950 a	47,739 a	11,557 a	30,982 a		108,228 a
	5,212 a	2,877 a	476 a	392 a	0 a	8,957 a
	1 a	60 a	22 a	0 a		83 a

※ 面積はアンケート個票をすべて合計したもの。(小数点以下四捨五入)

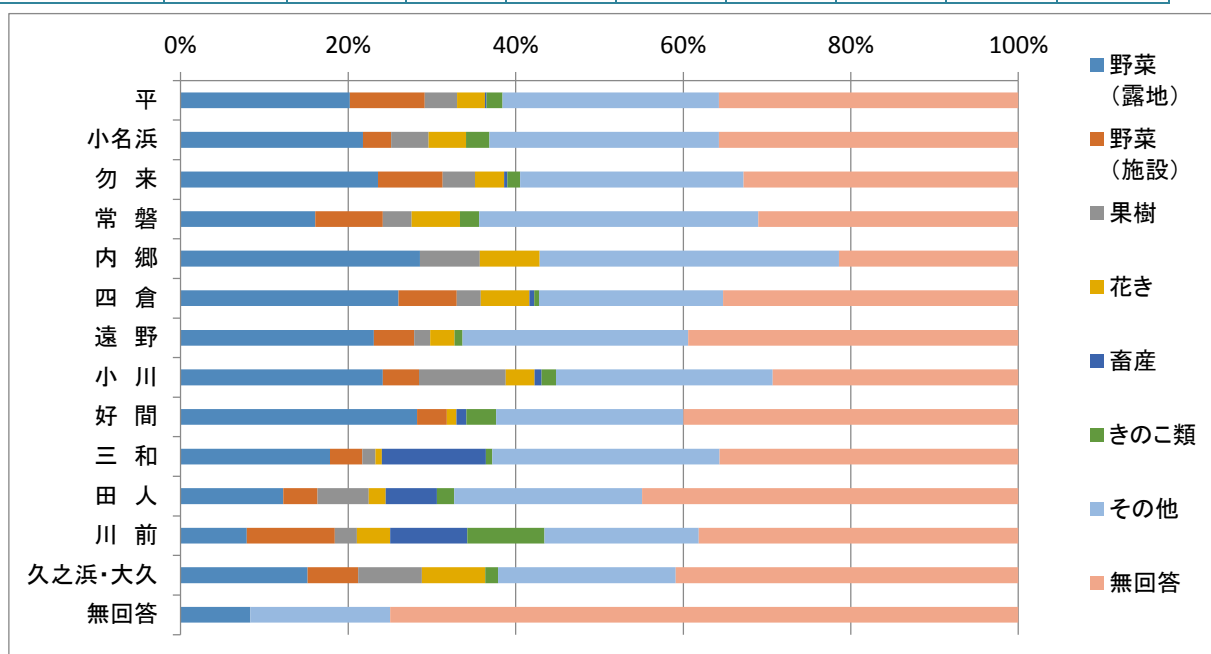
どのようにして経営規模を縮小したいのかについては、「農地を貸したい」で「田」が47,739aで最も多く、次いで「委託耕作してもらおう」で「田」が30,982aとなっている。

施設ハウスを減らしたい面積は0となっている。

地区別では、平地区で「田」を縮小する面積が55,769a、樹園地を縮小する面積が50aと最も多く、田人地区で「畑」を縮小する面積が4,000aと最も多くなっている。

問 15 水稲以外で重点に行おうとする作物を選んでください。

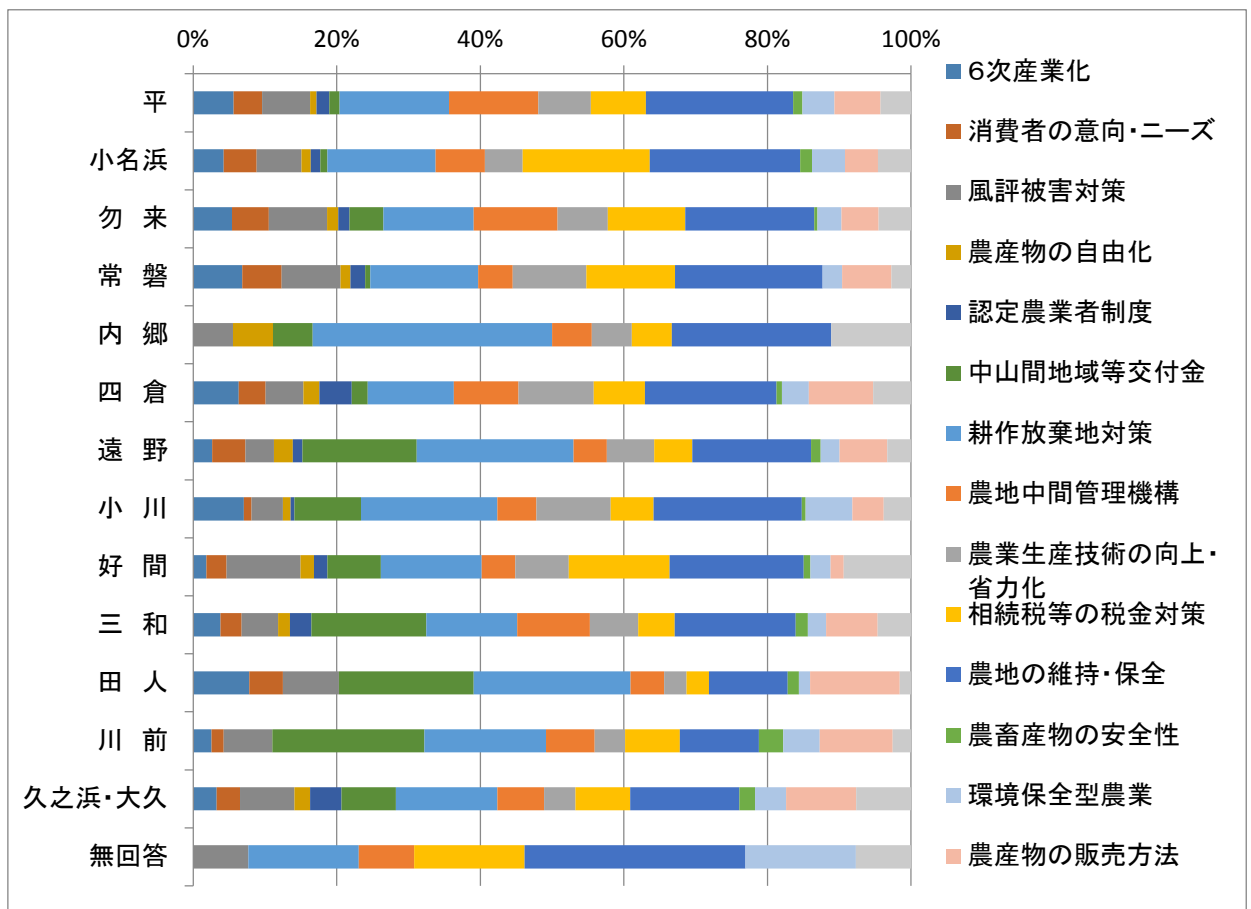
項目 地区	野菜 (露地)	野菜 (施設)	果樹	花き	畜産	きのこ 類	その他	無回答	計
平	104	46	20	17	1	10	133	184	515
小名浜	39	6	8	8	0	5	49	64	179
勿来	61	20	10	9	1	4	69	85	259
常磐	14	7	3	5	0	2	29	27	87
内郷	4	0	1	1	0	0	5	3	14
四倉	45	12	5	10	1	1	38	61	173
遠野	24	5	2	3	0	1	28	41	104
小川	28	5	12	4	1	2	30	34	116
好間	24	3	0	1	1	3	19	34	85
三和	23	5	2	1	16	1	35	46	129
田人	6	2	3	1	3	1	11	22	49
川前	6	8	2	3	7	7	14	29	76
久之浜・大久	10	4	5	5	0	1	14	27	66
無回答	1	0	0	0	0	0	2	9	12
全体	389	123	73	68	31	38	476	666	1,864
割合	20.9%	6.6%	3.9%	3.6%	1.7%	2.0%	25.5%	35.7%	100.0%



常磐、内郷地区では、「その他」が最も多く、その他の地区では「無回答」が最も多い。

問 16 あなたの関心が高いものは何ですか。(複数回答可)

項目 地区	6次 産業 化	消費者 の意 向・ ニーズ	風評被 害対策	農産物 の自由 化	認定農 業者制 度	中山間 地域等 交付金	耕作放 棄地対 策	農地中 間管理 機構	農業生産 技術の向 上・ 省力化	相続税 等の税 金対策	農地の 維持・ 保全	農畜産 物の安 全性	環境保 全型農 業	農産 物の 販売 方法	その 他	計
平	44	31	52	7	14	11	119	97	57	60	160	10	35	50	33	780
小名浜	13	14	19	4	4	3	46	21	16	54	64	5	14	14	14	305
勿来	24	23	36	7	7	21	56	52	31	48	80	2	15	23	20	445
常磐	10	8	12	2	3	1	22	7	15	18	30	0	4	10	4	146
内郷	0	0	1	1	0	1	6	1	1	1	4	0	0	0	2	18
四倉	17	10	14	6	12	6	32	24	28	19	49	2	10	24	14	267
遠野	4	7	6	4	2	24	33	7	10	8	25	2	4	10	5	151
小川	13	2	8	2	1	17	35	10	19	11	38	1	12	8	7	184
好間	2	3	11	2	2	8	15	5	8	15	20	1	3	2	10	107
三和	9	7	12	4	7	38	30	24	16	12	40	4	6	17	11	237
田人	5	3	5	0	0	12	14	3	2	2	7	1	1	8	1	64
川前	3	2	8	0	0	25	20	8	5	9	13	4	6	12	3	118
久之浜・大久	3	3	7	2	4	7	13	6	4	7	14	2	4	9	7	92
無回答	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	4	0	2	0	1	13
全体	147	113	192	41	56	174	443	266	212	266	548	34	116	187	132	2,927
割合	5.0%	3.9%	6.6%	1.4%	1.9%	5.9%	15.1%	9.1%	7.2%	9.1%	18.7%	1.2%	4.0%	6.4%	4.5%	100.0%

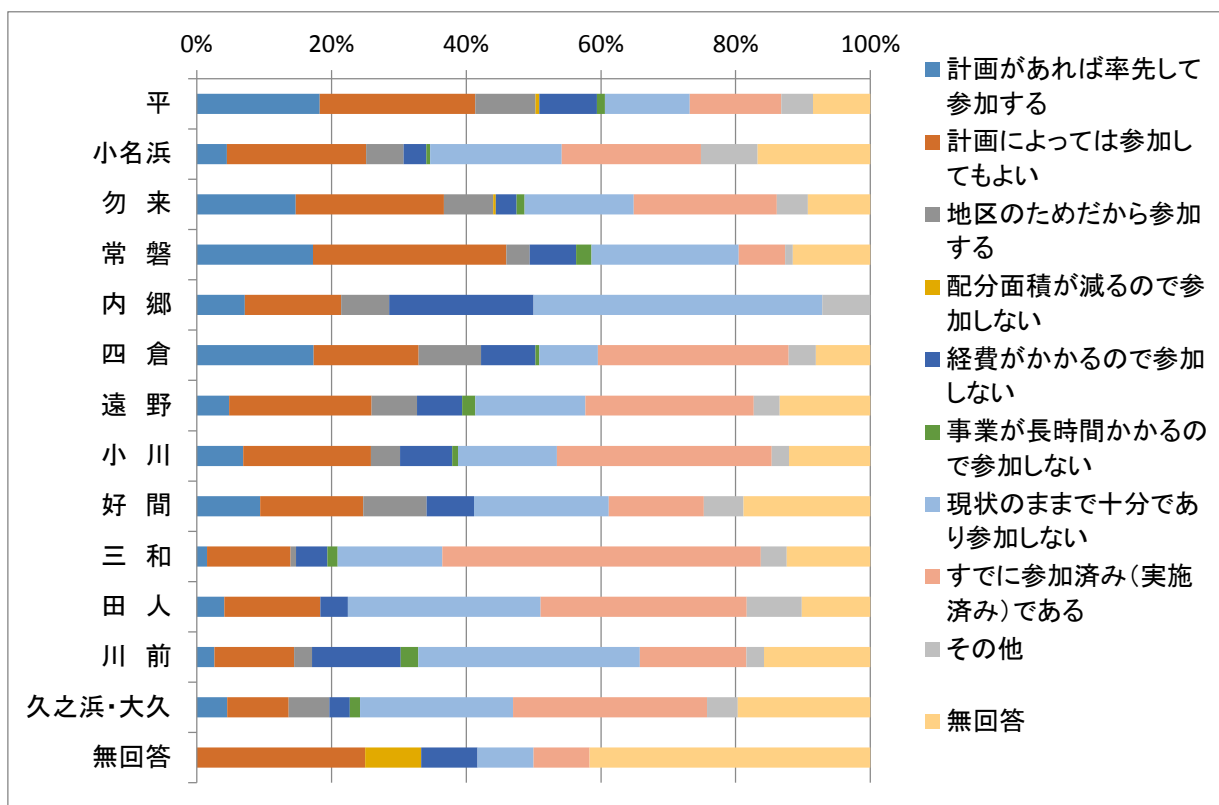


内郷、遠野、田人地区では「耕作放棄地対策」、川前地区で「中山間地域等交付金」、その他の地区では「農地の維持・保全」への関心が最も高くなっている。



問 17 ほ場整備事業を実施する場合、事業に参加しますか。

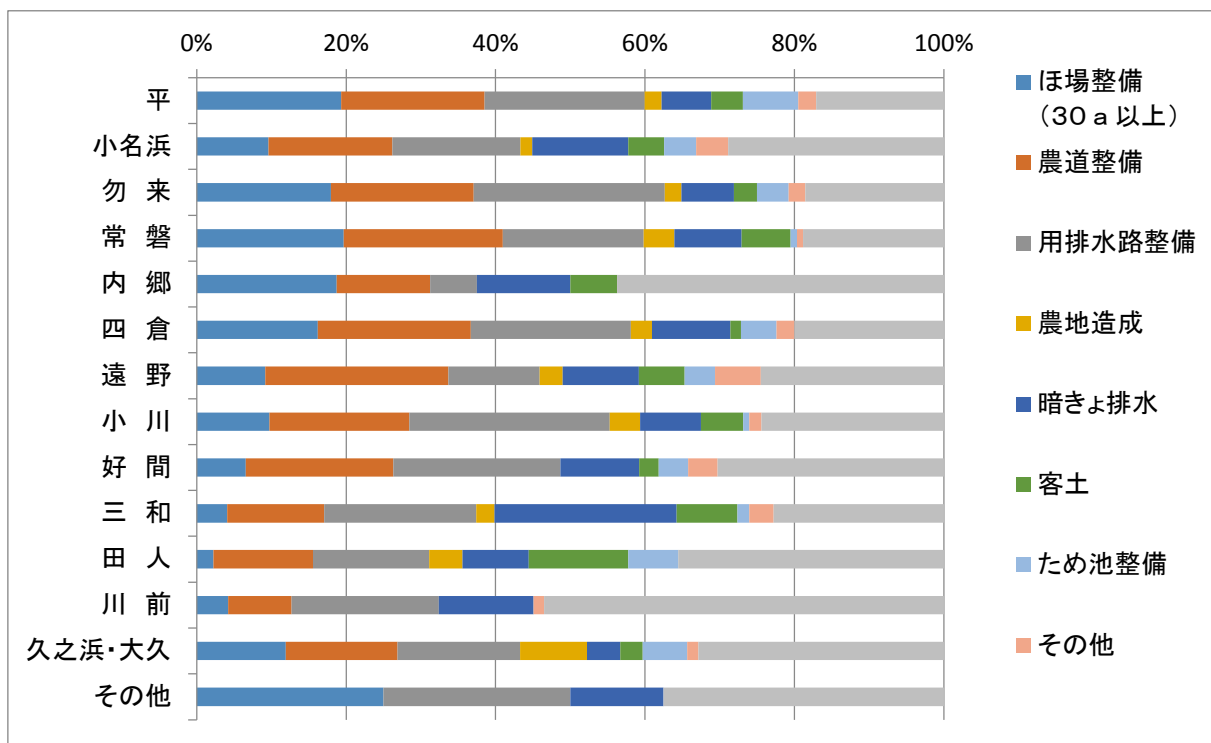
項目 地区	計画が あれば 率先し て参加 する	計画に よって は参加 しても よい	地区 のた めだ から 参加 する	配分 面積 が減 るの で参 加し ない	経費 がか かる ので 参加 しな い	事業 が長 時間 かか るの で参 加し ない	現状の ままで 十分で あり参 加しな い	すでに 参加済 み(実 施済 み)で ある	その 他	無回答	計
平	94	119	46	3	44	6	65	70	24	44	515
小名浜	8	37	10	0	6	1	35	37	15	30	179
勿来	38	57	19	1	8	3	42	55	12	24	259
常磐	15	25	3	0	6	2	19	6	1	10	87
内郷	1	2	1	0	3	0	6	0	1	0	14
四倉	30	27	16	0	14	1	15	49	7	14	173
遠野	5	22	7	0	7	2	17	26	4	14	104
小川	8	22	5	0	9	1	17	37	3	14	116
好間	8	13	8	0	6	0	17	12	5	16	85
三和	2	16	1	0	6	2	20	61	5	16	129
田人	2	7	0	0	2	0	14	15	4	5	49
川前	2	9	2	0	10	2	25	12	2	12	76
久之浜・大久	3	6	4	0	2	1	15	19	3	13	66
無回答	0	3	0	1	1	0	1	1	0	5	12
全体	216	365	122	5	124	21	308	400	86	217	1,864
割合	11.6%	19.6%	6.5%	0.3%	6.7%	1.1%	16.5%	21.5%	4.6%	11.6%	100.0%



平、勿来、常磐地区は「計画によっては参加してもよい」、内郷、好間、川前地区は「現状のままで十分であり参加しない」、四倉、遠野、小川、三和、田人、久之浜・大久地区は「すでに参加済み（実施済み）である」が最も多く、小名浜地区は「計画によっては参加してもよい」「すでに参加済み（実施済み）である」が同数で最も多くなっている。

問 18 土地基盤整備事業について何を希望しますか。(複数回答可)

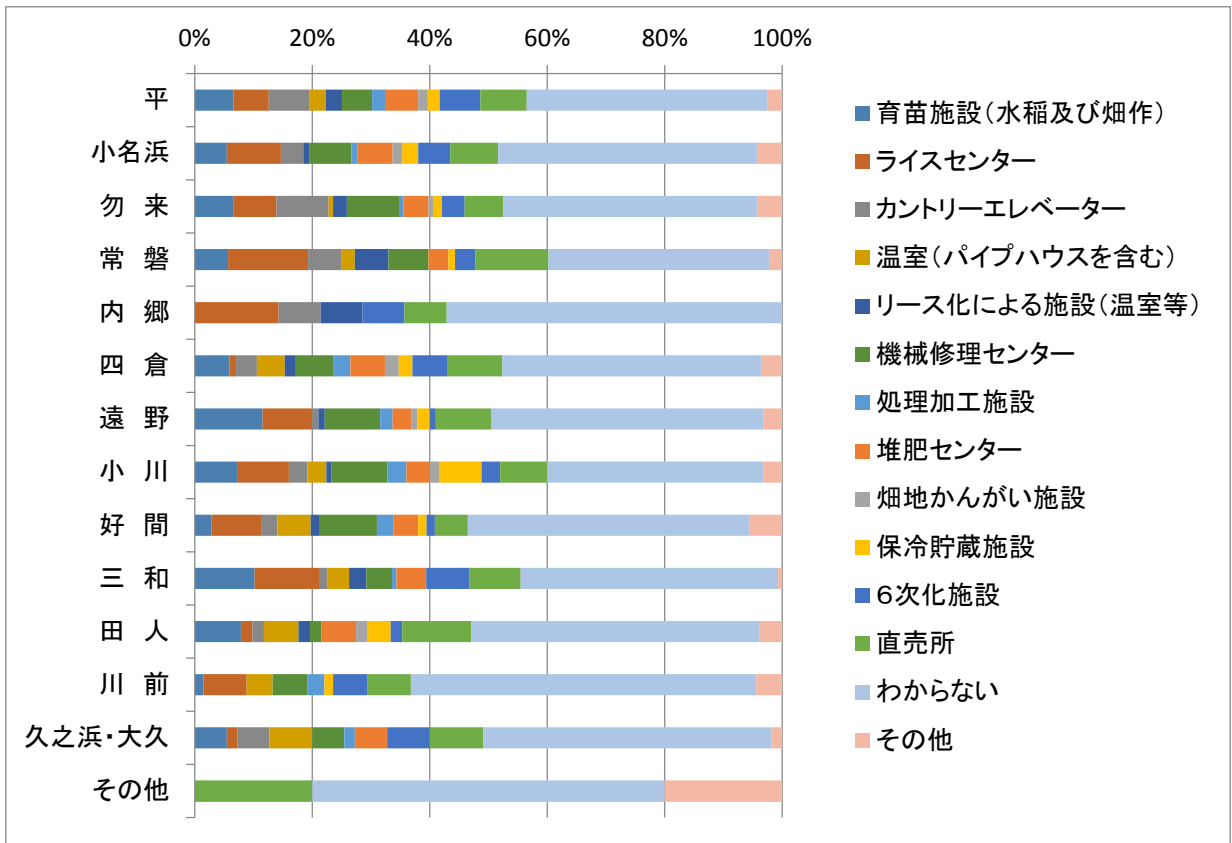
項目 地区	ほ場整備 (30a 以上)	農道 整備	用排 水路 整備	農地 造成	暗き よ排 水	客土	ため 池整 備	その 他	希望 しない	計
平	128	127	142	15	44	28	49	16	113	662
小名浜	18	31	32	3	24	9	8	8	54	187
勿来	64	68	91	8	25	11	15	8	66	356
常磐	24	26	23	5	11	8	1	1	23	122
内郷	3	2	1	0	2	1	0	0	7	16
四倉	34	43	45	6	22	3	10	5	42	210
遠野	9	24	12	3	10	6	4	6	24	98
小川	12	23	33	5	10	7	1	2	30	123
好間	5	15	17	0	8	2	3	3	23	76
三和	5	16	25	3	30	10	2	4	28	123
田人	1	6	7	2	4	6	3	0	16	45
川前	3	6	14	0	9	0	0	1	38	71
久之浜・大久	8	10	11	6	3	2	4	1	22	67
その他	2	0	2	0	1	0	0	0	3	8
全体	316	397	455	56	203	93	100	55	489	2,164
割合	14.6%	18.3%	21.0%	2.6%	9.4%	4.3%	4.6%	2.5%	22.6%	100.0%



平、勿来、四倉、小川地区で「用排水路整備」、常磐地区で「農道整備」が最も多く、遠野地区では「農道整備」と「希望しない」が同数で最も多く、その他の地区では「希望しない」が最も多くなっている。

問 19 今後必要と思う共同の農業用施設は何ですか。(複数回答可)

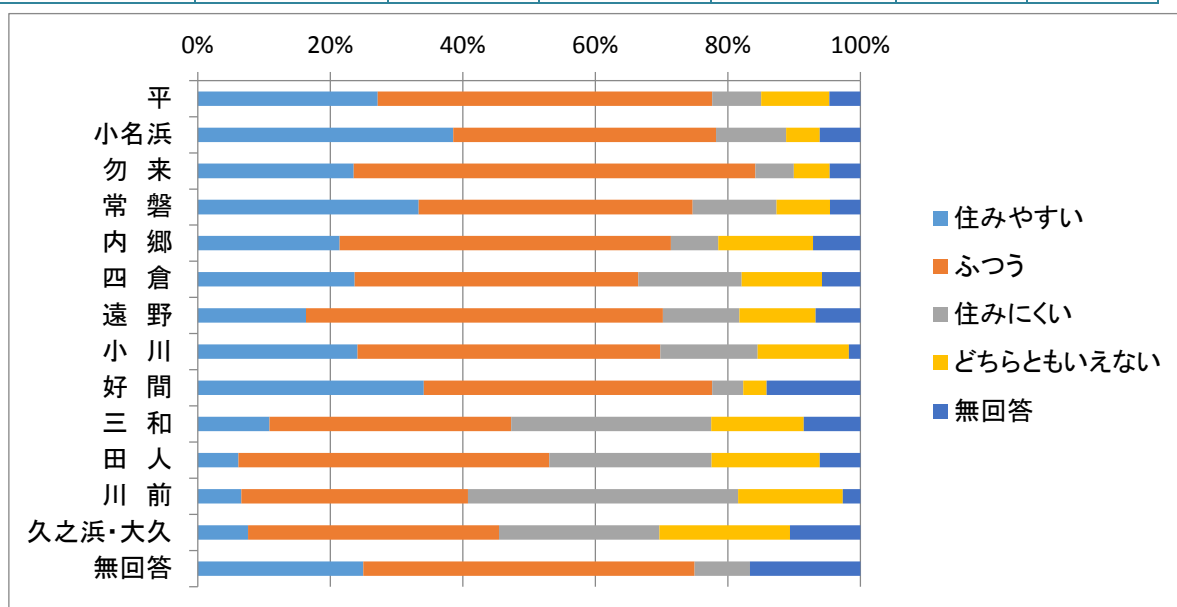
項目 地区	育苗施設(水稲及び畑作)	ライスセンター	カンントリーエレベーター	温室(パイプハウスを含む)	リース化による施設(温室等)	機械修理センター	処理加工施設	堆肥センター	畑地かんがい施設	保冷貯蔵施設	6次化施設	直売所	わからない	その他	計
平	36	33	38	15	15	28	13	30	9	11	38	43	224	14	547
小名浜	10	17	7	0	2	13	2	11	3	5	10	15	81	8	184
勿来	17	19	23	2	6	23	2	11	2	4	10	17	112	11	259
常磐	5	12	5	2	5	6	0	3	0	1	3	11	33	2	88
内郷	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	8	0	14
四倉	10	2	6	8	3	11	5	10	4	4	10	16	75	6	170
遠野	11	8	1	0	1	9	2	3	1	2	1	9	44	3	95
小川	9	11	4	4	1	12	4	5	2	9	4	10	46	4	125
好間	2	6	2	4	1	7	2	3	0	1	1	4	34	4	71
三和	14	15	2	5	4	6	1	7	0	0	10	12	60	1	137
田人	4	1	1	3	1	1	0	3	1	2	1	6	25	2	51
川前	1	5	0	3	0	4	2	0	0	1	4	5	40	3	68
久之浜・大久	3	1	3	4	0	3	1	3	0	0	4	5	27	1	55
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	5
全体	122	132	93	50	40	123	34	89	22	40	97	155	812	60	1,869
割合	6.5%	7.1%	5.0%	2.7%	2.1%	6.6%	1.8%	4.8%	1.2%	2.1%	5.2%	8.3%	43.4%	3.2%	100.0%



すべての地区において、「わからない」が最も多い。

問 20 あなたの住んでいる地域は、住みやすいですか。

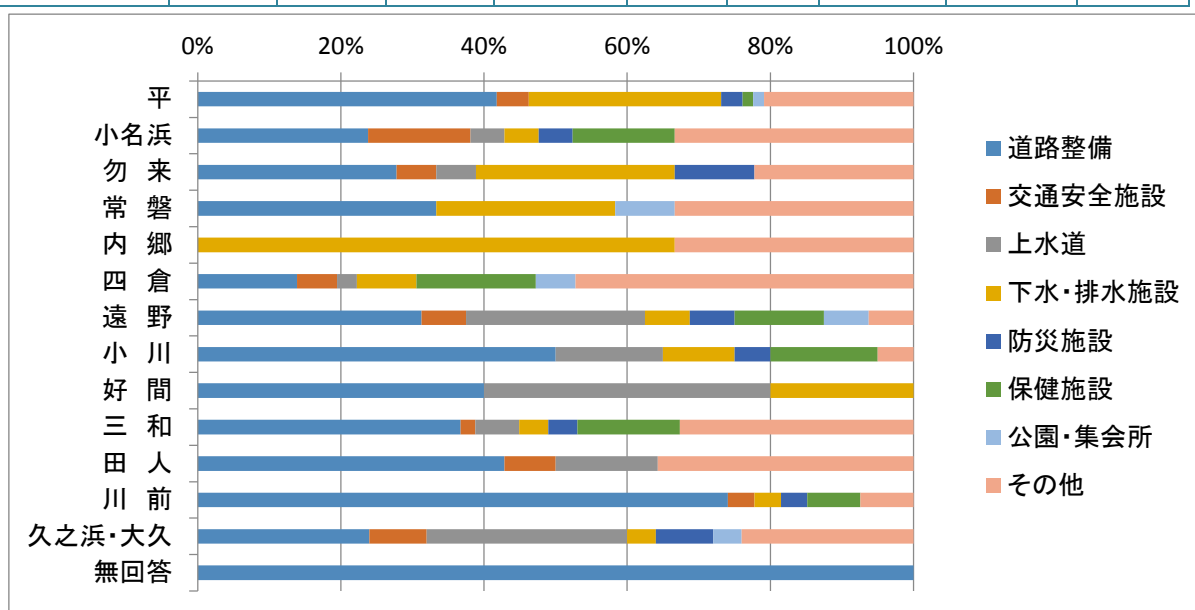
項目 地区	住みやすい	ふつう	住みにくい	どちらとも いえない	無回答	計
平	140	260	38	53	24	515
小名浜	69	71	19	9	11	179
勿来	61	157	15	14	12	259
常磐	29	36	11	7	4	87
内郷	3	7	1	2	1	14
四倉	41	74	27	21	10	173
遠野	17	56	12	12	7	104
小川	28	53	17	16	2	116
好間	29	37	4	3	12	85
三和	14	47	39	18	11	129
田人	3	23	12	8	3	49
川前	5	26	31	12	2	76
久之浜・大久	5	25	16	13	7	66
無回答	3	6	1	0	2	12
全体	447	878	243	188	108	1,864
割合	24.0%	47.1%	13.0%	10.1%	5.8%	100.0%



川前地区は「住みにくい」が最も多く、三和、田人、久之浜・大久地区は「ふつう」、「住みにくい」の順で多く、その他の地区は「ふつう」、「住みやすい」の順となっている。

問 21 どんな点が整備、改善されれば住みやすくなると思いますか。

項目 地区	道路 整備	交通 安全 施設	上水 道	下水・排 水施設	防災 施設	保健 施設	公園・集 会所	その他	計
平	28	3	0	18	2	1	1	14	67
小名浜	5	3	1	1	1	3	0	7	21
勿来	5	1	1	5	2	0	0	4	18
常磐	4	0	0	3	0	0	1	4	12
内郷	0	0	0	2	0	0	0	1	3
四倉	5	2	1	3	0	6	2	17	36
遠野	5	1	4	1	1	2	1	1	16
小川	10	0	3	2	1	3	0	1	20
好間	2	0	2	1	0	0	0	0	5
三和	18	1	3	2	2	7	0	16	49
田人	6	1	2	0	0	0	0	5	14
川前	20	1	0	1	1	2	0	2	27
久之浜・大久	6	2	7	1	2	0	1	6	25
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1
全体	115	15	24	40	12	24	6	78	314
割合	36.6%	4.8%	7.6%	12.7%	3.8%	7.6%	1.9%	24.8%	100.0%

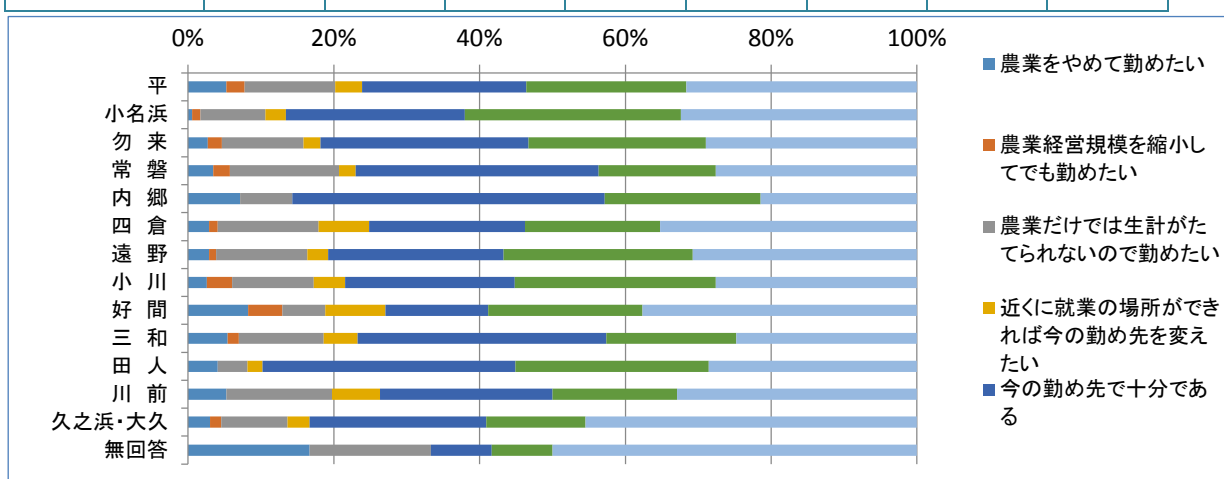


小名浜、四倉地区は「その他」、内郷地区は「下水・排水施設」久之浜・大久地区は「上水道」が最も多く、その他の地区は「道路整備」が最も多くなっている。



問 22 農業以外の働く場所ができたときには、あなたはどうしますか。

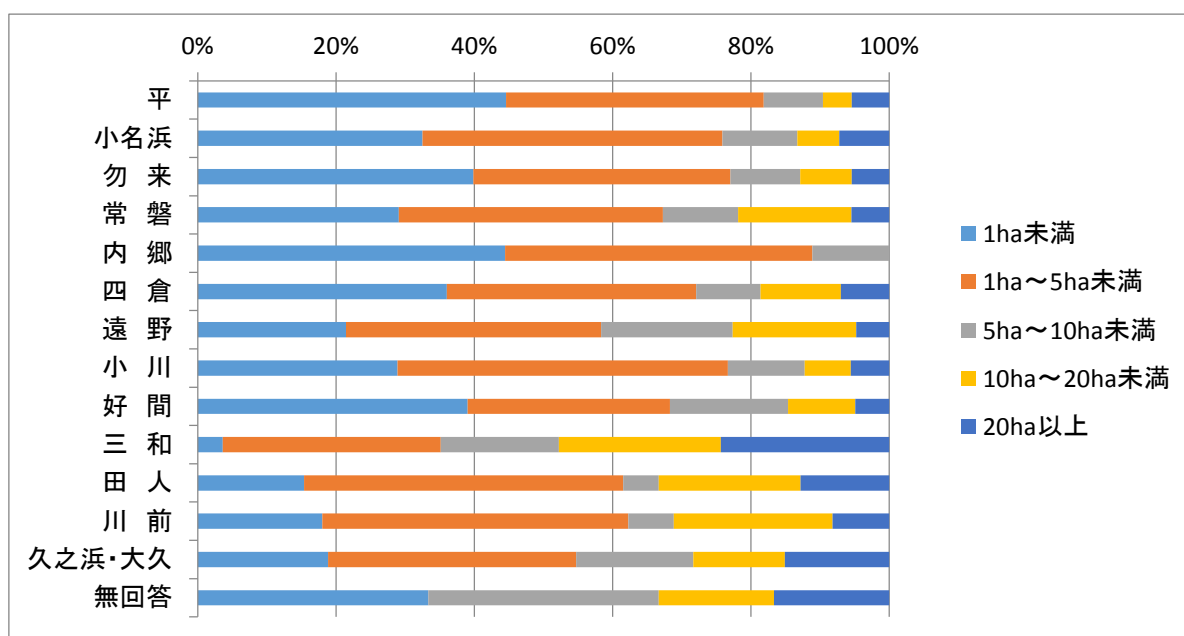
項目 地区	農業をやめて勤めたい	農業経営規模を縮小してでも勤めたい	農業だけでは生計がたてられないので勤めたい	近くに就業の場所があれば今の勤め先を変えたい	今の勤め先で十分である	勤めにはでないで今のまま農業を続けたい	無回答	計
平	27	13	64	19	116	113	163	515
小名浜	1	2	16	5	44	53	58	179
勿来	7	5	29	6	74	63	75	259
常磐	3	2	13	2	29	14	24	87
内郷	1	0	1	0	6	3	3	14
四倉	5	2	24	12	37	32	61	173
遠野	3	1	13	3	25	27	32	104
小川	3	4	13	5	27	32	32	116
好間	7	4	5	7	12	18	32	85
三和	7	2	15	6	44	23	32	129
田人	2	0	2	1	17	13	14	49
川前	4	0	11	5	18	13	25	76
久之浜・大久	2	1	6	2	16	9	30	66
無回答	2	0	2	0	1	1	6	12
全体	74	36	214	73	466	414	587	1,864
割合	4.0%	1.9%	11.5%	3.9%	25.0%	22.2%	31.5%	100.0%



常磐、内郷、三和、田人地区では「今の勤め先で十分である」が最も多く、その他の地区では「無回答」が最も多くなっている。

問 23 あなたの家では、山林をどのくらいもっていますか。

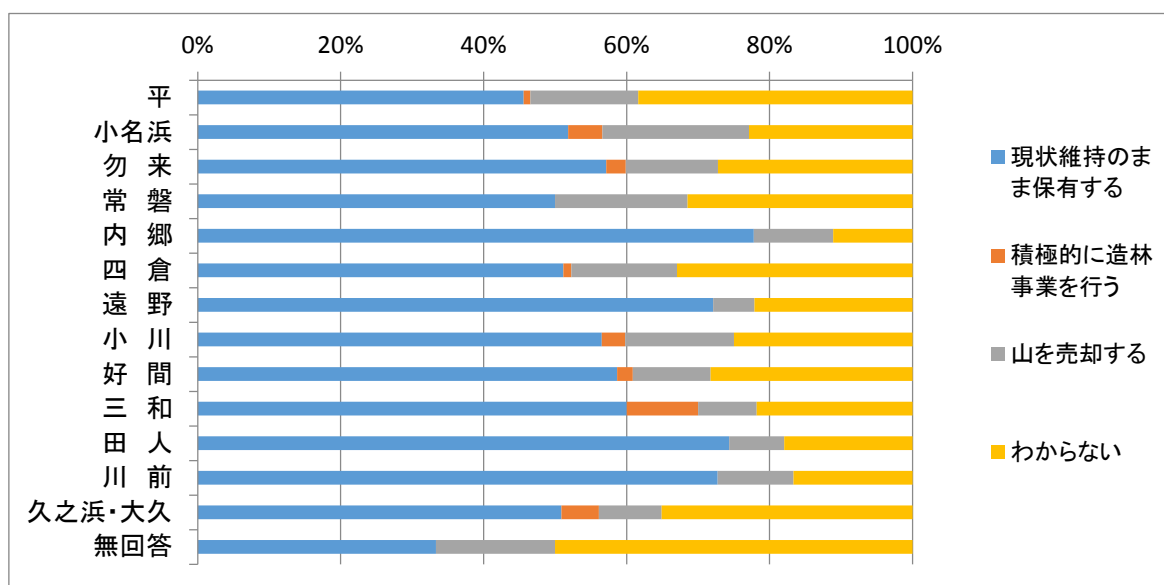
地区	項目	1ha未満	1ha～ 5ha未満	5ha～ 10ha未満	10ha～ 20ha未満	20ha以上	計
平		140	117	27	13	17	314
小名浜		27	36	9	5	6	83
勿来		59	55	15	11	8	148
常磐		16	21	6	9	3	55
内郷		4	4	1	0	0	9
四倉		31	31	8	10	6	86
遠野		18	31	16	15	4	84
小川		26	43	10	6	5	90
好間		16	12	7	4	2	41
三和		4	35	19	26	27	111
田人		6	18	2	8	5	39
川前		11	27	4	14	5	61
久之浜・大久		10	19	9	7	8	53
無回答		2	0	2	1	1	6
全体		370	449	135	129	97	1,180
割合		31.4%	38.1%	11.4%	10.9%	8.2%	100.0%



三和地区以外の地区では、5ha未満の割合が50%を上回っており、平、内郷地区では5ha未満の割合が80%を上回っている。

問 24 あなたの山林経営は、これからどのように進めていきますか。

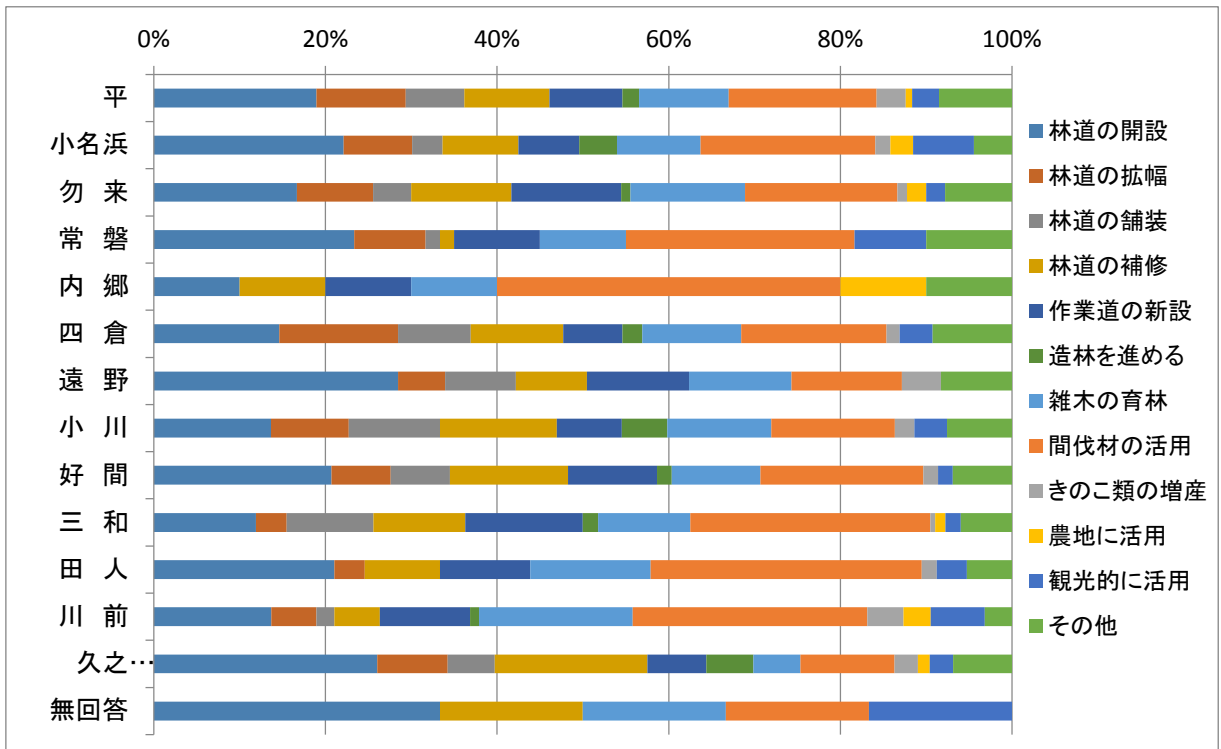
地区	項目	現状維持のまま保有する	積極的に造林事業を行う	山を売却する	わからない	計
平		145	3	48	122	318
小名浜		43	4	17	19	83
勿来		84	4	19	40	147
常磐		27	0	10	17	54
内郷		7	0	1	1	9
四倉		45	1	13	29	88
遠野		62	0	5	19	86
小川		52	3	14	23	92
好間		27	1	5	13	46
三和		66	11	9	24	110
田人		29	0	3	7	39
川前		48	0	7	11	66
久之浜・大久		29	3	5	20	57
無回答		2	0	1	3	6
全体		666	30	157	348	1,201
割合		55.5%	2.5%	13.1%	29.0%	100.0%



いずれの地区も「現状維持のまま保有する」が最も多く、次いで「わからない」となっている。

問 25 将来、山林の整備や活用について、何が必要だと思いますか。(複数回答可)

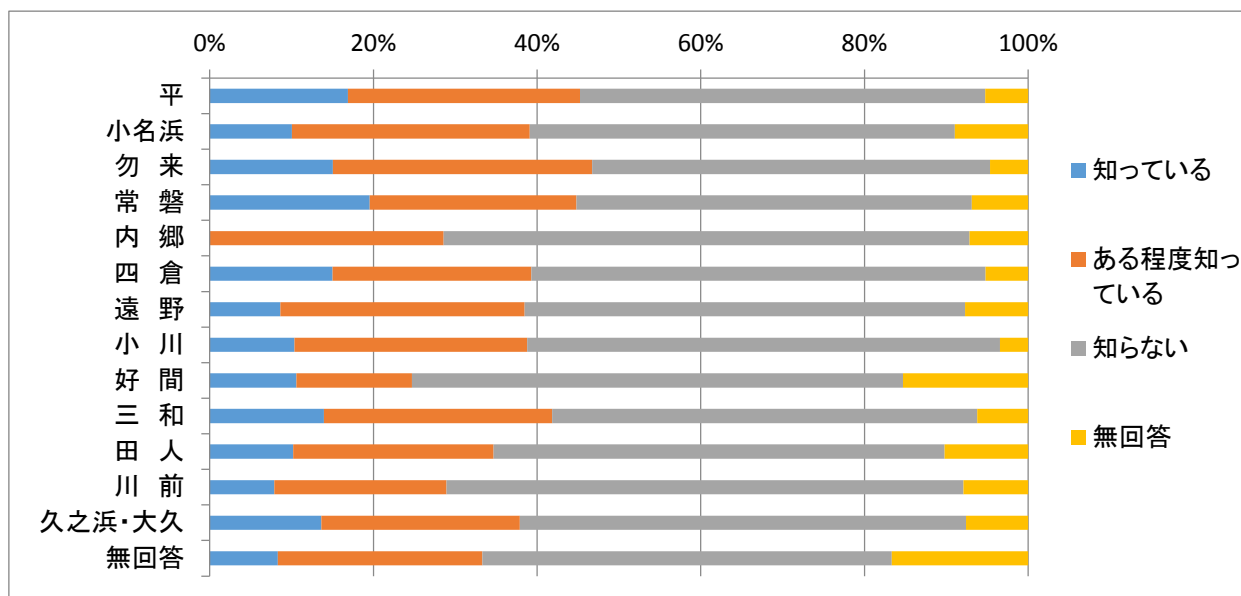
地区	項目	林道の開設	林道の拡幅	林道の舗装	林道の補修	作業道の新設	造林を進める	雑木の育林	間伐材の活用	きのこ類の増産	農地に活用	観光的に活用	その他	計
平		78	43	28	41	35	8	43	71	14	3	13	35	412
小名浜		25	9	4	10	8	5	11	23	2	3	8	5	113
勿来		30	16	8	21	23	2	24	32	2	4	4	14	180
常磐		14	5	1	1	6	0	6	16	0	0	5	6	60
内郷		1	0	0	1	1	0	1	4	0	1	0	1	10
四倉		19	18	11	14	9	3	15	22	2	0	5	12	130
遠野		31	6	9	9	13	0	13	14	5	0	0	9	109
小川		18	12	14	18	10	7	16	19	3	0	5	10	132
好間		12	4	4	8	6	1	6	11	1	0	1	4	58
三和		20	6	17	18	23	3	18	47	1	2	3	10	168
田人		12	2	0	5	6	0	8	18	1	0	2	3	57
川前		13	5	2	5	10	1	17	26	4	3	6	3	95
久之浜・大久		19	6	4	13	5	4	4	8	2	1	2	5	73
無回答		2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	6
全体		294	132	102	165	155	34	183	312	37	17	55	117	1,603
割合		18.3%	8.2%	6.4%	10.3%	9.7%	2.1%	11.4%	19.5%	2.3%	1.1%	3.4%	7.3%	100.0%



勿来、常磐、内郷、四倉、小川、三和、田人、川前地区では「間伐材の活用」が最も多く、平、小名浜、遠野、好間、久之浜・大久地区では「林道の開設」が最も多くなっている。

問 26 あなたは農業振興地域制度について知っていますか。

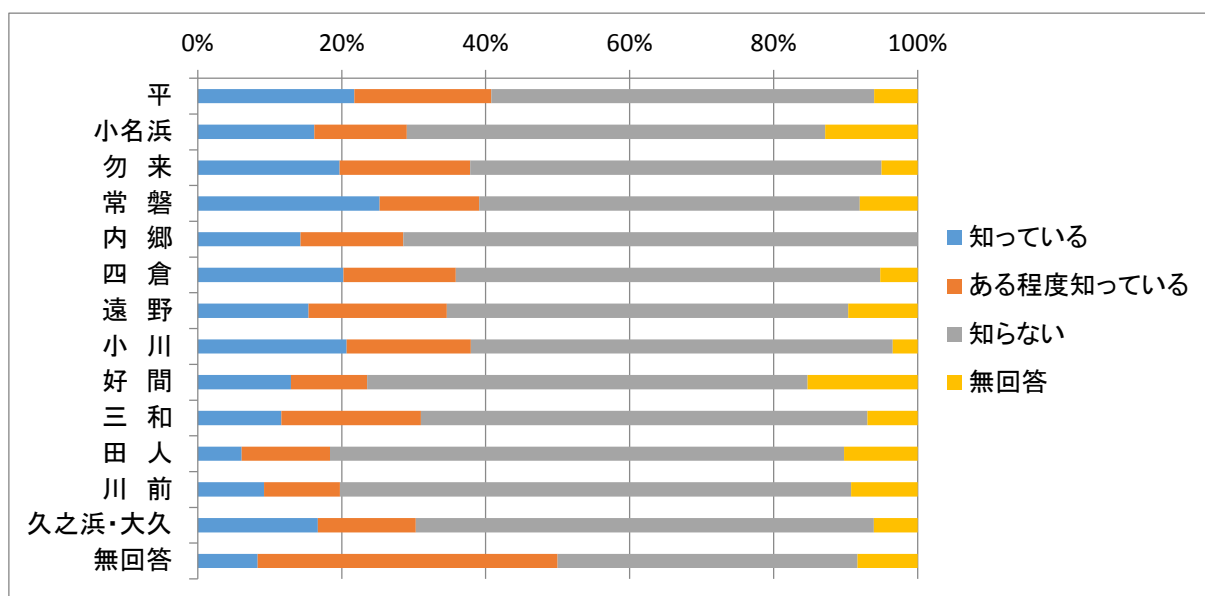
地区 \ 項目	知っている	ある程度知っている	知らない	無回答	計
平	87	146	255	27	515
小名浜	18	52	93	16	179
勿来	39	82	126	12	259
常磐	17	22	42	6	87
内郷	0	4	9	1	14
四倉	26	42	96	9	173
遠野	9	31	56	8	104
小川	12	33	67	4	116
好間	9	12	51	13	85
三和	18	36	67	8	129
田人	5	12	27	5	49
川前	6	16	48	6	76
久之浜・大久	9	16	36	5	66
無回答	1	3	6	2	12
全体	256	507	979	122	1,864
割合	13.7%	27.2%	52.5%	6.5%	100.0%



すべての地区において「知っている」と「ある程度知っている」合わせても「知らない」を下回っている。

問 27 あなたの農地が「農用地区域」に入っているかどうか知っていますか。

項目 地区	知っている	ある程度 知っている	知らない	無回答	計
平	112	98	274	31	515
小名浜	29	23	104	23	179
勿来	51	47	148	13	259
常磐	22	12	46	7	87
内郷	2	2	10	0	14
四倉	35	27	102	9	173
遠野	16	20	58	10	104
小川	24	20	68	4	116
好間	11	9	52	13	85
三和	15	25	80	9	129
田人	3	6	35	5	49
川前	7	8	54	7	76
久之浜・大久	11	9	42	4	66
無回答	1	5	5	1	12
全体	339	311	1,078	136	1,864
割合	18.2%	16.7%	57.8%	7.3%	100.0%

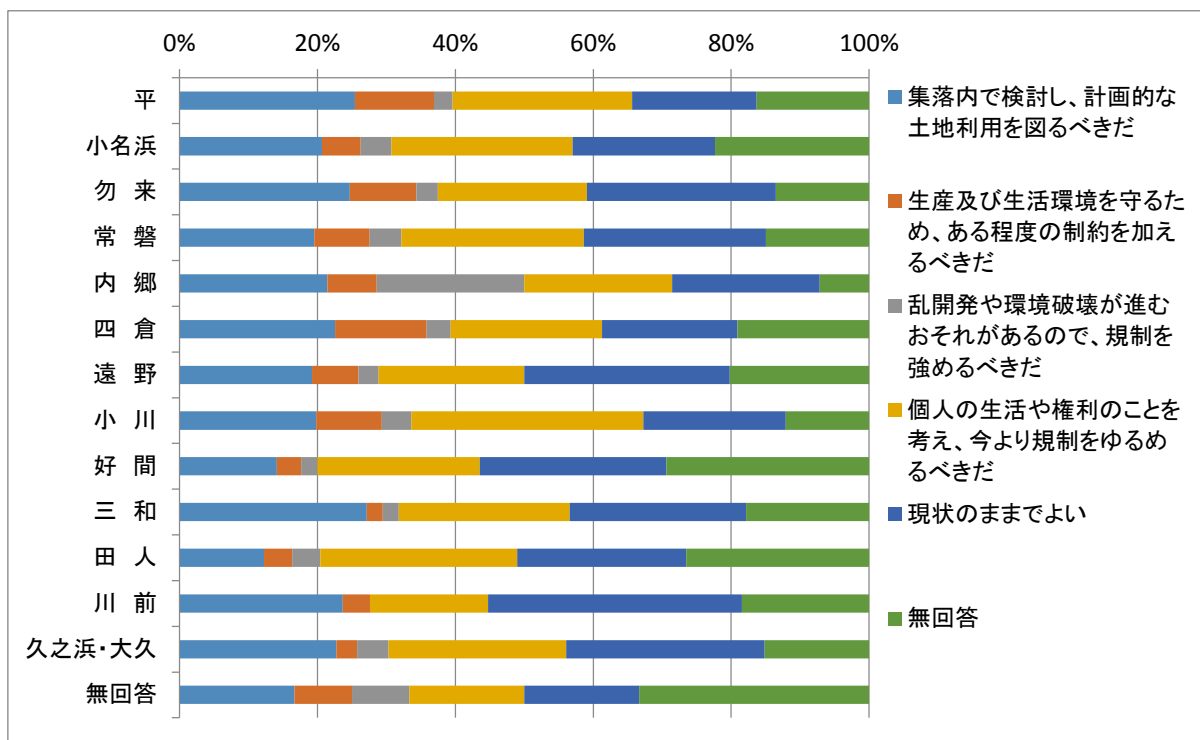


すべての地区で「知っている」と「ある程度知っている」合わせて「知らない」を下回っている。

問 28 農用地区域内農地をどのように保全すべきだと思いますか。

項目 地区	集落内で 検討し、 計画的な 土地利用 を図るべ きだ	生産及び 生活環境 を守るた め、ある 程度の制 約を加え るべきだ	乱開発や 環境破壊 が進むお それがあ るので、 規制を強 めるべき だ	個人の生 活や権利 のことを 考え、今 より規制 をゆるめ るべきだ	現状のま までよい	無回答	計
平	131	59	14	134	93	84	515
小名浜	37	10	8	47	37	40	179
勿来	64	25	8	56	71	35	259
常磐	17	7	4	23	23	13	87
内郷	3	1	3	3	3	1	14
四倉	39	23	6	38	34	33	173
遠野	20	7	3	22	31	21	104
小川	23	11	5	39	24	14	116
好間	12	3	2	20	23	25	85
三和	35	3	3	32	33	23	129
田人	6	2	2	14	12	13	49
川前	18	3	0	13	28	14	76
久之浜・大久	15	2	3	17	19	10	66
無回答	2	1	1	2	2	4	12
全体	422	157	62	460	433	330	1,864
割合	22.6%	8.4%	3.3%	24.7%	23.2%	17.7%	100.0%



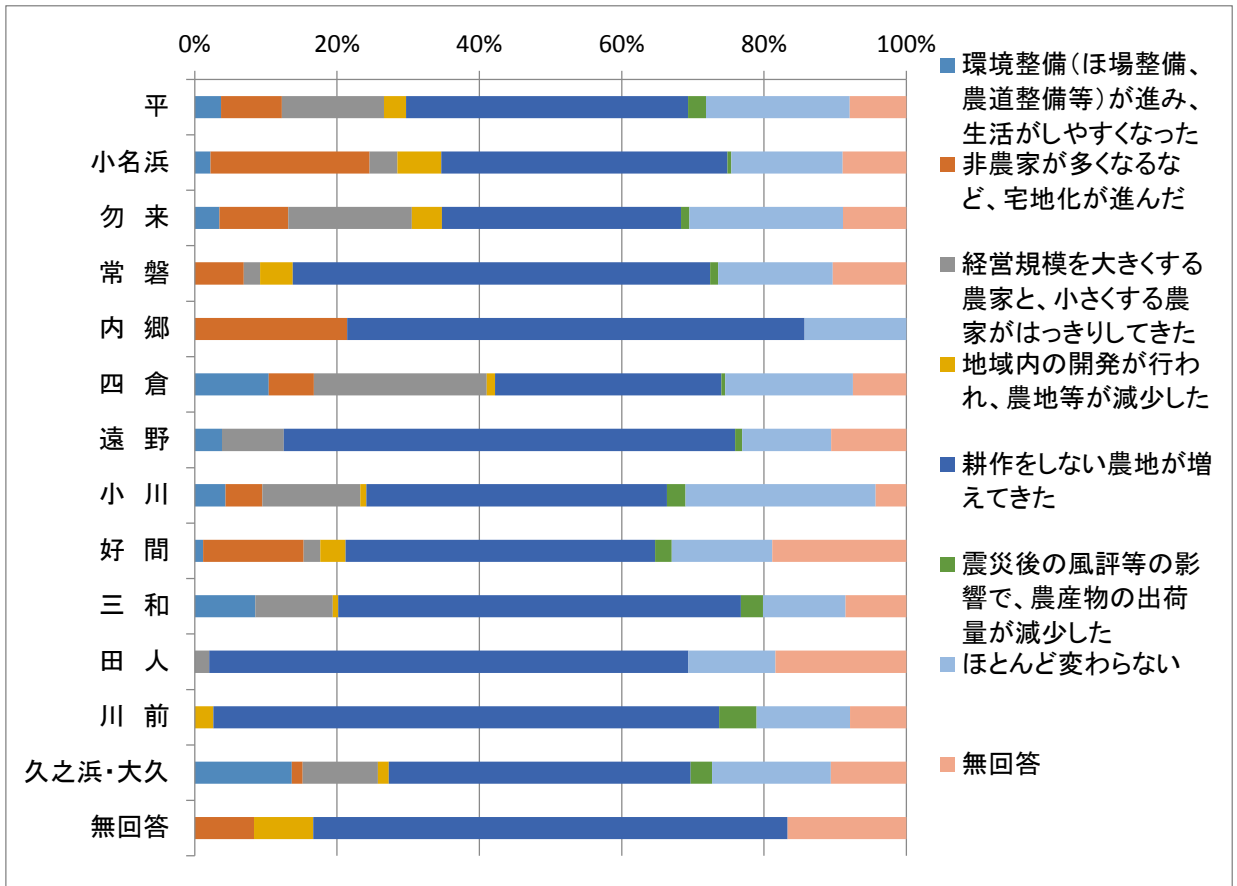


平、小名浜、小川、田人地区は「個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだ」が最も多く、勿来、遠野、川前、久之浜・大久地区は「現状のままでよい」がもっとも多い。

また、常磐地区は「個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだ」と「現状のままでよい」、内郷地区は「集落内で検討し、計画的な土地利用を図るべきだ」、「乱開発や環境破壊が進むおそれがあるので、規制を強めるべきだ」、「個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだ」、「現状のままでよい」が同数であり、四倉、三和地区は「集落内で検討し、計画的な土地利用を図るべきだ」が最も多く、好間地区は「無回答」が最も多くなっている。

問 29 あなたの住んでいる地域は 10 年前と比べ、どのように変わりましたか。

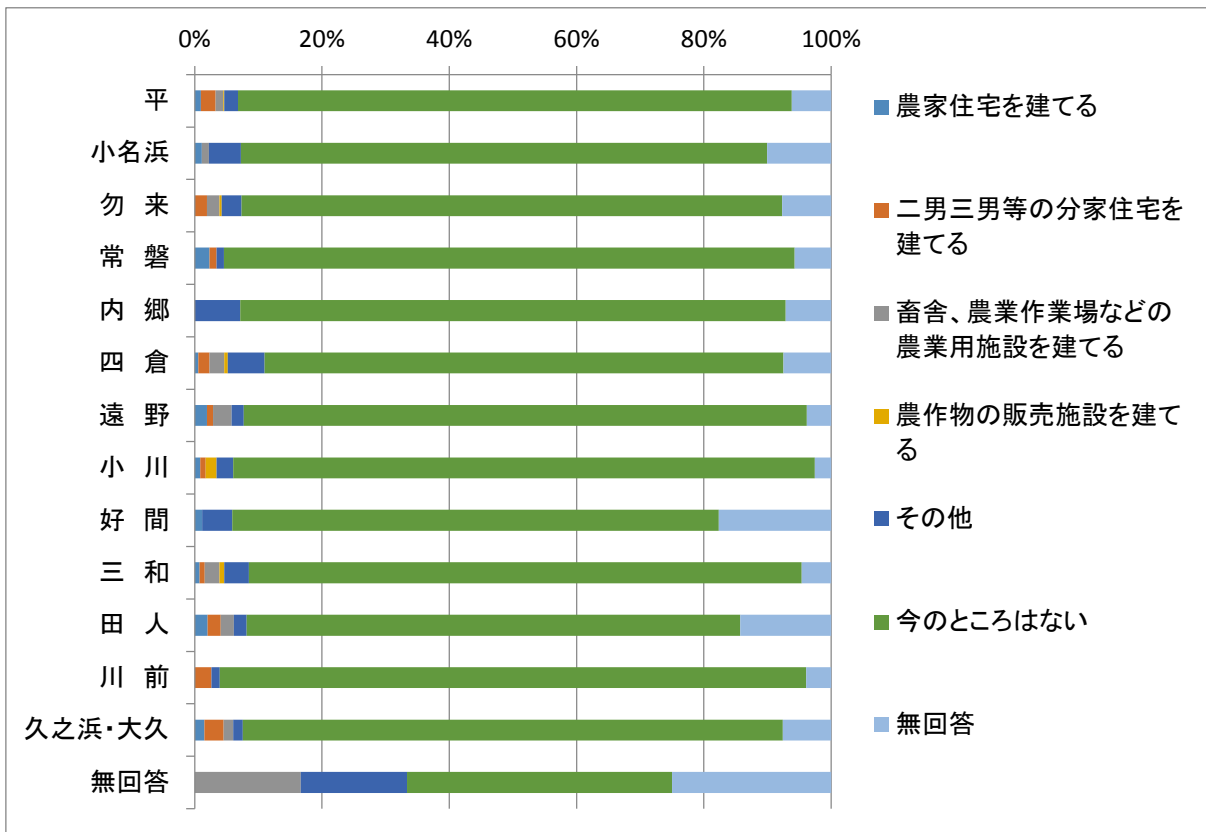
項目 地区	環境整備（ほ場整備、農道整備等）が進み、生活がしやすくなった	非農家が多くなるなど、宅地化が進んだ	経営規模を大きくする農家と、小さくする農家がはっきりしてきた	地域内の開発が行われ、農地等が減少した	耕作をしない農地が増えてきた	震災後の風評等の影響で、農産物の出荷量が減少した	ほとんど変わらない	無回答	計
平	19	44	74	16	204	13	104	41	515
小名浜	4	40	7	11	72	1	28	16	179
勿来	9	25	45	11	87	3	56	23	259
常磐	0	6	2	4	51	1	14	9	87
内郷	0	3	0	0	9	0	2	0	14
四倉	18	11	42	2	55	1	31	13	173
遠野	4	0	9	0	66	1	13	11	104
小川	5	6	16	1	49	3	31	5	116
好間	1	12	2	3	37	2	12	16	85
三和	11	0	14	1	73	4	15	11	129
田人	0	0	1	0	33	0	6	9	49
川前	0	0	0	2	54	4	10	6	76
久之浜・大久	9	1	7	1	28	2	11	7	66
無回答	0	1	0	1	8	0	0	2	12
全体	80	149	219	53	826	35	333	169	1,864
割合	4.3%	8.0%	11.7%	2.8%	44.3%	1.9%	17.9%	9.1%	100.0%



すべての地区で「耕作をしない農地が増えてきた」が最も多く、内郷、遠野、田人地区で60%以上、川前地区で70%以上となっている。

問 30 ここ5年以内に田、畑を転用したい意向はありますか。

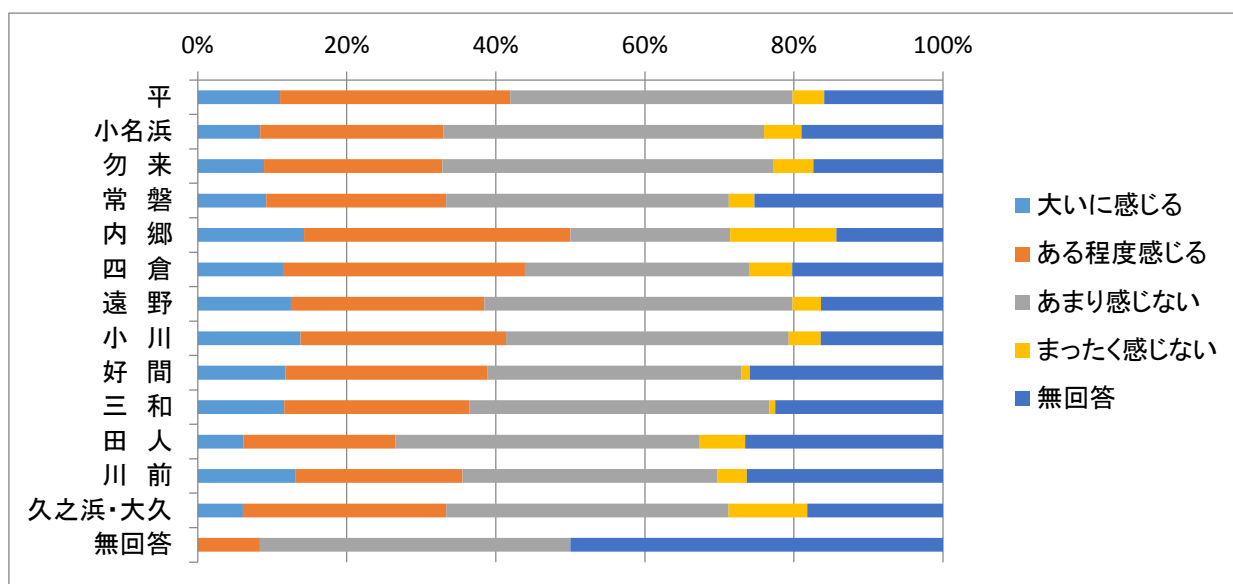
項目 地区	農家住宅 を建てる	二男三男 等の分家 住宅を建 てる	畜舎、農 業作業場 などの農 業用施設 を建てる	農作物の 販売施設 を建てる	その他	今のところ はない	無回答	計
平	5	12	6	1	11	448	32	515
小名浜	2	0	2	0	9	148	18	179
勿来	0	5	5	1	8	220	20	259
常磐	2	1	0	0	1	78	5	87
内郷	0	0	0	0	1	12	1	14
四倉	1	3	4	1	10	141	13	173
遠野	2	1	3	0	2	92	4	104
小川	1	1	0	2	3	106	3	116
好間	1	0	0	0	4	65	15	85
三和	1	1	3	1	5	112	6	129
田人	1	1	1	0	1	38	7	49
川前	0	2	0	0	1	70	3	76
久之浜・大久	1	2	1	0	1	56	5	66
無回答	0	0	2	0	2	5	3	12
全体	17	29	27	6	59	1,591	135	1,864
割合	0.9%	1.6%	1.4%	0.3%	3.2%	85.4%	7.2%	100.0%



すべての地区において「今のところはない」が75%以上となっており、大多数を占める一方、すべての地区において、「農家住宅を建てる」「二男三男等の分家住宅を建てる」「畜舎、農業作業場などの農業用施設を建てる」「農作物の販売施設を建てる」「その他」など、一部農地を転用したい意向がある。

問 31 今現在、風評の影響がどの程度あると感じていますか。

地区 \ 項目	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	計
平	57	159	195	22	82	515
小名浜	15	44	77	9	34	179
勿来	23	62	115	14	45	259
常磐	8	21	33	3	22	87
内郷	2	5	3	2	2	14
四倉	20	56	52	10	35	173
遠野	13	27	43	4	17	104
小川	16	32	44	5	19	116
好間	10	23	29	1	22	85
三和	15	32	52	1	29	129
田人	3	10	20	3	13	49
川前	10	17	26	3	20	76
久之浜・大久	4	18	25	7	12	66
無回答	0	1	5	0	6	12
全体	196	507	719	84	358	1,864
割合	10.5%	27.2%	38.6%	4.5%	19.2%	100.0%



内郷、四倉地区は「ある程度感じる」が最も多く、次いで「あまり感じない」となっている。常磐、田人、川前地区は「あまり感じない」、次いで「無回答」、その他の地区では「あまり感じない」、次いで「ある程度感じる」の順となっている。

## 12 その他（自由意見等）

市などの行政機関や農協などの農業団体に対し、考えている意見や要望などがありましたら、記入してください。

### 行政機関や農業団体への意見要望

高齢で全農地を貸与している。貸主も高齢化しつつありこのままではどうなるか前途不明。農地を利用してくれる組織があれば良いと思う。ソーラパネル設置の打診もあるが設置者の身許が不安でとても話に乗れない。

山間地の場合は、田んぼは動物対策、畑はもうハウス以外ダメだな。田んぼは林業も同じで環境をよくしているので税金対策してもらい、畑はハウスみたいのをリースとかでしてもらいたい。

農業用水路等の整備は地元（地権者）に負担させる事業ばかりで、一般土木事業は負担なし。なぜ農業用施設（用水路整備）を負担なしで施工すべき、農業（米の収入など少なく）者に公共施設整備費を負担させるべきではない。そもそも農業整備事業費が国県市の予算が少なすぎる。負担なしの事業で施工できるよう考えてほしい。※特に用水路、用悪水路、農道等の整備と維持管理（市負担で）

ほ場整備を進めてほしい。市が主体となり説得してもらいたい。

今後は JA が頭になって太陽光パネル設置。大型機械にて専門の方をお願いして田んぼを作ってほしいです。若人息子たちは会社員だし、決まった給料にて生活した方が安心老後を送れます。

農協の二本店制（地区本部制）は経営の非効率化であり、経費のむだ使いであるので即時廃止してほしい。その上で、支店統廃合を考えるべきです。農地活用（宅地化等）への迅速な手続き及び農振地域の縮小を求める。

農協は部落にかたよりすぎだ。

今後人口減少が進むので中山間の農業維持は無理と思います。

複数の要件を一つの場所で相談解決できる所。（特に農業関係が多い。市農業委員会、JA、共済組合、土地改良区、これらの変更訂正が大変に思う）

正確な情報を流してください。例 カメムシ対策の草刈について草野地区は7月いっぱい草刈をすることに対し、大野地区は8月20日まで、この差は何か。防虫アカスジカメムシとか。

農業2反歩位していて頼んで全て費用を払って耕作している（私は肥料まき草刈、水入れのみ）依頼者が高齢でそのうちできなくなったら田をどうしようかと考えています。（借りる人も地域にいない）東田町堤下で区画内で稲作耕作している（保有米として）

不平不満が大きくてわからない

農業資材の価格が高すぎ企業努力の姿が感じられない。

用排水路の修理・整備をして欲しい。



<p>後継者はおりませんので、田畑、山林含め売却なり譲渡なりを希望しております。（荒廃する一方ですので）その斡旋を市なり農業団体なりにお願いしたいと思います。</p>
<p>私の所は山開地のため農地のそばの山林の木が大きくなっても切らないので作れなくなっている。</p>
<p>農地の縛りが強すぎる。農家の息子は農家という時代ではなくなった。農地の所有と経営の分離をもっとおし進めてほしい（株式会社の農業参入促進など）。農業をやりたくなくて農村から若者が出ていってしまっている。残っている人には嫁が来ない。農地を守って人を不幸にしている。構造的な課題であり、個人の努力だけでは解決しない。</p>
<p>NHKのプロフェッショナルで放映された岩手県遠野市の方のように米ばかりじゃなく、多様性のある農業経営(六次化)を全国で成功している方々から大いに学ぶべきと思う。大規模ばかりがいいとは思えない。適正規模、日本に合った農家経営が大切だと思う。</p>
<p>新農業地域の指定については、十分に農家、地域全体の将来計画との整合性を図りながら策定することが重要である。</p>
<p>2反歩を知人に委託・自分は年金生活</p>
<p>地域農業の発展に影響しない程度に農地の利用（転用）を認めるべき。農協が中心となり請負事業を行うべきである。</p>
<p>農繁期に田んぼの中で作業中にゴミ車が通り軽トラの移動を何回もさせられた。農繁期に通行するのをやめてもらいたい。</p>
<p>放射性の検査結果について、旬の野菜を検測したものは総じて基準値を下回っていれば公称しない。問題ないとしても、どの位含まれているか知りたい。</p>
<p>前向きに将来のことを考えた農業経営が進められるように農協などが中心となり主体的に活動してほしい。</p>
<p>市も農協も農家にとっては遠い存在になっている。ことに農協は農家の組織でなくなって単なる金融機関化している。</p>
<p>震災後毎年時期が来ると猪が出没するので畑等は困いをしているので安心だが休耕地等荒らされて自己保全も困難な状況になっている（毎年頭数が増える為）駆除してほしい。（四ツ波地区）</p>
<p>イノシシが市道（用途は農道）の法肩をこわしており農作業軽トラックがやっと通っている状況なのでイノシシ駆除を強化してほしい。イノシシにかぼちゃ、じゃがいも、さつまいも、とおもろこし、稲等が食べられてしまうので行政が主体的にイノシシ駆除に強化してほしい。（予算面、人的な育成と増員、駆除方法の開発）</p>
<p>常磐馬玉町在住者ですが、地区全体としても後継者が殆どおらず、10年後耕作放棄地が全てとなってしまうのではないかと考えています。調整地区、農振地区解除のハードルが高すぎるのではないかと思います。</p>
<p>国の農政が貧しいから地方ではどうしようもないのでは。若い人たちに好かれるようにして貰いたい。</p>

イノシシの対策をしなければ耕作放棄地がふえるだけ
農地は保有していても後継者もなく年齢的にできず、放置すれば草刈り等の面倒、税金の支払い等で売却して税からは負担軽減になるのに、こういう制度では個人の意見がとおらない不条理であり、農地を守ることは大事かもしれないが行政機関はそういう個人の意見も聞く耳をもってはどうか。私は早く農業から退きたい。これからの人生を楽しみたいのです。
何も期待していない。
市など行政は、農協・農業団体へ任せきりで本市の農業政策が見えない。また、支援も大規模農業へ片寄り、中小農家は無視、不公平が多く感じられる。
国の農政が大切だと思う。
米の等級制度について、カメ虫が1, 2粒あるだけで等級が下がってしまい。農薬を使用しないといけなくなりカメ虫より農薬の方が問題だと思う。
個人の農業経営については機械設備等で限度があり法人化を推進すべきと思料する。
農業委員会で土地の賃借の受付に窓口は、不適切な対応をする
現在 JA にしろ農業団体にしても熱心な指導、行動がみられなく農業農家のことを考えてないように思われる。現在イノシシ、ハクビシン等の被害が多くなにを作ってもその対策に費用がかかり大変です。農業のすみずみまでその補助があることが周知してなく一部の人のみに知らせてその人達のみが利益を得ているところがみられています。
農業法人化について、個人ではなかなか立ち上げがむずかしい。JA 指導で小規模農家の法人化を進めてほしい。
高齢化が進む中での耕作放棄地対策
畑をソーラーに貸したい。草刈が大変だ。
良くやっている（市・農協）
居住しているまわりの道路をきれいにしてほしいです。ほそうしていただけると住みやすい場所なのですが、道路にめいっぱい杉の木がはばり冬雪どけがおそくたいへんです。
農協が積極的に営農指導して特産物の開発を行うべきである。現在の農協は共さい関係で収益をはかり営農による指導が不足していると思います。
このアンケートの趣旨がよくわからない。個別のアンケートの内容が計画に反映されるのか？
何事もある程度の柔軟性を以って、規則に縛られず、他の反面利点、結果を考慮、許可決断を乞う。環境整備事業として公的助成金を出しても、今は良しとしても先々農業従事者減少、農業者人口、環境整備は厳しくなるのでは？

5年前からやめています。
農水産物は個人で単価を設定できない。他産業と比較できない不遇を感じる
小さな集落ですが、(水田 20ha ほど) 高齢化により、水田耕作者も少なくなりつつ、後 10 年継続が困難な状況かつ農地整理等 (U 字溝は放置) 未実施のため耕作依頼もむずかしい状態です。このままだと県道沿が休耕田となり、荒れ放題となります。現に隣接する「作」といわれ 20 年前は水田として耕作されていた土地は、イノシシの遊び場として荒れ放題になっています。日本全国津々浦々の問題だと思いたしますが何とかありませんか？
河川の護岸の立木が大きくなって伐採が必要。高齢になり、10 年後は耕作見込がなくなるので、ほ場整備を今のうちにして貸し易くしたい。ため池の水頼みなので水系の整備をしたい (パイプライン U 字溝の整備)。補助金を使い易くしてほしい (規制を緩める)。
担い手従事者不足が今後農業近代化を進めるためコアの部分が必要。原料から脱出して付加価値を常に考え事業を進めるべき。事業が将来この様に結びつくシミュレーションを描き投資を効果的に進める。
水稻など専業にした場合単価がまだまだ低く、機械設備などの維持管理費がかかり生活できない現状だと思います。一番何が必要だと市は考えますか？
農業委員にふさわしくない人が選ばれている。
農業機械、農薬肥料等が値上がりしているが、米の価格が横ばいで収入が減少傾向にあるので、希望が持てない。
米の全袋検査は不便の為に、又検査場所まで遠い為、そして高齢で重い為にいわきは考えてほしい。放射物質は出ていないので人件費がもったいないと思っております。(高齢なので多数の人が喜ぶことでしょう) よろしく願いいたします。
市行政の努力により昨年度浜通りは米が特 A 評価を受けたことに対して深く感謝申し上げます。私たち江畑の米農家は研究会を発足させ定期的に意見交換、勉強会を行っています。互いの意見交換により、美味しく良質な米を作ろうと努力しています。今後は、今まで以上に市行政機関、農協等の団体と協力し、いわきブランド米をアピールしたく考えています。ご協力、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。
農業に関するアドバイスを得ようと相談するも職員の知識が不足して的確な答えがない。現在の農協は銀行に力を入れ農業に関することに積極的ではない。特に秋の収穫時期に休日の対応が不足している。
J A 全体で農業関係に従事する専門知識を持つ職員を今より多くして常に農家との話し合い、そして、アドバイスを聞ける関係をつくる様にしたいと思っております。
規模の大きい農家だけ農業機械の購入時補助を出すのは？小規模の我々は全額負担、同じ農業をしているのに不公平ではないでしょうか。小さい農家はやめてほしいといわんばかりである。

近年、農協など個人密着になっていなくて、もっと地域に寄り添って頂けたらと考えます
農家の高齢化も進み、農業の従事者が少なくなり、米を作る農家も減ると思います。農協として、組織として、経営を考えていないのでしょうか？組織として成立するのは難しいのでしょうか。
農用地区域からの除外を特に希望する。
ほとんどわが地区はやる気無くみんな田畑を処分したがつている。農振地域など無意味だ。自主性にまかせるべきだ。
農業資材が年々高くなり、安くならないか？農業機械のリース等を望む。現在保有の機械が故障すれば機械を買ってまではやらないので農地を貸したい。
土砂災害警戒区域であるにも拘らず他人の土手を削る、山を削る。他人の土地を勝手に分け古くからある道を個人の所有地に組み入れる。他人の敷地に草や残土を置いてゆく。留守を良いことに「みんなの家」と称し湯飲みまで持ち出して集会所で使っていた等々、法令・条例を違反しながらの自治体に未来はありません。
農業委員会、農業振興地、やっていることが良くわからない。もう考え直す時ではないですか！
農業では生活が成り立たない。
J Aの人事異動、支店で1人だけ残し他の人すべて異動なんてありえないと思う。
地域住民（農家）の意向を聞き、山間部は農振をはずして欲しい。耕作放棄地になっており、草刈のみを行っているだけで、土地の有効活用が出来ていない。
今私は78才になって農業をやって行く力がなくなりました。子供が2人いますが自分の会社につとめているので休んでまでは手伝ってくれるのは大変です。農業は若い頃の仕事ですね。
休耕農地の除草作業は、高齢になりあまり出来ない事と同居の息子夫婦も会社勤務のため作業は困難です。休耕農地の有効利用にあたり、農地転用が出来る事を希望します。
沼部町柳原地区をほ場整備してほしい
政策や制度名などわかりにくい。言葉がむずかしすぎる。
田んぼに畑を作りたいのですが、今は公共工事などで搬出した土がでないのですか？一般の山砂を入れるとしたら莫大な金がかかるため足踏み状態です。そのため考え中です。
農業振興の単独計画は「人」「もの」「金」「情報」等を総合的に（市の総合計画）勘案して全市振興の一環としてまち全体として考えていくべき。

(農業維持を図るための補助金行政のみでは全てが限界に！地域の限界集落、耕作放棄地、団塊世代の引退、等々に早めに着手を)
渡辺地区の農業振興地区をはずしてほしい。
広報誌など内容は良いが豪華すぎると思う。
あらしてある土地を整備し借りたい方へ貸す。
年齢的に農業には無理な所、貸付依頼しているが、今後のことは全くわからない。
問 31 の風評の影響であまりないと答えたが自分で放射能対策をし製品を販売したからである。大規模農家の実態は把握されているのでしょうか。草刈、水利管理、害虫駆除等で回りに迷惑はないでしょうか。巡回管理、指導の体制は出来ないでしょうか。
現在国が進める農地集積は現状をまったく把握していない。私の地区の山間部では、ほ場整備をしましたが急傾斜地で畦畔部面積が多くなり草刈り作業に苦慮しています。その為、担い手の方も借り受けない中山間地域で農業を続ける個人農家にも担い手と同様の優遇措置が必須。
年々耕作しない農地が増えてきている。この地区は特に多いように見えるので何とか対策をと思う。たとえば住宅地にするとか。遠野地区では無理でしょうね。
山間地の為イノシシの被害が大変である。早急な対策を行って欲しい。
水路の整備を早急に進めるべきである。
小白井は畑にも田んぼにもなる土地にほ場整備をするべきだ。そのような土地になる事を願っています。将来のために、これからの農業は会社組織にシなくてはならないと思います。
市場を利用している。少々の物でもかい取ってくれますが、市場までの道が長すぎる。野菜の値がやすすぎる。最低でもガソリン200位の値をつけてほしいと願う。
当地区に於いては農業従事者の減少、高齢化が進行している様に思われ、その対策が遅延しているのではないかと。又、他地区への転居も身近に聞き及んでいるのでここに留まる対策が必要と感じています。
農業にたずさわる一人一人の要望を適切に把握し将来のことも含めて対策をたてて欲しい。
免税軽油で32.1円/ℓ安くなるとJA福島さくら広報誌「さくら」9月号にも掲載されているが、以前、JAで聞いた手続の手間を考えると、年間100ℓくらい使用者では申請をためらってしまうので、使用量によって申請手続きを簡略化していただけないでしょうか。
合併してさくらになってから全てが悪くなっている。サービス精神もなく教育もなってない。合併を解消して元に戻してほしい。無理でしょうが本音であります。イノシシ対策、定期的に巡回して駆除してほしい。(市への要望)

農振を解除お願いしたい
アンケートに答えてもいつも参考にしかない？農振農用地外は一般住宅地として活用してほしい。
福島第一原発の影響で宅地が上昇したため子供達が購入困難になっている。せつかく地元いわき市に居住したがっているのに、かわいそうだ。除外に対して実状に合った判断をしてほしい。
共有財産等山林等に太陽光パネル等を取り付け開発出来ないか
いわき市全体を考え平等の市政をお願いする。いつまでたっても南北で差別があってはならない。
数年前に米価の急激な下落があった。行政や農協は何処を向いて仕事をしているか判らなくなった。今後は、この様な価格下落に対しては、「収入保険」なるものが出来ましたが保険に頼る農業経営はしたくないと思っています。
農地を守っている者について、農協として少しは農地の事を思うのなら、戸別にもう少し話を聞くとか、お互いの気持ちが通じる様に顔を出して親切心がほしいです。
経済的視点のほかに、環境保全に役立つアイデアか情報がほしいです。
中山間地域の道路整備、高齢化等への農業離れ、荒廃の一途にあり、具体的対策
いのししが多くなってきてほとんどの家で農地を荒らされて困っています。毎日のように掘られている状態です。その為に稲の収穫も減少しているののでいのしし捕獲を強く望みます。
H30. 4. 1～農事組合、農地水、JA等の役員になり各事業に参加し忙しい毎日を過ごしております。各地区、市役所、建設事務所、JAの組織で補助して頂いている事に感謝しております。
農地法を改造して現代の農地法にしては？
団地が出来てから農地がない。イノシシが出るのでやめるしかない。
農業振興地域指定は緩和すべき。平近郊でも過疎化となっています。(例えば四倉インター周辺等、交通の便が良いところは解除すべきと思います。)
私の友人が農協に野菜を出していますが、いまだに同じ野菜を同じ畑で作っているのに毎年同じ検査を受けているそうですが、もう八年も経っているのにこんな事がこれからもずっと続くのでしょうか。私には何かおかしい様な気がします。
ほ場整備組合等を積極的に推進する
風評対策をもう少しつづけてほしい
ご苦労さまです。今とても満足してくらしていますが、先細り感は禁じえません。自給自足の豊かな日々を望みます。

<p>具体的にはないが、高齢者の考え方ではついていけない感じである。</p>
<p>きめの細かい対応</p>
<p>農業が衰退している現状で私は自分の土地を如何に守っていくかのみで、市や農協への要望はなし、又要望しても実現するとは思えない。今までがそうであったから。</p>
<p>農地の市街化調整区域やめてほしい。</p>
<p>以前より中山間地域直接支払交付金の組織を立ち上げ活動している。今回「農地中間管理機構」を利用し当地域のほ場整備を実施して行く方向で地域住民が考えております。今後市の関係の方々の応援をお願いしたいものです。</p>
<p>土地があるけど何もしていない家にアンケートを出すように送付等するのではなく、現状をはあくして下さい。相続が終わって10年以上たっているのにたまに親の名前で書類が来るのはいかがなものかと思えます。</p>
<p>ブランド化もよいが、地産地消で身近なところで作り、身近なところで消費できる画一的な規格ではなく、味で勝負できるようないびつな野菜等も身近で販売できないか？又、温暖化で新しい作物、果樹などはできないか研究してもらいたい。</p>
<p>農協など無くなっても良い</p>
<p>現在農振地域で田を耕しているが、湿田の為大変苦勞している。又、用水路が古いため、水路より水もれ等もあり、さらに耕作しにくくコンバインすら入れられない田もある。行政判断で農振指定するのも良いが、現場の現状も考え制度化してほしい。</p>
<p>錦町綾ノ内、曲田地内は、工業化地域のため農業振興も土地売買もできず耕作放棄が増加するばかりです。現在耕作している私達にも耕作放棄地は病虫害や草刈で迷惑をかけている。いわき市は周囲状況を考えて地目変更を強力に推進してください（県と速やかに協議してください）</p>
<p>当地区では農業をやめる人が年々増えている。一つには政策が大規模農家に施策が向けられていること。二つには農業に魅力が感じられない。三つには担い手（後継）がいないこと等が考えられ農業離れが進んでいる。</p>
<p>農振解除お願いしたいです。</p>
<p>グローバル化（輸出）</p>
<p>震災後、田などまわりが耕作しなくなり、水路、堀などが荒れてしまい作りたくてもぬかるんで機械が入れなくなってしまった。もっと早い時期に対策してほしかった。もう作りたいたが作れなくなってしまいました。維持費がかかる為トラクター外は全部処分しました。</p>
<p>耕地整理を実施して配反になりましたが、畑も水田も野菜の作付けが出来ないでおります。それは、ブルドーザーで地盤が固くなって雨が降るとぬかるし、乾燥するとかたくなってしまふからです。私の経験では整理1m以上掘返してもらいたいのです。</p>

<p>農業者への目標が提示されていない。年代によって大きく考え方が左右される。目標が不明確。統一へ向けての目標がない。</p>
<p>県民一体となり、安全性のアピールを行なう。</p>
<p>J Aはもっと積極的に営農指導をしてほしい。待ちの商売ではこまる。</p>
<p>学校給食などでなぜいわき米を使用しないのか。全量全袋放射線物質検査を行っているのにいくら安全だと言ってもだめだと思う。</p>
<p>農業者の後継者を育成しながら、長い間、農業振興を図って来ましたが、これらの制度が兼業農家としてしばらく確立そして農業生活の向上と地域の農業コミュニティを図って来た。しかし特にここ 20 年間程の間に効率化、合理化の名のもとに大型機械の導入に伴い借金をしながら農業を続けていこうとする方向に変わってきています。この様な状況では農業で生活を育んでいこうとは考えられません。小規模でも良いから楽しみながら農業が出来る制度にして戴きたいと考えます。以上</p>
<p>土地基盤整備事業により換地された土地が休耕地（草畑）になりつつある場合の農地の維持、保全の地権者への注意喚起は、どこが主体となって行うのですか。</p>
<p>農協の営業範囲が広すぎる。解散に値する。完全民営化を強く望む。</p>
<p>地域の為用水路整備で田に水が使えなくなったのに水利費を払うのが納得できない。農業を全くしない年数が続いているのに農事組合に入らなくてはいけなく、農業の事全くわからないのに役員にならなくてはならないことが理解できない。役員は農業をやっている人がやるべき。農業をやらない家は回覧物もいらない。印刷物の無駄だと思う。</p>
<p>いろいろな申請の際の手続の簡素化すること（例：イノシシ対策の補助事業等）</p>
<p>農協合併により地元の意見などが反映されなくなった。農用地の指定については見直すべきだと思う。</p>
<p>田に渡る 24 馬力トラクター、今はコンバインも大きくなり今迄の橋では渡れないと言われましたので、何とか考えてください。御願い致します。</p>
<p>当農事組合で見た場合、農業に従事している人は高齢者であり後継者もなく耕作放棄地が増えていく現状にあります。今後環境の悪化に対し対策を講じてほしい。</p>
<p>他業種に負けない魅力のある職業にしたいのだが。仕事（労力）の割には収入が少ないのが残念。今後、J A等の関係機関とタイアップし改善が必要と考える。（今後もまたこれからもそのようにしたいと考えているとは思いますが。）</p>
<p>後継者がおらず今後のことが心配です。放棄地が多くなる事に対し行政ではどのような対策をお考えでしょうか？</p>
<p>シルバー世代を考慮した農業。中間管理機構が主体的に経営する農業を考えるべきでは。個人では代表者が死亡した時点で終わってしまうため継続性がない。</p>



<p>肥料や農機具が高すぎます。山間部には助成金が必要です。年々高齢が進み、川沿い、道路沿いの草刈には大型草刈り機が欠かせないものとなっていくと思います。</p>
<p>農業後継者の高齢、また、設備投資の増（機械設備の維持不能）のため、農協さんの方に、田んぼ・畑の耕作をおまかせしたい。近い将来、耕作放棄地は増えると思われます。食料の自給率は悪化してしまうと思います。</p>
<p>近くで森林伐採を行って太陽光設備工事している。大雨時増水を心配しているが県の許可を受けているようだ、県は森林伐採前の大雨時の水量調査、伐採後の大雨時の水量調査等を行って頂ければ、今後の森林造成の参考になるのではないのでしょうか？</p>
<p>現在では何を言ってもダメ。農業者に関しては一時的、土農工商の逆で働いている。農業（米）は大事と言いながら、すべて国が決めている。エ・商は物を作り、自ら価を決めるが米、野菜等はすべて他人が決めている。はたして、これを書いてもアンケートとしてゴミ箱行き？</p>
<p>「農協の窓口の子がまた辞めたよ」最近良く耳にします。「職員の方は大変なんだなあ」と思います。農協組織の見直しが問われている時期なのでは？</p>
<p>原発事故以前は米作や野菜など作っても心配ないわけでした。しかし事故のあとはイノシシが多く何も作ることが出来ない。特に山間地域はひどい。田の草刈も出来ない。行政機関や農業団体に回って現状を見てほしい。今の状況では作付けは何も出来ないと思います。</p>
<p>このまま農業を続けていけば必ず田畑の衰退は目に見えている。農業従事者への生活基盤を安定させないことには誰も農業をやろうとは思わない。いっそのこと農業者を準公務員みたいにして給料を払い、一定額を支給してみてもどうか。</p>
<p>仲よく、親切的な農業環境の整備。素人にやさしい指導体制の確保。</p>
<p>農業振興地域制度は基盤整備事業を行った地区だけに適用すべきで、その他については地域の活性化からして制度で縛り付けるべきではない。</p>
<p>平豊間地区は、水田34ha中半分の17haが作付されないまま荒れ放題になっており、その中には原野化している所もたくさんあります。私もあと10年が限界かと思しますので、あとは7haまでになると思います。早急な対策を切に願います。</p>
<p>農地に対する規制緩和した方がよい。農業後継者が少ない中で他へ利用するにあたり規制がネックになって何もできない。</p>
<p>J Aについては直接農業への参入をお願いしたい。改良区と合併させ、ほ場整備、農作業の請負等の推進。</p>
<p>直売所に出荷する農産物の放射線検査はいつまで続きますか？検査に1kgとられるのは大変です。軽いもの、小さい作物は検査にほとんどとられてしまいます。せめて300g～500gにしてほしいです。年寄りにはたくさん作れないし、直売所はたのしみです。</p>
<p>私は農事組合に加入しておりません。隣のご主人が持ってきてくれたアンケート参加です。届いてない所一杯？もっと農振除外申請したい所ありますが書ききれません。農振除外お願いします。</p>

農協の職員が全体的に知識不足でサービスを利用したいと思わない。毎回毎回対応が変わるので時間ばかりかかりいつも振り回される。組合員への対応がしっかりできるよう職員への教育に力を入れ職員も自ら進んで日々勉強してほしい。
米を作らなくとも生活が十分できるのですが、回りとの関係性などもあるので続けるしかないかなと思いながら水田を管理しています。
農業振興地域は大事であるが、現地をよくみて規制をゆるめるべきと思います。
市 農林部局の職員配置について、近年農業に精通する職員が少ない。レベルアップ（外部研修等）で農家の指導に当たって欲しい。 JA合併での身近なサービスが低下している。特に営農指導が出来る職員がいない。
高齢化して来て畑も子供達は自家用の野菜も作らない様です。農協の注文書も無い様です。
農家の跡継ぎがだんだんいなくなり将来、空き家が多くなってきます。その対策を考えておいて下さい。
周りが放棄地が多く用排水に非常に困っている。農地持っている人なんとかしてほしい。
市街化調整区域をはずして住宅、宅地造成していただければ、人口も増え、玉山地区の発展につながると思うのです。
畑はいのししが出るので耕作してません。
高齢化社会の中で、後継者のいない世帯も増加しており耕作しない田、畑も増加しております。今後10年内になると、さらに耕作しない田畑が大幅に増加すると予想されますので、これらに対する対策が早急に必要では。
福島の風評というとならえ方は大局的にみれば小さなことだ。むしろ福島における最優先課題は、健康指標（高血圧、糖尿等）が最悪ワースト1、2、3にあることだ。この大きな課題に農業者が貢献できることが山ほどある。福島の健康を取り戻す、農業者がこのコンセプトに立てば、コンテンツはいくらでもある。共感を生むはず。
市がやることはいい加減すぎる。鳥獣対策など、困いをやっても補助金の出し方が大変変だ。ジャガイモ植えてから困うバカはいないし、それに対して補助は出しませんというバカにした話だ。
地域単位で企業化を進める
水稲など生産品価格が安く、機械（トラクター他）は高額で投資効果が無く農業意欲の喪失。生産品価格の値上げを望む。
農家が農業だけで充分生活できる収入を確保できるように国に対して働きかける。嫁さんが来ないし、娘を出せない。異常な生活になりつつある。だから、後継者がいない。国土は乱れる。
・野菜等の放射線検査を各農協で出来るようにしていただきたい。・農地が非常に安くなっている。売りたいくても考えてしまう。そのため遊休農地が多くなっている。・農地に工場等が出来れば、そこで働く人が多くなると思う。（農地の活用）

農産物の値上げを考え農家人が経済面で裕福なくらしが出来るよう考えてほしい。
営農指導や後継者対策が不足している。
今後の農業について、住民と話し合う機会を多くしてほしい
林業について。現在山林を1ha位所有しているが、個人的に山に入った事は無く、所有林が現在どの様な状態なのか分からない（今後も変わらない）将来は国有林として山を管理して行く様な事ができないでしょうか（要望）。
自分達の住む地区の大部分の農家は農外収入で生計を立てているのが現状であり本気なって農業振興を考えている人は少ないと思います。（消極的かな？）勝手な考え方ですが、水稻だけを思ったときに大規模な基盤整備を行い一法人で50ha以上の水田面積を保有し農業経営に推進して行く位の計画を望みます。
職員一人一人の強い思いが感じられない。特別職のような人事を行っていく必要がある。
市が農地が未耕作地が多く猪等が多くなっている現状について考えてほしい。このままですと田に猪が増えてしまう。対策を考えてほしいです。
昔は農協職員が訪問がけっこう有、コミュニケーションが上手に保たれていたが、今は一方的に文書でくるだけ。昔のような親近感がなくなった。
沼ノ内に住んでいるが、宅地化が進み農地の不作化が進み荒地が増大している。昔定めた農地法は現状に合わない。発展の妨げとなっている。改善が必要である。
平成23年の震災で沼ノ内に終の住みかを建て4年近くになります。農地を借りて耕作しています。私なりににんにく、玉ねぎ、色いろと自分の考え、周りの人の協力もあって作っていますが、いまいち作物の出来栄が良くないです。専門の人の知恵を頂き勉強したいと思いますが、なかなか指導して下さる方にお会いできません。
我々何で米作りを放棄したかと言うと、猪の被害に遭ったからで、まず、動物被害の対策を優先しないとその事が、今は一番重要なことである。動物愛護団体とどのように折合いをつけるかだ。
家の外回り出来ているが内側改造費1千万円かかるため本当に大変です。改造できるか出来ないか問題です。次の家取に家畜業を進めたい。
部落で農業にて生活できる人0%、サラリーマン収入が主兼業農家は農業赤字を税制優遇で利用するため。ほ場整備は控えめ。兼業農家の税制制度を根本的に考えなければ、ほ場整備は進まないと思う。専業農家と兼業農家の区別は必須。
米の価格が下がっているにもかかわらず、それに関する価格は全く平気で値を上げている。農機具のために働いているようなものだ。もっと現実を直視してほしい、農家には作物づくりの博士は居ない、一日の日当などは100円未満であり、このような状況では後継者が発生するわけがない。
25a位の田が残り貸しておくのですが昨年と今年田植えはしませんでした。農地を活用してくれる確かな方がおればと気をもみます。

<p>原発事故後、イノシシが増えて困っている。東電に責任を取ってもらいたい。駆除するほうへもっていかないと、農業はやっていけない、一人ではどうすることもできません。</p>
<p>田、畑に対する固定資産税、その他の課税が高すぎる。</p>
<p>農地開発ができないのであれば、今後も農業する人に田んぼを作ってもらいたい。</p>
<p>当地区の田畑約 50ha(一部トマト菜園を含む)は昭和 40 年新産都市の指定に伴い工業専用地域に指定され一般住宅の建築はできません。約半世紀の間市当局は何の計画もなく改良されておられません、ただ固定資産税は(都市計画税を含む)は年々増加しており農業経営上赤字となっている農家が増えておりますので何か改善策を市当局で考えていただきたいと思います。</p>
<p>上矢田町わらび作地内の農道約 100mを補修してほしい。</p>
<p>1. 市街化区域における大規模開発のできる用途地域への変更を安易にする。2. 調整区域における土地利用計画の将来に向けて、いわき市の活性化対策。3. 非耕作地の活用の検討や農地の集約化。</p>
<p>小さな農業でも営農が成り立つ施策の研究。宮城県綾町では、町が農業指導者や有機肥料供給、農家直売所の設置等で農業支援を行い宮城県を代表する果物の日向夏の産地化を達成している。</p>
<p>日ごろから行政機関等が熱意をもって現場を把握し業務を遂行しているか疑問です。</p>
<p>異常な気象現象でゲリラ豪雨等災害が増える中、水田の減少によって、急激に出水するようになり、人口が減っているのに宅地化が進み、乱開発を防ぐ取り組みが必要と思います。</p>
<p>行政、農協団体が拡大されても、末端農業者にとってはまったくのメリットもないように思われる。小規模農業者にとってはかえって不便になった。</p>
<p>担い手育成に対応した行政</p>
<p>ここ数年は、JAの職員の顔が見えなくなっている。もっと農家の家へ足を運び、顔の見える関係を構築してください。また、国の指導により「減反した田」については、国も責任を負うべき、管理費用などの全部または一部を費用負担する等。</p>
<p>主食米に対する安全性が問われ、外食産業の米として扱われ、又在庫も残っていると聞く。各家庭の食卓にあがるよう考えるべきであり、JAはこれに対して、努力と体制ができていない。</p>
<p>この時代の農政の在り方、私共はもちろんの事次世代が意欲を持てる様な仕組みが合っていない、先走りなやり方だと思います。そんなじれんまの中で私達は農業を致しております。</p>
<p>昔と比べ地域がさびれている(人口減、交流なし等)生活スタイルが変わったのでどうしようもないが、職場もすくないので戻ってこない。例とし</p>

て葬式なども自宅葬なしで交流なし。(要望ではありません)。
何をやるにしても手続きがあまりにも複雑すぎると思います。複雑すぎるので面倒だからやめてしまう。
他人事ではなく積極的に対応してほしい
農業振興地域の為宅地へ転用できず資産価値の向上を阻害されている。地域の発展の為農振を外して欲しい(四倉岸前)。他のJAと比較し地元のJAにはブランド品を産み出し農業者の所得向上に努めようという姿勢が感じられない。このままでは農家の衰退と共に共倒れしてしまうと思う。
市などの行政は、各集落から急速に人口がへっていることを知っているのだろうか？それに対する対策がない。このため農業も同じようにダメになっていき、町(都市)の農家だけうるおっているようにしているのが現状である。まともに考えるのがバカらしい。
JAはなくてはならない機関だと思う。どんなに時代が変わっても地域の農業に協力して頂きたい。
作付け可能地については、積極的に地目変更の認可を望む。
中山間地域の農業は稲作が主だが低米価の為稲作農家では生活できない。それでも田畑荒れない為に70才になっても耕作しているのが現状です。
鳥獣被害対策を市の方でも協力してもらいたい
農協の広域合併によりサービスの低下が生じているのできめ細かいサービスの充実を図ってほしい。
耕地付宅地造成により耕作地放棄の解消、個人取得面積の拡大、耕地と宅地の税制上の配慮、耕地以外の使用規制
大規模他、集約化は、国土がせまく、分散農地が多い日本では困難と考える。EUの様な手厚い農業へのほしょう政策は必須と考える。
幹線道路等に接している農地等は耕作放棄地が多い環境を守る点からも農地利用以外のため転用を推進すべき土地もあると思う。農地転用許可条件がきびしいため土地の有効利用が図れない地区もある。
少量の野菜でも販売できる場所(主に直売所)をJA主体につくる、又は個人やグループの直売所に対して費用面で補助する。農家レストラン、農家民宿のノウハウなど市が主体となって勉強会や見学会をする。(地元農産物を特色ある加工などで販売できるわざと場所)
農地を持っているのが重荷になってきている。管理出来ない。
自身の問題として行動をお願いしたい。問16についての説明会、勉強会や現地視察の実施等農家に見える形で実行する等
農地の大区画化整備等、力を入れても農業そのものに意欲ある人材がいない。現実はどうしようもないと思う。農業生産法人が経営に困っている現実を直視して欲しいものだ。土地改良事業推進等考えものだ。
地理的条件(泉駅から2km前後等)を生かした農地の適正利用
農協に要望ですが、いろいろな情報や講習などを行っていると思いますが、平日だと思いうように参加できないので、土日で行ってもらえないでしょ

うか。
肥料の価格が高すぎる。
アンケート内容が現状に合っていない。内容を考えないと意味のないアンケートになると思う。
地元であっても米など県外から購入している状況では農協に出荷せず庭先から業者（一般）に出したほうが良い
農業用水路・川等における草刈、溝払いが高齢や身体不自由、農業者減少によって増々負担が大きくなるばかりで、その点を行政で行ってほしい。 （欠席すると少ない人々の負担が増大するばかり）
いわきの立地条件の検討による農業の一変
一律の農業振興計画を市職員の「メンドクサイ」の精神で勝手に作製せず、各地域（小区域）毎の現実に合せて作成すべき（ちなみに当区域は過去に中小炭鉱の石炭採掘の後遺症により水田は永久に作れず、畑も保水能力が小さく農業に向かない）。
記入した者が前途のない夢をもてない。若者が自信をもって住める町づくりに手をさしのべて欲しい。それは何かはわかりません。昔のように子供の声が聞ける部落になれば願っています。
地区の適性に合った農業の方法にすべきです。農振計画を策定しても豊間地区のように水利の便が悪い地区は農業（水稲）は現状維持が精一杯ではないか？将来は耕作放棄地がさらに増えると思われる。
現場に行き話を聞いて欲しい、見て欲しい。机の上だけでは何も解決しない。体で感じてみて又違った方法もある？
1 農協の企業力、資質の低下が目立つ。 2 行政業務の改善を積極的に行ってほしい。※職員数に応じた生産性（評価）を示すべき（例）対価評価等で職員にコミットメントを求めたい。
農地委託進めて欲しい（後継者がいないため）
後継者なしと自身の高齢のため、農業等に関心なし
高齢と後継者不在により土地の保全管理が困難。又未整理地や水利の不便な土地は耕作受託者がいない。草刈りだけの委託も受託者が少ない上費用もかさむ。道路や用水路の法面は隣接者が実質管理している。公的機関の介入により少しでも負担が軽減される方策を模索し実施してほしい。
住吉地区は工業専用地になっておりこの中にある私の農地です。このような問題はここ2～3年の事ではないと思います。せめて10年前にこのようなアンケート方式を取って頂きたかった。耕作放棄地等々含む。
農業に関して高齢化に伴う諸問題を相談できる場所（窓口）を知りたい。
家の周りはアパート新住宅でうまっており農協も金融機関と変わりなくなりJAそのものが大きく変わってしまって、農業自体が遠のいてしまって

残念に思っている。
工業地帯になっていて（半世紀もたっていて今後どうなるのか）、税金（都市計画税も含む）が高過ぎる。今後も大変である。農協は合併吸収の問題が出てきて農家より遠くなってきている。
小規模でもノンビリとマイペースでできる農業経営はないのだろうか。
1 JAは農地の賃貸あっせんを積極的に行ってもよいのではないか。日曜菜園の希望者を拡大し農地の活用を図るべきと思う。 2 兼業農家の小規模耕作者に農業資材及び肥料代の割引制度があっても良いと思います。
10年後、20年後が子供や孫の代になったら農業をやる人が減ってきますので心配です。
農地の転用を真剣に考えてもらいたい。
担い手の方々はこのままつづけられるのか心配です。未来に夢がもて地域の宝になるようにならないと承継されていくことは難しいと思います。
肥料や薬剤などももう少し安く販売してもらいたい。
なし（積極的に土地を求めたわけでもなく、ただ相続で引き継いだだけのためなりゆきまかせ）
農協等で農機具リース、センター等を作って農家各戸の農機具投資をおさえる政策をする。農協職員も市農業関係職員も農地、農作業体験して地域に根ざす様な政策をしてください。
自分達で手を入れる事ができない所、老人になり草刈りなどが出来ない場合、年1でなくても2、3年に1回など予算をいただいてやってほしい。また、相談など今後についてなど。
先々農業が出来なくなる可能性もあり、農業地利用を考え集団農業や公共機関による農業地経営などを考えてほしい。
排水路の補修は行政の大幅な補助がなければ不可能である。ほ場整備した時の排水路がだいぶ痛んでいる。
農業従事者並びに若者が生活しやすい環境を造ること。まずは、出生率をあげる為の活動をお願いします。
農振地域の説明など時々広報誌で解説すると良いと思う。農協と連携して営農指導に力を入れてほしい。
長い月日が経っているにもかかわらず風評被害は人々の心の中に残っていると思います。食品は安全第一に細かに放射線の有無をこれからも引き続きすべきと思います。口に入るものは特に注意していくべきと思います。手間ひまかけても風評に立ち向かうことも大事だと思っています。
レンタカーのようにトラクターやコンバイン等を借りられたら良いと思う。
耕作をしない農地の活用を行政機関等で考えて欲しい。（特に市街化調整区域）
鳥獣害対策を十分にしてほしい

今現在出荷に際し、総て放射能検査を義務づけされていますが、いつまで続くのか疑問である。
海洋放出反対です。海水の温度が上がると気しょう変異がおきる。海洋放出はだめです。以上
今の大野地区の状況は農業だけの問題では解決しないと思います。当地域には四倉インターがあり、その流動人口を利用した農業経営、経済をからませた地域づくりや農業。今の状況は幼稚園、小学校、中学校も廃校に進んでいる。人口を増やす工夫が必要。農業に影響しない方法で人口を増やし発展させる検討をお願いします。
行政の資料等をJA（民間）を通じて配布しているのが多くあるが、手数料を払っているのか。JAは各地区に手数料を払って配布している。この説明会もJA支店等で行っているが、手数料はどうなっているのか。JAは一民間企業である。
どの家庭も後継者不足であり、もっと集約を進め、もっと6次化し回転するような作物、生産にすべきである。
畔道相談、営農指導等良くされて助けられています。有難いです。
小さくてもまだまだ農業をやっていきたいが、現在年間20万円の赤字が出ている。小さい規模でも少しでも黒字になるような施策が必要
JA大野地区におけるほ場整備を行い、その経営をJAで行ってほしい。
四倉地区に住んでおりますが、南地区と比較すると開発と振興策が遅れていると感じています。地域の特性に応じた将来に夢を持てるような地域振興策を望みます。特に少子化対策は急務です。
四倉大野地区のほ場整備の意見があるが、行政、農協等での他地区を含め予算他説明がほしい。
農振地区のため他地区からの人の流れがなく高齢化地区になっています。交通機関もなく今後ますます住みにくくなると思います。そこで、市街化調整の見直しが必要と考えています。検討課題です。
農業従事者の高齢化と後継者不足により休耕田が増加しており早い時期の集約化が必要だと思います。（事業化）
ほ場整備など営農環境の整備促進
作付地区に作付放棄者あり。雑木雑草日照作付が容易でなく農協や行政で指導をお願いした
営農指導者の巡回等による相談にのって欲しい。現在のあぜ道相談ではあまり活用されていないと思う。各地区（支所）に専門相談員が欲しい。
農地であっても農地として活用できないような市街化に近いところは利用者がいる場合活用させてみる必要がある。ためらうことはない。それが行政機関の決断である。
水道管をしいていただきたい。きれいな水を飲みたいです。若人達はすいどうがないのでもどらない。
好間江筋の江払いを年2回実施しているが、農業用水のはずが現状は生活用水の流れる場となっている。江払いも年々高齢化しままならない状況に



ある。対策を講じて欲しいのだが。
農業機械のリース。一部の農業（企業）のみへの支援は止めて欲しい。新規就農者への誘致拡大。
農協は営利団体化している。農協は営利を減らすべきと思う。又、多種多様な技術を勉強し指導する様にしてほしい。
後継者がいない人の為、田畑を買とり又は処分出来る様なシステムを考えて欲しい。
農振の考え方を根本から見直す。この法律ができた時と全然時代が変わってしまった。農協はもはや解体すべきでほとんど組合の呈をなしていない。職員の生活確保のために我々の努力を犠牲にしてまで国の税金を投入して存続するのは無駄だ。自由化が望ましい。肥料は安くなり米は値上がりする。農業団体も御用団体で何の役にもなっていない。オロカだ！行政ももっと見通しをもった計画策定しないと少子高齢化の中で持ちこたえられない。
地域の人口増加（未婚者が多いので、婚活を行ない、結びつけ、家族をふやし、子供をふやし、消費が増加する施策を考える）
耕作しない農地（荒れ田）を個人の生活の為に有効利用したい。
農協に対して 農業資材をホームセンターなみに品物を数多くそろえて、価格もホームセンターなみに安く販売できるシステム、施設を造ってほしい。
鳥獣対策（いのしし）
農業用資材の負担が大きいので少しでも安く提供できるようにしてほしい。
市及び農協に営農指導お願いしたい
道路の舗装拡張
イノシシ、ハクビシン、カラス等の被害が多発しているので農業の意欲が減退。中山間地等の過疎化防止の為農地転用の柔軟な対応。
小規模農家が多い為、ほ場整備が進まない。又、自己負担に対するメリットがでない状況にある為整備事業等関心がない。
我が地域における農業はあと5年～10年で崩壊すると思う。農地の維持は困難である。農地を利用する方を集約していく為に、行政、農協は各農家の考え方を集約して廃業も含めて意見を集約し提案をすべきである。
どんな対策をしてもあまり効果を感じない。年月の経過を待つしかないと感じる。
米の全数検査等は止めるべき。かえって風評をあおっている。
少人数で耕地を請け負って大規模な耕作ができるよう組合や会社などの組織をつくる。
不要農地の公有化。コンパクトシティー化に向けた農業者の定住先（代替地、代替建物）の用意、もしくは兼業農家の黒字化に向けた施策を希望し

ます。
農協経営の農業者密着への体質改善改良促進（頭でっかち傾向？大規模化への配慮事項検討）行政の大農経営主体制度の推進時中小規模切り捨て傾向の修正。
米の価格が高くないのに肥料価格が高い。野菜も同様、もっと肥料薬剤等価格を安くする事を考えて欲しい。
後継者がいないので減反、畑、家の廻りなど草刈りが大変です。
農振地域を早急にはずし自由に利活用できるようにお願いしたい。
・後継者育成 ・風評対策 ・農家支援の具体的な政策 ・農地からの安定した収入が入る政策等農家にとってやさしい政策を望みます。
上記、川部町赤坂川部駐在所前市道南側は、幼稚園、介護施設、製造工場があるにもかかわらず、約10年ほど前に第1種農地になった。当水田は、強湿地のため大型機械が入れない。建物、樹木、鳥害が発生するなど、条件が悪く借手がない。老齢、機械の老朽化を考えると農用以外に土地を利用したい。
農産物の生産への取組み方が評価されている仕組みが必要！行政には用排水農道の管理をしっかりしてほしい。農協へは生産者の利益を確保できるようサポートして欲しい。
風評等は地域や自分が造っているようなものです。言われなければ気にしていません。最近言われたことない。（放射能のこと）
農業振興地域の除外を希望する。①ほとんど非農家になってしまった ②農業者が高年齢で農業を止めたいと思っている。
農地の工業化に向けて工場の誘致を積極的にしてもらいたい。そして農外収入を増やし安定した生活を送れるように望む。
震災以降風評で米価の価格が下がってしまい収入が減ったが、いまだに風評は払拭されていない。一日も早く以前の価格等それ以上になってもらいたい。
小さな農家を集約し協同で出来るようにしてほしい。
農道整備、下水排水施設
ため池の下に水田があり、雨量が多いと土手を超えて水が入りこまっている。なんとかしてほしい。
今に始まった事ではありませんが、農業に対する国の方針が他産業に比してとても弱いと言うか低い。もう少し自給率を上げないと有事の際乗り越えられない農業者の立場になって考えてほしい。
東電による賠償
農林業に従事している人の高齢化が進み、農地、山の維持管理が難しくなっている。農林作業又は経営を引き受けてくれる組織作りをお願いしたい。

すでに出来ているＪＡや森林組合がこれを担ってくれれば新たな組織を作らなくても良いのではないか。
消費者相手なので対策のしようが無い
川部、禾の宮地区の市道に面する排水が途中のまま陳情しても市では取り上げてくれない。
川部町赤坂地区はH21年以前は農用区域から除外されていたが？以降は農用地ということで宅地等の話があっても無理で川部地区の発展の為(子供等の減少)にも農用区域から除外してもらいたいと思います。
イノシシ対策に電気柵を設置しているが電池代がかかり耕作をやめるつもり
土地の相談を簡単にしてほしい。できない人が大勢いると思います。簡単にすることで税金も自然に徴収できると考えます。
農家も高齢化が進み田畑の作業を見ると若い人の姿が見られない。いわき各地の農地も荒れていて野菜畑を見られるのは自家消費の小さな畑しか目に入らない。早く農業会社を立ち上げ、大規模農業に変わっていく方向に進まないと耕作放棄地がますます増えると思う。個人農業から組織運営協同作業の規模化を図る。
地震での水不足やイノシシによる被害がありますので、あまりに酷い田畑は山林に転用できるようにお願いしたい。このままではイノシシの住処になってしまう。
中山間地域に交付金出すよりその金をほ場整備に回していたならと思うのですが、いかがですか。白米後光前は中山間地域に入っていません。問17,18には7年前に戻るのですね。
市に対して・・道路の草を刈っても全部ビニール袋に入れて！との事。木の様に堅い茎の草は決められた寸法にまるいて出して良いのではないのか。と思い願う。農協に対して・・ガソリンスタンドでオイル交換がやってもらえなくなった不便。
米の全袋検査について。個人の生産地の米のサンプル検査にしてもらいたい
都市圏へのPR活動
ＪＡの必要性を全く感じない。市については、全て予算がないとしか回答がない。自分たちの生活しか考えていないのではないか。ＪＡは農家に、市は市民に奉仕することを優先すべきと考えるがどうでしょうか？
山間地なので猪による被害で耕作放棄地が増えている。耕地廻りの山林が荒れ放題になり、農地の維持がむずかしくなっている。それにともない農道も荒れて来てる。私の場合所有地の1/3が未整理地でそれを解決しないと将来の農地としての維持がむずかしくなる。何かいい知恵があればおしえてほしいです。
1 技術指導をわかりやすく発信すべきだ。 2 集団化はもっと積極的に進めるべきだ。 3 高齢による離農者対策を進めるべきだ(急務)。

4 悪条件の農地（道路排水等）対策を進めるべきだ。
農業資材の値段が高い。JA支店が段々遠くなる。
三和の地元の田畑は今後、使用見込みが無い。売却や放棄を望むので、手続きを行い易くして欲しい。
ほ場整備事業は済んでいる（田）。平成29年から平成39年まで、公益財団法人福島県農業振興公社に貸している。
野菜等を栽培するための農業指導をしてほしい。農協に指導者を配置してはどうかと思う。
大規模農家（認定農業者）ばかりの政策では地域（自然環境）が悪くなるので、小規模農家、兼業農家にも目を向けてほしい。
中寺の水田は、ほ場整備してから早や15年が経過しているが、まだ農道舗装が完了していない。雨が降ると軽トラがスリップする所も多くあり、関係機関に陳情しているがなかなか進んでいない。市面積が大きいのはわかるが何年後とかに出来る等の回答が無い！
共有地の未相続者対策が必要。法律の規制緩和や変更がされないと未相続者の土地を含めた開発や整備ができない。
地域ごとに小規模の農地整備や従事者を計画的に育成し、市内に必要な面積を確保し食料安定生産を図れるようにしてほしい！
あまり感じないではなく感じなくなっている。マヒしてしまったのか恐ろしいことではある!!
昔は指導員が各部落に来て野菜作り花づくりをして団体でできた。たとえば、インゲン、トマト、菊など。今は何もなくみんな個人でいろいろやっているようです。15～6年前の農家は楽しかったです。みんなで作ると疲れがちがうと思う。
西郷上農事組合は数年前に同町区長との連名で農振法地域に設定されている農地の規制をはずしてくれるように農地所有者全員の署名と押印を得た署名簿を添付した要望書を清水市長に提出しました。農地所有者は誰も農地の規制を望んでおりません。農地所有者の意向を十分に尊重して下さいようお願いいたします。
地域のJAに（近い所）農機具などすぐ手に入ることが出来れば幸いです。
土壌の問題や野菜の病気などを相談できる窓口が欲しい。病気に対しての判断が正しくないと対応する農薬も違ってしまう。先日広告で見たが、ねぎの勉強会などにも参加したい
遊休田の活用時には、行政として積極的な協力をお願いします。田に復活する為にも物品などの資材の配布を行ってほしいです。
経営者の高齢化と後継者なしで田畑受託者も少数で受託面積も限界にきている現状をJAではご存知か。今後ますます誰かに米作を頼みたい人が増加してくると思う。JAは誰か受託してくれる人の斡旋するばかりでなくJA自体で真剣に考えてゆくべきではないでしょうか。JAがんばれ！
ほ場整備にしても、土地区画整理事業（宅建業の許可をとって不動産業としてやれば良い。）にしても総合商社兼総合金融業としてホールディング組織として農業がグレードアップして主体的に取り組めば、農家・組合員が全て協力していける体制ができると思うので、ぜひ農家にやらせるので

はなく農協が先頭をきってやって下さい。農協でしたらいつでも売ります。
神谷地区のほ場整備を早急に行うようにしてほしい。
・株式会社による大規模農業経営、又は法人化。・宅地に近い場所の地目変更、他目的利用（病院・介護施設など）
農協（JA）が主体となった農業法人を設立し地域における土地利用や担い手の育成を進め、活力ある住みよい農業・農村の実現を目指してほしい。
継続的な現状の周知
市長が視察する必要がある
農業を無理に継続するのではなく商業施設や学校施設、養護施設などの活用転配したほうが良いのではないかと。農業継続者のいない田んぼなどは推進すべきではないと思います。
鎌田字江の上地内耕作放棄及び保全管理されイノシシの被害等があり何も作付出来ない。埋め立ててハウス栽培するとか下水道等取り付けて宅地化できないか
だれのみかたなのかわからない
若い人が地元に残れる対策をしないと発展はないと思います。
農協に対する指導強化が必要。市においても積極的な指導を行う必要。
当地区の耕地は面積が小さく将来貸したいが誰も借りる人がいない状況が危惧されるので、ほ場整備を強行し合わせて農道整備は絶対に必要であり行政としてもフォローをお願いしたい。現況でも農道が狭く林地耕作者に協力（無償）を受けており近いうちに減反補償は要求されるであろう。
別紙の回答表に記入とありますが、本紙に直接記入してくださいとの返答でした。別紙記入の文言を削除して下さい。
JAが売っている物は、すべて高い。ホームセンターより大きい所がこれでは農家はどうしても買う気にならない。私のメリットを出してほしい。
農協にほしい物がない。近くの農機具店に行く。農機具見に行く。
全国にネームバリューのある農産物の育成指導を行ってほしい（例：深谷ネギ、南郷トマト等々）いわきで全国に名の通った農産物はないのでは？
環境変化等により排水設備の整備を望む。
ほ場整備の実現（将来を考えた場合必要）
農振地域外の市街化調整区域内農地の効率的な運用が図られるように土地区画整理事業を進める等市街化区域への促進を図っていただきたい。

<p>いわき地区（浜通り）は中通りより交通の便が遅れている。新幹線、高速道などの整備網未整備で郡山、福島市と比べれば発展速度が目に見えて遅れている。ここで問32にもどるが、いわき地区に全世界に先駆けて原発を廃炉に向けた技術の開発施設を誘致し放射能を除去できる研究所を設立すれば風評被害など自ずとなくなるだろう。ちなみに農協は利益優先で農業のことなど考えていない。別に無くても今は何ら差支えない！</p>
<p>行政が中山間地に対して過剰な位の投資（インターネット環境、公共交通機関の整備）をしなければ10年後20年後には里山の風景は無くなり原野や森の中に廃屋が点在する荒野になってしまうだろう。農村部に集中的に予算を配分してほしい。民間は都市部にしか投資をしないのだから（もうかる所にしか）</p>
<p>行事講習会などは日曜休みの時に行ってほしい</p>
<p>農業従事者の高齢化と後継者不足に伴う耕作放棄地は益々増加すると予想されます。近隣住宅との問題も予想されることから行政（JA）等の耕作放棄地対策が必要になると思います。早期の検討、具現化を宜しくお願いします。</p>
<p>作物に対しての栽培の指導、農協職員の異動が早すぎて信頼が持てない。特に営農指導関係を。</p>
<p>放射能汚染に対し農作物に対する対策（自家消費）などは何の対策も取られていないと思いますが、その補償をどう考えているのか知りたいと思います。</p>
<p>田畑全部売りたい</p>
<p>小規模農家の農地が耕作放棄地にならない様に農地の売買・賃貸借等の方策を積極的に推進して欲しい。</p>
<p>農業にたずさわっている人も高齢化していて、田畑、道路の草刈も大変、いわき市は面積が多い分、道路の草や木々も生い茂り整理されていないところも多い。金の使い道を有効に。農協も農家生産ばかり期待せず、自らも生産能力を高める経営が必要、JAのシールが貼ってあるだけで高くなるイメージがあり</p>
<p>このようなアンケート調査は何度もきてたと思うが何か変化したとは気づきにくいです。農協の役割もあまり機能しているとは思えない。高齢化が加速する現代、個人経営は難しくなるばかりです。その点を考えてほしいです。</p>
<p>高齢化が進んでおり、農事組合や農業共済等に関わる事務を地域におろすのはやめてほしい。</p>
<p>農業委員や農事組合の組織・権限を増大し日本農業の将来の検討を大いに活発化すべき。そして日本の完成された食の安全を世界に発信すべきです。農業は人類生活の基本である。</p>
<p>1 耕作放棄地の増加及び後継者がいない為の対策として農協による農作業の請負等を行ってほしい。 2 後継者がいない地区を農振地域に指定しても無意味である。是非見直しを願いたい。</p>

国、県、市町村の協力
市街地に近い場所は、宅地への転換を進めてほしい。
さくら農協さんになってから注文書等無駄なものが多くなった気がします。老齢のため何を注文していいか解らないときがある。
市行政としてどのように考えているのか聞きたい。行政と農家との意見交換が必要。平成 26 年、市長に農振除外要望陳情しているが、市行政からの回答がない。私も 4 年前コンバインが壊れ（修理費用 300 万）そのため農業を中断している。農業機械修理購入するためには、農業収入では購入修理出来ない状況。農業しない方が生活が安定しています。後継者には他産業に従事して生活してほしい。
農業を続けていくためには、高額なトラクター、コンバイン等の購入が負担として大きいのしかかる。収入には微々たるもので労力のわりにつりあわない。庄内地区の様に共同で購入したものを共有したり、ブランド米化して少しでも収入が増えるよう働きかけてほしい。自給自足を推進していくだけでは、困難である。農道の整備もおねがいしたい。
農業者の所得増大と農業生産の拡大に取り組む事が重要と思う。今後、大規模経営の指導推進と併せて農用地の少ない地域においては家族農業にも支援育成し地域の活性化を図ってほしい。
耕作放棄地には課税強化すると言われていますが、国は何故耕作放棄地が増えて行くのか、根本を考えるべきではないでしょうか。
認定農業者（当地区）があまりにも、でたらめ過ぎる。（利己主義・自分勝手・周囲に迷惑）
農業だけでは生活できない。赤字 普通の職場（会社）で働いた方が収入がある。国県市は何を考えているのか？こんなことをやっている場合ではない。若者が農業からはなれていくばかりです。
1 地域住民の意見をよく聞く 2 各組織の横のつながりを密にする 3 土地のあり方をよく考える
野菜の苗を各支店で販売してほしい
農地（水稻）を維持、保全のためには用水路整備が必要である。三面側溝の整備を前向きに進めましょう。
早急にほ場整備し優良農地を増やし農地を保全すべき。
新農業振興地域整備計画策定に関する意識調査はするがもっと計画を実行してもらいたい。
若い世代が暮らしていける環境を考えてみてはどうか！？魅力的かついわき独自の農業の推進です。
田畑作業をしている老人が出来なくなったその後
現状からみて農地転用が妥当と考えられる場所は市街化地域にしてほしい。※農地転用を広く自由に。
老齢となり農業が出来なくなった時、農業を請け負ってくれる所（人）を個人が探すのではなく農協等が窓口となり請け負ってほしい。申し込んだ

人は実際に作業する所（人）とは交渉しなくてもよいように。
少子高齢、人口減少地域に市は、何を求めるのか。方向性的なものは提示しているのか。
福島県内で山全体の除染を希望する。
男の農業従事者がいないので女性だけでは耕作が無理田んぼを人に貸しても山作で地形が悪いので借りる人が居ないので困ってしまう。
休業地（農業放棄地）なのに、小川江筋代が高値である。もう少し安くするよう小川江筋組合で組織の合理化等で対応してもらいたい。又は市等で江筋代に補助金を出してほしい
あと10年もすると耕作放棄地が半分以上になると思われる。小さい田と水利の便が悪くやってくれる人もいない。区画整理と水利の便を良くし委託できる環境にする必要がある。
農用地区域の見直しを早急をお願いしたい。私の農地は「宅地化出来る農地に」隣接しており、幅員4mの道路は舗装され、水路も整備されています。震災後の宅地が著しい。私も老年になり耕作は限界です。市等で耕作者をあっせんしていただけないでしょうか。
兼業として会社を優先すべきなのか農業団体の行事を優先すべきのかなやむ
今は体の関係で、同じ地区の知っている人に全部（田一33a）耕作してもらっているが、将来その人が耕作できなくなった時のことを心配なので、「農地中間管理機構」についてもっと具体的に説明して橋渡ししてほしい。
農業振興地域とやらをはやくといてほしい！子供達も農業離れで荒れ地が増えるばかりです。女ひとり残されてはどうしようもない。貸す事も売る事もできないなんて今の時代に合わないと思います。
自分たちの地域は自分たちで守るとの合言葉で行政指導に積極的に参加している。地域づくりの原点と考えます。
米作りをやめてからほとんど農協との付き合いがなくなりました。利便性などの理由からホームセンターを利用することがふえた。又、銀行、郵便局、信用金庫を利用する事が多く、利用する事がなくなりました。何かが足りないような気がします。
縁故米で全部出荷の為、東電の保障金は1銭ももらっていません。行政機関、JA等で教えて欲しい
必要な情報をわかり易く発信。効果的又は有効な情報の発信等を今後も継続してください。山間地では経済的に豊かにできるもの、そして若者が定着できる活動を考案していただきたい。
種子法が廃止になったことを懸念しています。安価で良質な種をこれからも提供してほしいと思います。
遠野町に合った（風土）農畜産物を作る。例：合鴨を使って無農薬米を作るとか、休耕田を利用して羊を飼うとか、花、農家の為の農協であってほしい。社員ではない。



<p>回覧も大切だと思いますが、耕作放棄地や地域の中小規模の農家の実体を把握してほしい</p>
<p>この度の調査に微力ですが、ご報告いたします。以上の内容ですがご利用ください。</p>
<p>市政は農家を無視している。そうせざるを得ないのは人口比率が低いから？ではないか？いわき市は1, 2, 3次産業のどこに注力しようとしているのか？全部やろうとしても無理がある。</p>
<p>米の値が上がってほしい</p>
<p>今後の農地保全是国土保全に繋がり、異常気象による災害被害を最小限に保つためにも農地環境を良好確保することが日本国土を頑健にすることになる。</p>
<p>自分の土地なのに勝手に他の利用や売却できない。ただ、固定資産税を払っているだけで不満だ。高齢化になってどうすればよいかわからない。10年後、耕作放棄地になるだろう。</p>
<p>営農指導等をしっかりやってもらいたい。</p>
<p>米は、日本の主食ですが、給食センターは30年前はパンメニューに切り替えたために3～40年は米を食べる人がいない。昔は大人2表米今は30K（年間）米あまり現在では外国人は寿司で食べるので外国に輸出してください。原発は東京湾にすればメルトダウンはしない。</p>
<p>米の全袋検査の廃止。福島米と全国平均米の差額を国、東電へ負担させる。</p>
<p>農地を売買する場をもっとふやしてほしい。国勢調査をはやくやってほしい。</p>
<p>個人の生活や権利のことを考え、今より規制をゆるめるべきだと考えています。</p>
<p>ジャガイモ種の注文が5年位前からなくなった。農業員か農協などで考えてほしい</p>
<p>国、市、農業団体だけがさわぎたてるだけで末端の農業従事者にはまったく反映されない。生産側の収入の安定をもっと考えてもらいたい。農協の経営方向が農家のサポート以外に向いていると感じる。</p>
<p>①農業団体は農業の実態を把握していない。だから、農業の危機対策が示されていない。②農村の過疎化、農地の耕作放棄は急速に拡大している。個々の農家の力で止めることはできない。10年後を想像するのが恐ろしい。</p>
<p>大和地区は転用できる（宅地）事がほぼ不可能な為、今後、田畑は荒野と化してゆくのは時間の問題です。同時に高齢化人口減少に歯止めをするためには、早期に若年層が暮らす宅地を造成していく必要があります！</p>
<p>当地区でも猪の被害がでてきていて個々で防護柵（電気）を設置している。何故か畑が集約されていないので個々でやるしかない。何か良い手段はないでしょうか。</p>

農業経営が赤字のため後継者が希望の持てるような農業になればと思っています。猪が年々増えているので対策をお願いします
市街化調整区域のしほりをなくすべきである
市街化区域の拡大
農業も会社組織にして個人の持つ面積により配当金がもらえたらいいな一と思います。
ほ場整備で農地を貸しているが、事業者から事業経営に関する情報提供が欲しい。そのようになる仕組みを作って欲しい
農協の購買品は他社に比べて高い。全員意識がうすれ、職員との意思疎通がない
会議等は参加しやすい土日などにしてほしい。専業ではないため会社を休んで参加するのは無理
農協職員の農作物の知識を高めてほしい
県道、泉～渡辺下町地区沿いの農地を農振地域より除外してほしい。
農業従事者の高齢化が進み後継者が少なく農業の衰退化が危惧されている。今後農業が継続できる様、施策の提案やアドバイスをお願いしたい（ライスセンターの設置、稲作の集約等）
市道農道等の整備が遅れているので中央部だけではなく行き止まり道路を整備して頂きたい
農業者の為の農協に成る事
広報誌、種子法に関する広報、農業状況の報道ニュース等を細かく継続広報されることを希望します。
高齢化が進み、現状として田を維持することが困難になってきました。農協でリタイヤ後の人材を使って（雇用し）田の委託もあっていいのではないのでしょうか。
1 農業用資材の価格低減 2 営農指導（現在よく知りませんあしからず） 以上
個人の経営がむずかしくなっているためぜひ集団営農を考えていただきたい。
以前より農協の職員の対応が非常に悪くなっている。又、以前より品物が高く組合員に対するサービスが低下しているのが現状である。
あまり期待していない。
農協も合併してから人情味もなくなり不便で残念。農業委託している人が多いが作業委託してもらっている人も高齢化してきて委託が出来なかったら耕作しない農地が増えるのでライスセンターなどの農業用施設を早く作って米の確保をしてもらいたいです。
田の方は三和町永井ファーム組合でしてもらっていますが、畑の方は耕作していないので今は原野になってしまいました。私は好間町に住んでいます。三和町上永井に通いで草刈などしています。74才なので大変です。

女一人暮らしなので農業はできません。
国会、各省庁の食堂で福島の農海産物を食べてもらう。毎日それをメディアで流す。
農業に従事していないので、現状持っている田は他の人に貸与しているが、今後耕作してくれる人がいなくなった時に重荷になると思う。
用水路の整備を実施してほしい！基盤整備後40年以上たち、土砂が堆積し少しの雨でも田の中に水が入り込んでしまう！
休耕している（規模縮小）土地を道路で広くするなどしてほしい。道が狭く曲がっていて、しかも山を切って作ってあるため、これからの災害が心配な土地の為休耕してある田んぼを使ってほしいのだが。
8/24（金）10：30頃本庁農業振興課の担当者に電話して、内容の確認をしたところ、農地、山林、共有林業等の土地について、又、固定資産税、又、農事組合員がいわき市全体の土地の何割を所有しているか等、わからないとの返事があった。アンケートをやっても何にもならないと思う。過去から、現在まで何も役に立っていない。
若い人が農業をやりたいと言う気持ちに導いて欲しい
後継者がいない場合の、廃農できるスムーズな土地活用等の提案が欲しい。
勿来地区の都市下水は、どうして出来ないのか？
私たちの地区は30ha程の水稲生産、農振地域です。地区生産者は70才80才代が多く、数年後は委託か耕作放棄地が増えると危惧しております。そして、若者が住まない限界集落が目前です。農振地域解除か早期のほ場整備事業を切望します。
平豊間地区は震災後復興事業が進み農業が衰退している。近くには、農振除外し工場も進出していることから震災復興のためにも、一体的な除外が望ましい。
お寺の土地に雑木が生えて山林化していることから、今回の見直しで是非除外して欲しい。近くに復興住宅や沿岸部の工場が移転し環境が変化していることから、地域の復興のためにも農振を除外していただきたい。
豊間地区では震災の影響で農業が衰退し、農地転用により宅地や工場になっており、農業を振興する地域ではなくなってきていることから、豊間地区では農振農用地を除外してもらいたい。
耕作放棄地の監視強化。地区全体への指導強化。
今からさかのぼり約5年放射能検査で検出されないのに検査しないと売れないのは不便だ
いわき駅北側で農地が調整のため開発が出来ないため、この三大字地区は、調整をやめて市街化にすべきである。これは、行政機関が強制的にやるべきであり行政の怠慢であります。地域外からきた人たちはまだ、農地が多くあることにびっくりしています。よろしく行政で指導してください。

いのししが出て田畑を荒らし困っている。手で直すのが大変です。何かしてもらいたい。年老いた人が多くなり草刈などが出来なくなってきました。これから先、農地など荒れていくと思います。又、空き家が増えていくと思います。
現在 50 代の考えとしても農林業に興味を持たないのが現状だと思います。退職後において収入の一部として農林業に興味を持てる制度化が必要か と思います。
水利権を利用した小水力発電は可能なのでしょうか？農地、農業にこだわりすぎ（規制が多い）て若年が住みにくいのではないかと 思います。
田と山の間を流れる川の件、上流で土砂崩れがあったため、川底が高くなり、田んぼの排水ができない。上流から下流まで掘り払いをしてほしい。 災害箇所を直すだけでなく、それによって起きることまでも考えて欲しい。
いわき市内の山間部の道路が悪い（特に川前町内）他町村は（田村地方）農道が整備されている（公益）。介護施設がなく、小野町、平田村、川内 村に通所しておりいわき市内への利用には遠方すぎる。市民の格差があり住みにくい町であるので検討してほしい（市民税他）
1 国土調査の推進（境界確定） 特に山林は早急を実施する必要があります。2 三和町合戸地区の光回線整備 整備済地域に比べて不平等、不公 平です。
川前に精米機がなくすごく不便。自分の家は川前から離れているが精米機ぐらいおける場所はある。精米機をおいてほしい（川前町川前字棚木）
支店長の教育を！
農協が地域づくりの中心に立ち運動を進めるべきである。行政の連携指導は必要だが農業委員や農業団体が積極的に行うべきと考える。
福島県は原発のおかげで全国でもひどい風評被害を受けていると思う。漁業もそうだと思うがそれをなるべく早く取り除いてほしい！今年の浜通り の米はどうなることやら！又全量検査かな？
JA、農政課、農林事務所等、本気になっていろいろと指導及び昔を思い出して議論していただければと思います。
平日に休みがないので不便です
後継者問題、耕作放棄地問題、放射線汚染問題等様々な問題が年を追う毎に深刻化が増しております。放射線汚染は当地区はあまり影響が無い様に 感じられるが、後継者、耕作放棄地問題については、各行政機関、JA、地域全体で1年でも早く対策を講じて実行していく必要があると思いま す。農地集約や一戸一戸の相続の問題含め相当のエネルギーを必要とする課題であることは間違いないので・・・これは当市内に限った事でもなく、 国としてこれからの日本の姿をどうして行くかにも係ってくると思います。
農業に対するミリオクがなくなっている。農業では生活できない。国はどのように考えているか。ミリオクのない産業はなくなる。このアンケート もどの様に反映してくれるのか！！ただアンケートだけでは問題です！

農家の方でも個々でどうしたら何がいいのかいろいろ悩んでいるか良い方向が見いだせない。リーダーがいない、資金不足など。何か良い情報とか相談にのり地域農家と一緒にあって地域を引っ張って行ってほしいと思います。

コロコロと変わる農政、何をしたら良いか迷ってしまう。こんな状態で高齢化してしまう

農業をするには高齢化になり農作業が出来なくなる

乱れた土地が多く見受けられる。今後どのようになるのかなと思うとゾッとします。発展をのぞみたい。